

令和4年第3回区づくり推進横浜市議員会議（港北区）

日 時：令和4年8月31日（水）11時～
場 所：区役所4階1・2号会議室

議 題

- 1 令和3年度
個性ある区づくり推進費の決算について（資料1）
- 2 令和4年度
個性ある区づくり推進費の執行状況について
（資料2）
- 3 令和5年度
港北区予算編成の考え方について（資料3）
- 4 その他
 - ・港北区における新型コロナウイルス感染症対応について（資料4）
 - ・港北区民文化センターの愛称決定及び指定管理者の公募について（資料5）
 - ・「ふるさと港北ふれあいまつり実施に関する基本協定」を締結！（資料6）

資料1

令和3年度 個性ある区づくり推進費
決算について



令和3年度 個性ある区づくり推進費決算総括説明書

1 総括表

(単位：円)

	予算額	決算額	差引
(1) 自主企画事業費	119,118,000	95,982,261	23,135,739
(2) 統合事務事業費	54,569,000	51,542,101	3,026,899
統合事務費	31,884,000	30,429,526	1,454,474
統合事業費	22,685,000	21,112,575	1,572,425
(3) 区庁舎・区民利用施設 管理費	570,469,000	587,785,688	△ 17,316,688
合 計	<u>744,156,000</u>	<u>735,310,050</u> (執行率 98.8%)	<u>8,845,950</u>

(1) 自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
1 <u>安心して安全に暮らせるまちづくり</u>	32,859,000	27,410,218	5,448,782	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業 ・放置自転車対策事業 「港北区防災情報アプリ」改修委託の契約残による減(災害に強いまちづくり推進事業) など
2 <u>地域で支えあう福祉・保健のまちづくり</u>	20,475,000	16,511,798	3,963,202	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育てサポート事業 ・区内保育所PR事業 ・高齢者・障害者支え合い推進事業 区配予算活用及び契約残による執行残(地域子育てサポート事業) など
3 <u>活気にあふれるまちづくり</u>	48,391,000	26,285,040	22,105,960	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模スポーツ大会開催機運醸成事業 ・育もう「ふるさと港北」事業 ・港北魅力発見事業 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業の中止・縮小による減(大規模スポーツ大会を契機とした地域まちづくり事業等) など
4 <u>区民サービス向上に向けた取組</u>	17,393,000	25,775,205	△ 8,382,205	<ul style="list-style-type: none"> ・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業 ・港北区PR情報発信事業 区民利用施設改修(小机スポーツ会館LED化等)や区庁舎レイアウト変更による増(区民サービス向上・環境改善促進事業) など
合 計	<u>119,118,000</u>	<u>95,982,261</u> (執行率 80.6%)	<u>23,135,739</u>	

(2) 統合事務事業費

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
統合事務費	31,884,000	30,429,526	1,454,474	区役所業務の事務経費 旅費の残 など
統合事業費	22,685,000	21,112,575	1,572,425	・広報よこはま区版発行事業 ・スポーツ推進員支援事業 交付金の減 など
合 計	<u>54,569,000</u>	<u>51,542,101</u> (執行率 94.5%)	<u>3,026,899</u>	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
区庁舎等管理費	83,873,000	94,094,552	△ 10,221,552	港北区総合庁舎、港北土木事務所、行政サービスコーナー（2か所） ・設備管理業務・清掃委託費の増 ・車両リース料の増 など
区版市民活動支援センター管理費	248,000	165,568	82,432	港北区区民活動支援センター
地区センター等管理費	234,112,000	234,474,890	△ 362,890	地区センター（6か所） 小机スポーツ会館
青少年施設管理費	8,706,000	8,706,000	0	綱島公園こどもログハウス
公会堂管理費	20,694,000	20,628,506	65,494	港北公会堂
老人福祉センター等管理費	45,378,000	38,202,916	7,175,084	老人福祉センター菊名寿楽荘 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う浴室休止による指定管理料の減
コミュニティハウス管理費	83,893,000	83,890,000	3,000	コミュニティハウス（3か所） 学校施設活用型コミュニティハウス（3か所） 新型コロナウイルスの影響による閉館に伴う指定管理料の減
区スポーツセンター管理費	23,718,000	23,718,000	0	港北スポーツセンター
広場・遊び場等管理費	16,258,000	16,168,233	89,767	港北国際交流ラウンジ 広場・遊び場等（12か所）ほか
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,765,000	4,831,206	933,794	区庁舎、公会堂、地区センター、行政サービスコーナーなどの小破修繕等 緊急的な修繕が想定を下回ったことによる減
区庁舎等光熱水費	47,824,000	62,905,817	△ 15,081,817	港北区総合庁舎、公会堂、土木事務所、行政サービスコーナー（2か所） 新型コロナウイルスの影響で庁舎利用時間が増えたことによる光熱水費の増 など
合 計	<u>570,469,000</u>	<u>587,785,688</u> (執行率 103.0%)	<u>△ 17,316,688</u>	

自主企画事業 目次

(単位：円)

事業名	予算額	決算額	差引額	掲載頁
1 安心して安全に暮らせるまちづくり				
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	21,604,000	18,354,828	3,249,172	4
(2) 災害時医療整備事業	277,000	395,061	▲ 118,061	8
(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	571,000	764,096	▲ 193,096	10
(4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,224,000	3,384,776	1,839,224	12
(5) 放置自転車対策事業	4,531,000	3,859,800	671,200	14
(6) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	652,000	651,657	343	16
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり				
(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	1,739,000	1,637,662	101,338	18
(2) 地域子育てサポート事業	9,110,000	7,272,405	1,837,595	20
(3) 区内保育所PR事業	2,000,000	1,191,520	808,480	24
(4) 港北区放課後児童健全育成強化事業	300,000	96,230	203,770	25
(5) オンライン等を活用した子育てサポートプログラム	875,000	99,770	775,230	26
(6) 離乳食教室	1,158,000	1,068,121	89,879	27
(7) 高齢者・障害者支え合い推進事業	4,293,000	4,228,880	64,120	29
(8) 樽町地域ケアプラザ綱島分室の活用・促進事業	1,000,000	917,210	82,790	33
3 活気にあふれるまちづくり				
(1) 大規模スポーツ大会を契機とした地域まちづくり事業	12,885,000	1,377,988	11,507,012	34
(2) 地域スポーツ推進事業	1,450,000	367,038	1,082,962	36
(3) 港北区商店街活性化事業	1,600,000	1,636,250	▲ 36,250	37
(4) ウォーキングから始まる健康づくり事業	1,199,000	579,199	619,801	39
(5) 育もう「ふるさと港北」事業	9,715,000	5,433,007	4,281,993	42
(6) 地域のチカラ応援事業	3,281,000	1,687,258	1,593,742	45
(7) 港北魅力発見事業	3,385,000	2,846,554	538,446	47
(8) 芸術文化振興事業	2,000,000	1,303,279	696,721	49
(9) 区民活動支援事業	1,468,000	1,405,274	62,726	51
(10) 地域振興活動事業	2,120,000	1,152,148	967,852	53
(11) 読書活動推進事業	800,000	673,874	126,126	55
(12) こうほく3R推進事業	1,592,000	1,320,122	271,878	57
(13) 港北エコアクション推進事業	3,176,000	2,941,120	234,880	59
(14) データ活用によるまちづくり推進事業	1,230,000	1,222,200	7,800	61
(15) まちづくり調整費	2,490,000	2,339,729	150,271	63
4 区民サービス向上に向けた取組				
(1) 港北区PR情報発信事業	2,110,000	1,908,376	201,624	64
(2) 戸籍課案内サービス向上事業	4,531,000	4,671,864	▲ 140,864	65
(3) 「仕事力向上」職員育成事業	820,000	530,500	289,500	67
(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	9,932,000	18,664,465	▲ 8,732,465	68
《参考》統合事業費				
広報よこはま区版発行事業	11,582,000	11,356,862	225,138	69
広聴相談事業	2,092,000	2,024,711	67,289	70
消費生活推進員事業	187,000	113,424	73,576	71
青少年活動支援事業	2,428,000	1,954,010	473,990	72
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	1,008,000	937,208	70,792	5
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	2,869,000	2,491,765	377,235	36
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく3R推進事業の頁に掲載	1,619,000	1,434,595	184,405	58
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	900,000	800,000	100,000	72

※次ページからの詳細の差引理由について、差引額が10万円未満の事業は差引理由を省略しています。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(1) 災害に強いまちづくり推進事業	21,604,000円	18,354,828円	3,249,172円
総務課	差引理由	「港北区防災情報アプリ」改修委託の契約残による減 など	

【事業の概要】

災害に強いまちづくりの推進のため、避難所へのパーテーションの整備等、避難所の環境改善や防災に関する啓発、及び各種訓練や情報伝達手段強化のためのタブレット導入により区本部体制の強化を行い、防災体制を強化しました。

【主な内容】

1 避難所等資機材の充実強化 【予算：7,904,000円、決算：9,699,085円】

(1) 感染症対策等資機材の整備

避難所等における避難者同士のソーシャルディスタンスを確保し、プライバシーの保護や新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、洪水浸水想定区域外に位置する8か所（当初予定6か所）の地域防災拠点に各33基のパーテーションを整備しました。



【パーテーション】

(2) 防災備蓄庫内照明の設置等

夜間や停電時でも安全に備蓄品の搬出入を行うため、各地域防災拠点に設置している防災備蓄庫内に電池式照明を設置しました。

また、避難所での外国人とのコミュニケーションを円滑に行うため、翻訳機（ポケットーク29台）を導入しました。

さらに、アレルギーのある方でも安心して避難生活を送れるよう、アレルギー対応備蓄食料（クッキー、粉ミルク）を購入、各拠点へ配備しました。



【ポケットーク】

(3) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機、エンジンカッター等の資機材について、修繕・更新を行いました。

(4) 地域防災拠点訓練参加者向け保険

地域防災拠点訓練参加者が訓練時に負傷した場合に備え、傷害保険に加入しました。

2 災害時の情報発信の強化および自助・共助の啓発

【予算：6,940,000円、決算：3,802,340円】

(1) 在宅避難啓発チラシの作製

感染症対策として避難所等の密を防止する観点から、在宅避難啓発チラシを新たに作製（印刷は4年度に実施）し、震災時に自宅等で安全が確保できる場合は在宅避難に努めてもらうよう区民に周知しました。

(2) 港北区防災情報アプリの運用・改修

スマートフォン等で災害情報等を確認できる「港北区防災情報アプリ」を継続して運用しました。また、利用者の利便性向上のため、機能等を追加する改修を行いました。

【主な改修内容】

- ・地域防災拠点、補充的避難所の混雑状況の表示
- ・土砂災害特別警戒区域の追加、土砂災害警戒区域の更新
- ・補充的避難所の表示

【ダウンロード数（4年7月末時点）】

22,330件（iOS, Andoroid）

※3年3月末時点 19,492件

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【予算：1,008,000円、決算：937,208円】

避難指示等の緊急情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を中心に運用しました。

【対象区域内の配信希望者等(2,931件)】（4年3月末時点）

- ・洪水浸水想定区域内災害時要援護者 2,593件
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域となる
新羽地区・小机町の一部の住民 193件
- ・自治会及び町内会の会長（区内全域） 142件
- ・土砂災害警戒情報発表に伴う
即時避難指示対象の区域の住民 3件

(3) 防災マップ、各種ハザードマップ等の増刷

日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認いただくため、防災マップ・各種ハザードマップ等を増刷しました。

(4) 防災キャラバン等の実施

区民の防災意識の醸成のため、自治会町内会向けの出前講座（防災キャラバン）等を行いました。

【防災キャラバン等の実施状況】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
地区	4地区	6地区	8地区	10地区	8地区
実人数	118人	268人	299人	369人	357人

3 東京2020オリンピック・パラリンピック危機管理体制の強化

【予算：1,000,000円、決算：0円】

区内の会場で試合が行われる日を対象に、区庁舎に警備員を配置し危機管理体制を強化する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で無観客での開催となったため、執行を見送りました。

4 各種団体への補助等 【予算：260,000円、決算：868,975円】**(1) 災害ボランティア連絡会への補助**

災害時に円滑にボランティア活動が実施できるように、コーディネーターの育成・訓練費用及び必要な資機材の購入費として、港北区災害ボランティア連絡会に補助金を交付しました。

(2) 地域防災拠点に整備するアマチュア無線機の購入費

地域防災拠点に整備しているアマチュア無線機器について、新規格に対応した機器を1台（箕輪小学校分）購入しました。

(3) 自治会町内会への初期消火器具整備費の補助

地域の初期消火力を高め、共助の取組や地域防災力の向上を図るため、「スタンドパイプ式初期消火器具」の購入費に係る補助金を自治会町内会（3団体）に交付しました。

[総務局区配予算]**地域防災力向上事業**

- ・地域防災活動奨励助成金【予算：3,480,000円、決算：3,480,000円】

区内29か所の地域防災拠点へ助成（1拠点あたり12万円交付）

- ・町の防災組織活動費補助金

【予算：18,407,000円、決算：18,234,240円】

町の防災組織へ補助（1世帯あたり160円交付）

5 区災害対策本部の充実 【予算：5,500,000円、決算：3,984,428円】

(1) I P無線機等を活用した円滑な情報受伝達の強化

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、I P無線機を継続して運用しました。

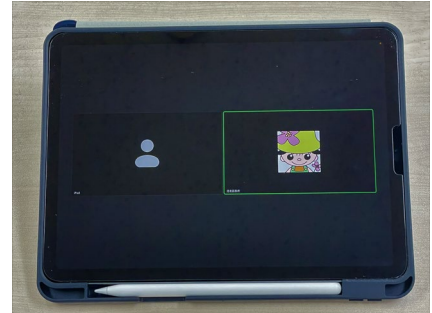
また、区本部と地域防災拠点、避難場所間の情報伝達体制の強化のため、タブレットを導入しました。(10台)

I P無線機の特徴

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能



【I P無線機】



【タブレット】

(2) 災害時における避難場所等運営

3年10月7日に発生した震度5弱を観測した地震により、帰宅困難者一時滞在施設（菊名地区センター）を開設した際の施設利用料を負担しました。

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施しました。

【訓練】

- ・区職員向け動員訓練（9～12月 129人）
- ・震災対策区本部訓練（12月 124人）
- ・区職員向けの安否確認訓練（1月 全職員）

【研修】

- ・初動対応輪番者研修（4月 21人）
- ・参与係長研修（5月 27人）
- ・避難場所運営責任者研修（6月 42人）
- ・拠点動員者研修（11～3月 116人）



【区本部訓練の様子】

(4) 港北区災害対策本部の備蓄品更新等

区本部の備蓄品の更新及び災害時の連絡体制確立のための公用携帯電話や衛星携帯電話などの各種通信機器を維持・管理しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (2) 災害時医療整備事業	277,000円	395,061円	▲118,061円
福祉保健課	差引理由	港北医師会との連携推進費用の増 など	

【事業の概要】

区防災計画（震災対策編）における災害時医療等の対策を講じるため、関係機関との会議を開催し、医療救護隊等の訓練を実施することで、課題解決に向けた仕組みづくりや医療救護隊の発災時の役割及び行動内容の共有が図れました。また、医療救護隊に必要な物品の配備、災害支援ナースの登録促進を継続して行い、安定した医療救護体制を確保しました。

【主な内容】

1 医療救護に関する関係機関との連絡会議の開催【予算：65,000円、決算：5,810円】

- ・災害医療連絡会議（6月、10月、2月）
6月及び2月は書面開催、10月はオンライン併用で実施
※参加機関…三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）、災害拠点病院、災害協力病院、訪問看護ステーション、警察、消防、行政関係機関



【災害医療連絡会議（10月）】

2 医療救護隊訓練の実施【予算：50,000円、決算：125,780円】

- ・医療救護隊立ち上げ訓練（北部参集拠点の移転※に伴い実施）（7月）
- ・医療救護隊実地訓練（南部参集拠点の港北区医師会館にて実施）（12月）
- ・のぼり旗、フラッグ掲出訓練（9月、1月）
- ・通信訓練（局⇄区：年6回 区⇄医療機関：年4回）
- ・災害時医療機関報告書持ち込み訓練（9～11月）（中止）

※北部参集拠点の移転（5月）

（旧：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館→日吉台中学校コミュニティスクール）



【医療救護隊立ち上げ訓練】



【医療救護隊実地訓練】

3 医療救護隊用装備品の整備 【予算：119,000円、決算：125,263円】

- ・医療救護隊及び保健活動グループの活動や訓練に必要な事務用品、装備品を購入（3月）

【医療局区配予算】

- ・医療救護隊感染症対策事業【予算：886,000円、決算：886,000円】
医療救護活動における感染症対策のための装備品を購入
非接触体温計、蓄電池、発電機 ほか

4 災害支援ナースの登録促進と管理 【予算：43,000円、決算：10,000円】

登録者：67人（4年3月末時点）うち3年度新規10人

- ・Yナース募集リーフレットの配布
区医師会を通じて、診療所に勤務する看護師へ登録勧奨を実施
- ・広報よこはまへの募集案内掲載（9月、1月）
- ・研修、訓練の参加勧奨
県看護協会や医療局主催の研修会及び医療救護隊訓練への参加勧奨（10月、12月、2月）



【Yナース募集案内リーフレット】

5 港北区医師会等との連携推進 【予算：0円、決算：128,208円】

港北区医師会に加入し、各種会議及び研修への参加を通じて、一層の連携促進、災害医療体制の構築を図りました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (3) 快適な暮らしの衛生 応援事業	571,000円	764,096円	▲193,096円
生活衛生課	差引理由	感染症予防啓発実施による増	

【事業の概要】

区民の快適な暮らしのため、食の安全や各種施設の衛生確保、動物の適正飼育や災害時のペット対策の啓発を行いました。また、コロナ禍において、飲食店における感染症予防啓発を行い、感染拡大防止に寄与しました。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策 【予算：381,000円、決算：621,242円】

(1) 食中毒・感染症予防のための監視事業

【食品関係施設監視件数】

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
1,460件	1,868件	2,366件	1,663件	800件

(2) 衛生講習会の実施

事業者の衛生管理向上のため講習会を実施

【講習会実施回数】

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
33回	38回	26回	9回	7回

《参考》【食中毒等発生件数（暦年）】

年		29年	30年	元年	2年	3年
食中毒	件数	3件	7件	4件	3件	2件
	患者数	62人	62人	48人	24人	7人
感染症※	件数	28件	22件	26件	22件	35件
	患者数	241人	181人	310人	41人	274人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌、レジオネラ症等

(3) 感染症予防啓発の実施

新型コロナウイルス感染予防啓発資料（卓上ポップ）を作製し、飲食店等に配付しました。（計1,776施設、7,104枚）



【黙食・個食・マスク飲食を推奨する卓上ポップ】

2 ペットのマナー啓発と災害時のペット対策 【予算：190,000円、決算：142,854円】

- ・動物の適正飼育に関する啓発、指導（通年）
- ・資料を用いた飼い犬の散歩マナー向上啓発（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発（新型コロナウイルスの影響で中止）
- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会総会での啓発（6月 書面開催）



【ペットのマナー・防災対策教室】



【マナー・防災に関する啓発資料】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,224,000円	3,384,776円	1,839,224円
地域振興課	差引理由	路面標示の新設・修繕の減 など	

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力した啓発活動のほか、昨今の事故の状況等を踏まえ、児童・高齢者に対象を絞り事業を実施しました。2年と比較して、交通事故件数は8件減少し、死者も4人減少しました。また直近5年間で交通事故件数は337件（約4割）減少し、負傷者数も380人（約4割）減少しました。

【主な内容】

1 児童交通安全対策事業【予算：4,635,000円、決算：3,178,936円】

- ・はまっ子交通安全教室：小学校19校
- ・交通安全ポスターコンクール：応募471点
- ・スクールゾーン路面標示：新設9か所・補修27か所
- ・スクールゾーン電柱巻：70か所



【スクールゾーン路面標示】

2 交通安全運動事業【予算：185,000円、決算：119,600円】

- ・春の交通安全キャンペーン：新型コロナウイルスの影響で中止
- ・夏の交通事故防止運動：網島にて街頭啓発実施
(7月9日 28人参加、啓発物品200個配布)
- ・年末の交通事故防止運動：新横浜にて街頭啓発実施
(12月10日 21人参加、啓発物品300個配布)
- ・その他、自転車マナーアップキャンペーン、二輪車事故防止の啓発活動等の実施

3 高齢者交通安全対策事業【予算：300,000円、決算：36,080円】

- ・交通安全シルバーリーダー連絡協議会総会を书面開催にて実施
- ・シルバードライビングスクール他は新型コロナウイルスの影響で中止
- ・高齢者免許返納の促進について、商店街と連携し、免許を返納した高齢者に対し、運転経歴証明書の提示により、店舗にて特典を付与する「運転卒業者おトク事業」を実施しました。
協力店舗数 26店舗(4年3月末)

4 子育て関連施設交通安全対策事業【予算：104,000円、決算：50,160円】

施設の存在を知らせ、子どもの飛び出しに注意を促す「電柱巻看板」を新規開園等の施設付近の電柱に設置し、乳幼児の事故防止を図りました。(6か所)



【子育て関連施設電柱巻看板】

《参考》

【港北区の交通事故件数等（暦年）】

年	29年	30年	元年	2年	3年
交通事故件数	855件	686件	593件	526件	518件
死亡者数	3人	2人	3人	5人	1人
負傷者数	968人	783人	685人	572人	588人

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (5) 放置自転車対策事業	4,531,000円	3,859,800円	671,200円
地域振興課	差引理由	在庫活用による消耗品費の残による減など	

【事業の概要】

駅前の歩行者の安全確保のため、自転車等の放置が著しい駅周辺への自転車等放置防止監視員の配置や撤去活動、キャンペーンによる啓発活動を行い、自転車等の放置防止を促したことで、区内の放置自転車台数の減少につなげました。

【主な内容】

1 監視員事業 【予算：3,728,000円、決算：3,559,800円】

放置自転車の防止やマナーアップ等を図る監視員を配置しました。乗降者数の多い日吉駅、綱島駅及び新横浜駅や、東京2020オリンピック・パラリンピックに対応した監視体制については、集中的に配置しました。

・年間配置数：1,952回

【駅ごとの延べ配置数（1回あたり1人3時間）】

駅	3年度配置数 実績	2年度配置数 実績
日吉	504回	912回
綱島	1,112回	1,492回
新横浜	222回	384回
大倉山	40回	0回
小机	26回	0回
新羽	48回	48回
合計	1,952回	2,836回

【イベント等に対応した監視員配置（内数）】

行事名	東京2020オリンピック・パラリンピック		
	3年7月	3年8月	合計
新横浜	16回	10回	26回
小机	16回	10回	26回

《参考》

【区内全駅における放置台数（合計）】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
放置台数	583	444	422	365	214
駐輪場台数	19,329	19,619	19,896	19,981	20,039

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋

(11月の平日の晴天時、午前9時から午後3時まで放置されていた台数)

[道路局区配予算]

- ・ 自転車マナーアップ事業 【予算：8,153,000円、決算：8,153,000円】
自転車放置防止監視員の配置（区づくり推進費と合算して執行）

2 放置自転車等撤去事業 【予算：230,000円、決算：0円】

休日の日吉駅、綱島駅及び新横浜駅以外の駅については、各駅の放置の状況を鑑み必要に応じて緊急で撤去を行う場合に備えて予算を確保していましたが、対応が不要であったため実施しませんでした。

【道路局と区役所が実施する各駅の撤去回数（回/年間）】

年度	3年度 実績				2年度 実績			
	平日		休日		平日		休日	
実施者	道路局		道路局・港北区		道路局		道路局・港北区	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
日吉	50回	31回	24回	11回	50回	47回	24回	7回
綱島	140回	86回	48回	23回	140回	120回	48回	17回
新横浜	50回	39回	24回	11回	50回	44回	24回	7回
大倉山	24回	24回	必要に 応じて 区で 実施	0回	24回	13回	必要に 応じて 区で 実施	0回
菊名	12回	43回		0回	12回	20回		0回
妙蓮寺	12回	19回		0回	12回	12回		0回
新羽	12回	21回		0回	12回	14回		0回
小机	12回	21回		0回	12回	15回		0回
高田	6回	13回		0回	6回	11回		0回
岸根公園	6回	13回		0回	6回	13回		0回
日吉本町	6回	13回		0回	6回	11回		0回

局事業

[道路局事業]

来街者も多く放置自転車の多い日吉駅、綱島駅及び新横浜駅については、集中的な対策を維持する必要があるため、休日を含め、撤去を実施しました。

3 地域活動事業 【予算：573,000円、決算：300,000円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成（10協議会）するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーンなどの活動を行う際に使用する物品等を配付、各駅の状況に応じた協議会の活動を支援しました。

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各駅協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」を書面にて開催しました。（3月）

1 - (6) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1 - (6) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	652,000円	651,657円	343円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区民が主体となり防犯活動に関わることができるよう、警察と連携し、区内で頻発している特殊詐欺への対策及び犯罪状況等の情報提供や防犯啓発物品の配付など多角的に防犯活動の支援を行い、犯罪発生件数減少に向けて取り組みました。

事業効果として、自治会町内会等における自主的な防犯パトロールの継続実施や区民の防犯意識の醸成に繋がりました。

【主な内容】

1 防犯情報メールの配信 【予算：132,000円、決算：132,000円】

警察と犯罪発生状況を共有し、登録者のメールやFAXに防犯情報を配信しました。また、振り込め詐欺等特殊詐欺の前兆電話があったという情報が警察や区民から区役所に複数寄せられた際は、「特殊詐欺警報」として即時に注意喚起の防犯情報メールを配信しました。

【防犯情報メール登録者数】

	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	3年度末
延べ登録者数	7,734人	8,750人	9,711人	10,622人	11,250人

2 防犯啓発活動 【予算：300,000円、決算：219,257円】

(1) 防犯パトロール関連物品の作製配付

自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する「のぼり旗」を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しました。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で回り、防犯パトロール及び放送による防犯啓発を行いました。また、警察と振り込め詐欺等特殊詐欺発生状況を共有し、その時々状況に合わせた注意を呼び掛けました。

(3) 港北AAA (安全で安心な明日を) 作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や防犯関係団体、地域、学校、事業者、行政の各関係者で実施している「港北AAA作戦会議」を新型コロナウイルスの影響を鑑み、書面で開催しました。(6月)

3 「子ども110番の家」ネットワーク会議 【予算：120,000円、決算：300,400円】

- ・各小学校の「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども110番の家ネットワーク会議」の役員会を開催しました。(7月)

- ・新型コロナウイルスの影響で「子ども110番の家ネットワーク会議」の総会はオンラインにて開催しました。(9月)

- ・子ども110番の家プレート及びマニュアルを作製し、配付しました。

4 特殊詐欺対策機器設置事業 【予算：100,000円、決算：0円】

電話による振り込め詐欺等特殊詐欺被害が依然として多いことから、振り込め詐欺等特殊詐欺対策機器が地域の電器店等で購入可能であり、かつ設置サービスを行っていることをホームページ、チラシ等で周知しました。なお、チラシの在庫活用により、決算は0円となりました。

[市民局区配予算]

- ・子ども110番の家ネットワーク事業【予算：100,000円、決算：100,000円】
子ども110番の家プレートを港北区内の小学校へ配付

《参考》

【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

年	29年	30年	元年	2年	3年
犯罪発生件数	2,155件	1,735件	1,453件	1,109件	1,215件
特殊詐欺	96件	58件	74件	35件	58件
同被害額	3億3,900万円	2億4,800万円	1億8,400万円	5,500万円	1億4,345万円

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	1,739,000円	1,637,662円	101,338円
福祉保健課	差引理由	策定・推進会議の中止による減 など	

【事業の概要】

身近な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画（ひっとプラン港北）」の第4期計画を策定するとともに、区計画の推進と13地区ごとに策定した地区計画の推進支援を行い、これまで積み重ねてきた取組について、更なる充実・発展に結びました。

【主な内容】

1 第4期計画の策定、推進事業 【予算：909,000円、決算：817,811円】

- ・第4期計画の区計画及び地区計画の策定（12月）
- ・区計画を推進するとともに、地区計画サポートスタッフ（区役所・区社会福祉協議会地域ケアプラザの各職員）による各地区の状況に応じた地区計画推進の支援（通年）
- ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議の開催（6月）※2月は中止
- ・障害のあるお子さんとそのご家族の写真展の開催（2月～3月）
- ・横浜市営バス車内デジタルサイネージ及び横浜アリーナ屋外デジタルサイネージへの周知動画掲出（2月～3月）

【第4期計画策定スケジュール】

年度	月	区計画	地区計画
30年		区民意識調査	
元年		統計調査分析、第3期計画評価	
	8月	策定・推進会議	次期地区計画検討・策定
	9月 ～ 12月	検討部会 関係団体ヒアリング	
	2月	策定・推進会議	
2年	9月	策定・推進会議	
	1月	策定・推進会議	
	3月	区民意見募集	
3年	6月	策定・推進会議	
	11月	区民フォーラム（中止）	
	12月	計画公表	地区計画公表
	1月 ～	計画書冊子等配布	
	2月	策定・推進会議（中止）	

2 計画の周知・啓発【予算：830,000円、決算：819,851円】

(1) 区計画及び地区計画の印刷・配布

- ・第4期区計画冊子及び概要版、地区計画リーフレットの発行(12月)
- ・地区計画の公表・周知(12月～3月)

(2) 「港北ほくほくフェスタ」区民フォーラムの開催

福祉保健のおまつり「港北ほくほくフェスタ」において福祉保健活動の発表と共有の場として、区民フォーラムを実施する予定でしたが、緊急事態宣言の発出による計画策定の遅延など、新型コロナウイルスの影響で中止しました。

【「港北ほくほくフェスタ」区民フォーラムへの参加者数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実人数	600人	480人	75人	中止	中止

※29年度までは、社会福祉大会参加者数と合算

※元年度：荒天のため延期。2年2月に規模を縮小して開催

※2・3年度：新型コロナウイルスの影響で中止

(3) 動画による計画の周知・啓発

第4期計画の完成を記念し、計画の解説動画、各地区計画の紹介動画(13地区)及び地域の活動紹介動画(4地区)を作製し、区ホームページ及びYouTube横浜市公式チャンネルで公開しました。また、各地区計画推進委員及び地域ケアプラザにDVDを配布し、地区での周知・啓発を推進しました。

計画の概要



画像をクリック(外部リンク)

【計画の概要動画】

地域の活動紹介



画像をクリック(外部リンク)

【地域の活動紹介動画】

[健康福祉局区配予算]

- ・計画冊子等印刷製本費【予算：820,000円、決算：820,000円】
計画冊子等を印刷し、市民を対象に配布

《参考》

[区社協予算]

- ・ほくほくフェスタ、ひっとプラン計画推進事務費等
計画の解説動画、各地区計画の紹介動画(13地区)及び地域の活動紹介動画(4地区)を作製

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(2) 地域子育てサポート事業	9,110,000円	7,272,405円	1,837,595円
こども家庭支援課	差引理由	区配予算活用、契約残による減 など	

【事業の概要】

全ての妊婦・保護者が、孤立感を持つことなく安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援施設の利用支援、妊婦・保護者同士の仲間づくりの支援、児童虐待防止等の取組を実施し、子育て支援を充実させました。

【主な内容】

1 「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業 【予算：900,000円、決算：900,000円】

妊婦とその家族を対象に、地域の子育て支援施設の周知及び仲間づくりの場の提供のため、親と子のつどいの広場（6か所）で、マタニティプログラムを実施しました。

※マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流・沐浴等の子育て体験 等

【実施回数・延べ参加人数】

年度	2年度	3年度
実施回数	27回	31回
延べ参加人数	88人	126人

局事業

[こども青少年局事業]

・親と子のつどいの広場事業（補助事業）

妊婦と保護者を対象に、利用者同士の交流、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施します。

2 「にんしん・あんしん・つながり」推進事業 【予算：484,000円、決算：505,825円】

初産婦や転入してきた妊婦を対象に、地域の子育て支援施設の周知及び利用のきっかけづくりを目的に、施設初回利用の際にプレゼントと交換できるチケットをこども家庭支援課の窓口で配布しました。

【チケット配布枚数・プレゼント交換数】

年度	元年度	2年度	3年度
チケット配布数	500枚	1,718枚	1,565枚
プレゼント交換数	56個	187個	409個

※元年度は7月から、2年度は9月から実施

局事業**[こども青少年局事業]**

- ・母子保健コーディネーターによる相談支援

主に妊娠届出時から産後4か月までの妊婦、保護者を対象に、一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、継続した支援を実施します。(年妊娠届出数：約3,500件)

- ・両親教室(初産婦とパートナーが対象)

初めて母親になる方を対象に、妊娠中の過ごし方・出産・子育てについて学ぶ教室を行います。(3回連続講座×年12回)

3 地域育児教室(赤ちゃん会) 【予算：1,694,000円、決算：1,649,060円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館やケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児の情報交換等を実施しました。(全23会場)

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
開催回数	189回	237回	211回	140回	226回
実人数	3,052人	3,355人	2,788人	1,762人	2,209人
延べ人数	7,892人	9,554人	7,732人	3,171人	5,579人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で7月から再開し8会場で実施、9月以降は22会場で実施。

4 児童虐待防止対策事業 【予算：793,000円、決算：669,626円】

児童虐待防止のため、要保護児童対策協議会(「元気っ子育て連絡会」)の関係機関が相互に連携した取組を実施しました。

- ・児童虐待防止啓発グッズの作製
- ・啓発講演会(2月25日)
- ・区全体会議(7月8日)
- ・病院・学校等の関係機関と機関別連絡会

小中学校(6月14日)

横浜市総合リハビリテーションセンター(12月22日)

横浜労災病院(新型コロナウイルスの影響で中止)

- ・民生委員、児童委員協議会地区(全22地区)からなる全12エリアの、エリア別連絡会(新型コロナウイルスの影響で中止)

代替として、関係者向け児童虐待防止研修(YouTubeによる動画配信)(3月7日～31日)

5 歯つらつ1歳歯みがき教室 【予算：518,000円、決算：494,293円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や、歯みがきの実習を行いました。(年24回)

【歯みがき教室参加者数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実人数	1,104人	916人	778人	143人	365人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

[こども青少年局区配予算]

・乳幼児歯科相談

0歳～未就学児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や、個別歯みがき指導を行います。(年24回)

6 母乳育児相談 【予算：222,000円、決算：222,000円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しました。(年24回)

【母乳育児相談参加者数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実人数	165人	190人	116人	102人	80人

局事業

[こども青少年局事業]

・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安等がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしています。

利用料：1回につき9,000円（自己負担4,000円）

利用回数：産後4か月未満、3回まで（1回につき60～90分程度）

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
港北区	9人 (14回)	88人 (174回)	141人 (207回)	215人 (600回)	250人 (475回)
横浜市	85人 (130回)	663人 (1,295回)	843人 (1,592回)	391人 (3,856回)	1,272人 (2,408回)

※30年1月31日より事業開始 訪問実人数（訪問延べ回数）

7 「窓口満足度」向上事業 【予算：3,979,000円、決算：2,711,375円】

来庁した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口以案内員を配置しました。

また、発達相談のために子どもと一緒に来庁した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるように、お子さんを預かる保育協力者を配置しました。

【窓口案内員配置日数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
案内員配置日数	163日	164日	169日	142日	157日

8 「保育園等による子育て支援」事業【予算：520,000円、決算：120,226円】

(1) わくわく子育て広場

子育て家庭を対象に、地域における子育て支援を目的に、親子が一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同の育児講座（食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等）を実施しました。

- ・日吉本町ケアプラザ（新型コロナウイルスの影響で中止）
- ・宮前公会堂（10月22日）
- ・港北保育園（10月27日）
- ・樽町地域ケアプラザ（11月10日）

【わくわく子育て広場参加者数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実人数	1,194人	1,512人	1,680人	中止	259人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で中止

※3年度は新型コロナウイルスの影響で地域別に縮小開催

(2) ベビーステーション

乳児を子育て中の保護者に対し、外出しやすい環境を整えるため、オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取組を行いました。

また、より多くの方に利用していただくために、ベビーステーションステッカーを作製し、参加施設に掲出を依頼し、取組を周知しました。

【ベビーステーション参加施設数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
参加施設数	81施設	89施設	92施設	94施設	94施設

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(3) 区内保育所PR事業	2,000,000円	1,191,520円	808,480円
こども家庭支援課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で事業実施を見合わせたことによる減 など	

【事業の概要】

保育士の確保が困難な区内保育所等を支援するため、コンサルタントを派遣し、採用及び定着に関する助言を行い、人材確保を通じた安定運営や入所児童数の増につなげました。また、区内保育所等の情報を掲載した保育所等利用案内を作製し、初めて保育所等を利用する保護者に向け、わかりやすいご案内となるよう努めました。

【主な内容】

1 保育士確保事業 【予算：550,000円、決算：198,000円】

保育士の採用や定着に苦慮している区内保育所等を対象に、区独自で専門のコンサルタントを派遣し、保育所等の保育士確保を支援しました。(5園)

局事業

【こども青少年局事業】

- ・保育士確保コンサルタント派遣事業

市内の認可保育所及び横浜保育室を対象にコンサルタント派遣を実施しています。

2 保育・教育情報提供事業 【予算：90,000円 決算：0円】

複雑な保育・教育制度を理解いただくため、制度や手続き、よくある質問について解説する保護者向けの動画の作製を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染症対応業務を優先するため、既存の動画を活用し、新規作製を見合わせました。

3 保育所等利用案内の作製 【予算：1,060,000円、決算：993,520円】

市の利用案内ではカバーしきれない区内の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについてわかりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作製しました。

区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」で配布しました。

【保育所等利用案内の発行部数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実績	12,000部	12,000部	14,000部	13,000部	13,000部

4 民間園向け研修 【予算：300,000円 決算：0円】

区内の新規保育所等の増加に伴い、経験の浅い保育士が増えているため、区内保育所等全体の保育の質の確保・向上のため、外部講師を招き講義を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で開催を見合わせました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2 - (4) 港北区放課後児童健全育成強化事業	300,000円	96,230円	203,770円
こども家庭支援課	差引理由	研修中止による減	

【事業の概要】

放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブの施設従事者の能力向上のため、様々なテーマの研修を実施しました。研修受講機会を増やすことで人材育成が促進されるとともに、日頃顔を合わせる機会の少ない施設従事者がグループワーク等を通して、クラブ間の情報共有ができました。

【主な内容】

支援者研修 【予算：300,000円、決算：96,230円】

研修テーマ	参加人数 112人	実施時期
感染症対策及び関係者の人権尊重について	24人	6月
応急処置（心肺蘇生法 AEDの取扱いなど）	12人	11月
食の安全とアレルギー対応について	20人	12月
特別な支援を必要とする子どもの対応について	24人	1月
障害児理解（事例検討）	19人	2月
室内遊び講座 アルファベットダンス	13人	2月

※講師の都合により、保護者対応研修は中止



【感染症対策】



【応急処置】



【アレルギー対応】

2-(5) オンライン等を活用した子育てサポートプログラム事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(5) オンライン等を活用した子育てサポートプログラム	875,000円	99,770円	775,230円
こども家庭支援課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で補助事業を見送ったことによる減 など	

【事業の概要】

地域で開催している子育てサロンに対し、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な感染防止の取組を実施するための消毒物品等を配付しました。

なお、「オンライン子育て支援プログラム実施補助事業」及び「オンライン・感染症対策子育て関係機関ネットワーク研修会議」は、新型コロナウイルスが感染拡大する状況における施設の運営を鑑み、実施を見送りました。

【主な内容】

1 地域子育てサロンサポート事業 【予算：200,000円、決算：99,770円】

民生委員児童委員や主任児童委員等が、地域で自主的に開催するサロンの開催に関して、主催者の依頼に応じて、必要な消毒用品等の物資を配付しました。

- ・配付数：手指消毒スプレー40本、詰替用消毒液40本、ペーパータオル50個
- ・配付団体数：22団体

当初30団体に配付予定でしたが、十分に物資のある団体を除き、22団体に変更しました。

2 オンライン子育て支援プログラム実施補助事業 【予算：525,000円、決算：0円】

地域子育て支援拠点や親と子のつどいの広場等、オンラインで未就学児の親子と地域の子育ての担い手がふれあえるプログラムの補助金は実施を見送りました。

- ・当初実施予定 35回実施（7団体）
- ※1団体あたり補助上限75千円（補助条件：1団体につき年5回以上実施）

3 オンライン・感染症対策子育て関係機関ネットワーク研修会議

【予算：150,000円、決算：0円】

オンライン補助事業実施団体と新たにオンラインによる手法を学びたい子育て関連団体の合同研修会議について、上記2の事業に合わせて実施を見送りました。

- ・当初実施予定 2回開催（延べ参加団体20団体、8施設）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(6) 離乳食教室	1,158,000円	1,068,121円	89,879円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

離乳食開始後は離乳食に対する具体的な疑問や悩みが多く出てくるため、支援が最も必要な7～8か月児を対象とした離乳食教室を実施したことで、参加者の疑問や悩みの軽減に繋がりました。

また、離乳食の不安や悩みは個々の違いもあるため、個別栄養相談を充実させたことで、相談機会の確保と一人ひとりの状況に応じた支援に繋がりました。

【主な内容】

1 離乳食教室の開催 【予算：844,000円、決算：754,121円】

- ・回数：年間36回、月3回実施
- ・内容：講話・試食・個別相談
- ・会場：区役所

※試食については新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施していません。

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	29年度	30年度	元年度※1	2年度※2	3年度
実施回数	36回	36回	33回	18回	36回
参加者数 (実人数)	926人	863人	712人	119人	379人

※1 新型コロナウイルスの影響で2月の参加者数減、3月（3回）は教室を中止

※2 新型コロナウイルスの影響で実施回数及び参加者数減

2 子どもの個別栄養相談 【予算：72,000円、決算：72,000円】

- ・対象者：生後5か月以降の子どもの保護者
- ・回数：月3回半日、年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談（1人当たり約1時間）

【子どもの個別栄養相談の相談者数】（健康福祉局区配と合算）

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実人数	116人	73人	93人	101人	103人

※子どもの個別栄養相談は、区配予算と合算して月3回半日の定例日を設定した上で、別日も必要に応じて対応

【健康福祉局区配予算】

- ・乳幼児食生活健康相談【予算：161,048円、決算：150,430円】
0～18歳のその保護者に対して食生活健康相談を実施

3 港北区離乳食手帳の配布 【予算：242,000円、決算：242,000円】

離乳食の基礎知識をもってもらうために、離乳食手帳を作製し、4か月児健診を受診する全ての保護者に配布しました。

- ・作製部数：4,000部（4月発行）



【離乳食手帳】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(7) 高齢者・障害者支え合い推進事業	4,293,000円	4,228,880円	64,120円
高齢・障害支援課	差引理由		

【事業の概要】

高齢者・障害者支援についての区民向けの啓発及び支援者の連携強化やスキルアップを目的として、広報物の作製及び支援者向け研修を実施しました。その結果、区民の理解促進や支援者の連携強化・スキルアップにつながりました。

さらに、地域における災害時要援護者支援の取組の普及を目的として、ノベルティグッズを自治会町内会に配布したことにより、地域支援者の要援護者への円滑な訪問支援につなげました。

【主な内容】

1 高齢者支援事業 【予算：1,295,000円、決算：802,693円】

(1) 介護予防

コロナ禍の影響もあり、屋外でできる活動として広がっているラジオ体操の取組を支援するために、ラジオ体操のコツなどを指導できる人材育成研修を行いました。同研修は合計32名が受講し、そのうち5名は実際に地域でラジオ体操を行いました。

- ・10分ラジオ体操リーダー養成講座（10・11月）

なお、12月に予定していた、介護予防活動支援者向け研修会は、新型コロナウイルスの影響で中止しました。

(2) 認知症支援

認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用しました。（3年度末登録者 186名）

また、「認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師）」の情報共有及びモチベーション向上のためにつどいの場を開催しました。

- ・「認知症キャラバン・メイト」のつどい（9月6日）

港北区社会福祉協議会（福祉保健活動拠点）からのオンライン配信により実施



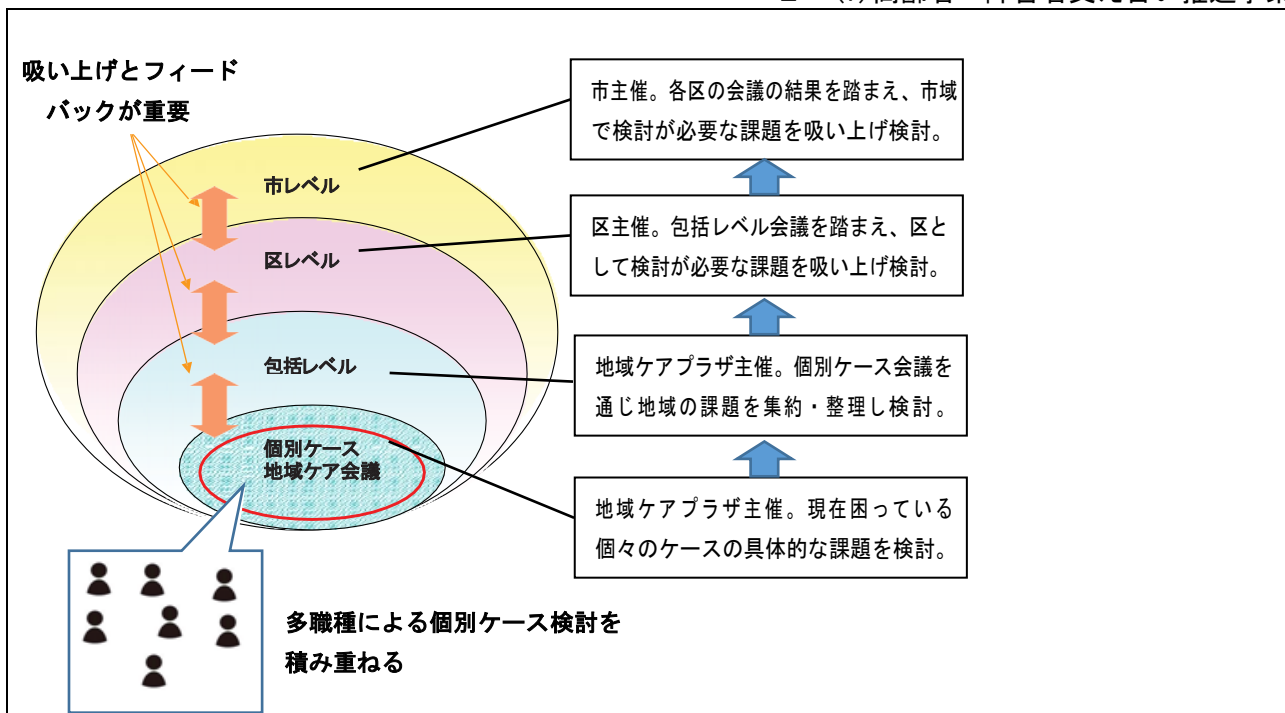
【かえるネットパンフレット】

(3) 地域包括ケアシステムの推進

医療・介護・権利擁護・地域組織等の代表者を構成員とする区レベル地域ケア会議[※]等を実施しました。

- ・地域ケア会議報告会（10月）、区レベル地域ケア会議（12月）

※地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、地域のネットワーク構築や課題共有・解決等を行う会議



(4) セカンドキャリア地域起業セミナー

新型コロナウイルスの影響で3年度はセミナーを中止しました。

(豊富な経験を有する高齢者等が地域で活躍できる場を拡充するとともに、ビジネス的手法で地域課題の解決に取り組む環境づくりを進めるためのセミナー)

[健康福祉局区配予算]

- ・介護予防関連事業【予算：1,080,764円、決算：911,762円】

地域の活動に歯科衛生士、栄養士、健康運動指導士等の専門職を派遣することや、元気づくりステーションの支援等

- ・認知症関連事業【予算：277,000円、決算：233,820円】

認知症家族のための介護者セミナーを開催することや、一般の区民向けの認知症講演会の開催など

- ・虐待予防関連事業【予算：41,000円、決算：25,730円】

介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会の開催、虐待防止のためのネットワークミーティングの開催等

《参考》【港北区における高齢者の状況】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
65歳以上人口	67,646人	68,416人	69,251人	69,880人	70,289人 (市内3位)
高齢化率	19.7%	19.7%	19.8%	19.9%	20.0%
認知症高齢者数*	6,497人	6,714人	6,964人	6,764人	6,263人
要介護認定者数(1号)	11,917人	12,309人	12,566人	12,840人	13,189人

※要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数。2年度以降は新型コロナウイルスの影響で訪問調査が省略され、自立度が不明なケースが除外されている。実質的には2年度以降も増加傾向。

2 障害者支援事業 【予算：738,000円、決算：715,684円】

(1) 研修・啓発講演会の実施

区自立支援協議会※や作業所等において、支援機関の連携強化や職員の支援技術の向上のために、研修会を開催しました。

テーマ：障害のある方への意思決定支援

日時：1月31日（月）（後日動画配信も実施）、参加者：58人（動画視聴者含む）

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自立支援協議会全体会は6月11日、3月4日にオンライン会議形式で、9月には書面開催にて実施することとしました。）

また、障害理解のための啓発講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン形式で支援者向けに開催しました。

テーマ：アウトリーチ支援を考える

日時：2月14日（月）、参加者：30人（オンライン参加含む）

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います（障害者総合支援法89条の3）。

【過去の啓発講演会テーマ】

年度	テーマ	参加者数
29年度	災害におけるこころの健康	69人
30年度	死にたい気持ちの受け止め方	20人
元年度	ペットロスについて考える	83人
2年度	中止	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人

※29年度は横浜市立大学と共催で講演会を開催。2年度は新型コロナウイルスの影響で中止。

(2) 健康講座の開催

自身の健康についての知識等を得るため、作業所利用者向けの健康講座等を開催しました。

【健康講座実施状況】

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
8回	5回	4回	1回	1回
95人	58人	54人	13人	11人

※2・3年度は、新型コロナウイルスの影響で作業所からの応募が減少

(3) 区内事業所紹介パンフレット作製

障害者の地域活動について広く周知を図る目的で、障害当事者及び支援者等が活用する区内事業所を紹介するパンフレットの時点更新を行いました。

内容：区内にある事業所の活動内容や製品情報、PRしたいこと等

配布場所：区役所、基幹相談支援センター、精神障害者生活支援センター、社会福祉協議会 等



【区内事業所紹介パンフレット まるっと港北】

【健康福祉局区配予算】

- ・精神障害者の生活教室事業【予算：128,000円、決算：55,721円】

精神障害者の対人関係等の改善や社会生活への適応促進を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施しました。

- ・難病相談事業【予算：219,210円、決算：123,299円】

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送るために、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施しました。

《参考》【港北区における障害者の状況】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
身体障害者手帳所持者数	7,284人	7,320人	7,436人	7,391人	7,379人
精神保健福祉手帳所持者数	2,396人	2,595人	2,755人	2,909人	3,151人
「愛の手帳」所持者数	2,120人	2,222人	2,308人	2,400人	2,494人
合計	11,800人	12,137人	12,499人	12,700人	13,024人

3 災害時要援護者支援事業 【予算：410,000円、決算：1,080,900円】

地域における災害時要援護者支援の取組や安否確認に向けた取組を促進するべく、地域向けの災害時要援護者名簿に新規に登載された方へ訪問する際に配付するノベルティとして携帯トイレパックを購入し、自治会町内会へ配付しました。

(1) 配付対象

災害時要援護者名簿登載者のうち、新たに地域への名簿提供の意向確認がとれた区民(約2,000人)

(2) 配付方法

自治会町内会に郵送

【健康福祉局区配予算】【予算：1,715,800円、決算：1,571,004円】

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方(高齢者・障害者等)を対象とした名簿を作製し、協定を結んだ自治会町内会に名簿提供を行いました。

4 来庁者窓口サポート事業 【予算：1,850,000円、決算：1,629,603円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行いました。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

29年度	30年度	元年度※	2年度	3年度
3,629件	3,669件	2,873件	1,621件	1,413件

※元年度から指定難病の集中受付日を廃止し待機席案内件数が減少

《参考》【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況】

29年度	30年度	元年度	2年度※	3年度
17,086件	18,584件	19,697件	14,925件	16,897件

※新型コロナウイルス感染対策による各種手続簡略化等により減少

2-(8) 樽町地域ケアプラザ綱島分室の活用・促進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(8) 樽町地域ケアプラザ綱島分室の活用・促進事業	1,000,000円	917,210円	82,790円
高齢・障害支援課、福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

樽町地域ケアプラザの担当エリアは高齢者人口の過大規模エリアとなっており、元年度に樽町地域ケアプラザ分室が設置されたことに伴い、多様な世代の居場所づくりや地域の人たちの顔の見えるコミュニティづくり等を進めてきました。3年度については、新型コロナウイルスの影響で一部の事業が行えなかった一方で、綱島東と綱島西の2か所に分かれていたつなしま相談室とつなしま交流室の移転統合に併せて、施設環境整備による機能強化を行い、活用促進が進みました。

1 樽町地域ケアプラザ綱島分室の活用・促進事業【予算：1,000,000円、決算：917,210円】

(1) 移転統合の概要

- ・移転先：港北区綱島西2-11-4 シュロスオータニ綱島2F
- ・施設名：横浜市樽町地域ケアプラザ分室「つなしま相談室・つなしま交流室」
- ・移転日：3年12月1日
- ・施設概要：事務室、相談室、交流室（会議室兼事業スペース） 139㎡
- ・職員配置：保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士、生活支援コーディネーター 各1名

(2) 環境整備による機能強化

- ・交流室スペースの拡充
- ・交流室の床タイルカーペット貼替えによる振動防止
- ・授乳室用パーテーションの設置
- ・トイレ改修（手すり設置等）等

《参考》

【分室利用実績】

相談件数	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月	合計
3年度	1,226件 (内訳) 面接：276件 電話：898件 その他：52件	1,128件 (内訳) 面接：230件 電話：845件 その他：53件	1,196件 (内訳) 面接：248件 電話：882件 その他：66件	1,169件 (内訳) 面接：252件 電話：878件 その他：66件	4,719件 (内訳) 面接：1,006件 電話：3,503件 その他：210件
2年度	976件 (内訳) 面接：164件 電話：763件 その他：49件	1,031件 (内訳) 面接：253件 電話：738件 その他：40件	1,074件 (内訳) 面接：253件 電話：763件 その他：58件	1,101件 (内訳) 面接：218件 電話：821件 その他：62件	4,182件 (内訳) 面接：888件 電話：3,085件 その他：209件
(参考)	樽町地域ケアプラザ相談件数 3年度：2,646件、2年度：2,381件				

交流室 利用実績	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月	合計
3年度	30団体 (273人)	30団体 (385人)	27団体 (291人)	25団体 (178人)	112団体 (1,127人)
2年度	2団体 (12人)	4団体 (24人)	14団体 (120人)	14団体 (82人)	34団体 (238人)

3-(1)大規模スポーツ大会を契機とした地域まちづくり事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(1) 大規模スポーツ大会を契機とした地域まちづくり事業	12,885,000円	1,377,988円	11,507,012円
区政推進課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で事業を中止・縮小したことによる減 など	

【事業の概要】

元年度に開催されたラグビーワールドカップ2019™、3年度に開催された東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、区の魅力と区民のふるさと意識の向上を図ることを目的とした事業を地域や関係機関と連携して実施し、地域連携促進及び大会開催後のレガシーの定着に繋げました。

【主な内容】

- 1 大会を契機とした地域連携促進事業 【予算：1,200,000円、決算：66,000円】
 - ・事前キャンプ関連機運醸成（縮小）
 - ・コミュニティライブサイト（中止）
 - ・小机駅北口階段壁面装飾撤去



【広報よこはま区版 KEIO 2020 project（慶應義塾大学学生ボランティア）によるコラム掲載】



【公立保育園児が作製したボツワナ・チュニジアの選手への応援メッセージボード】

【市民局区配予算】

- ・大会を契機とした地域連携促進事業【予算：1,000,000円、決算：0円】
 - コミュニティライブサイト（中止）
- ・ホストタウン事業【予算：800,000円、決算：170,500円】
 - 第9回港北オープンガーデンにおける英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショーン」とのコラボレーション動画の配信

2 ラグビーワールドカップレガシー事業 【予算：1,403,000円、決算：246,307円】

ラグビーワールドカップ2019™が港北区で開催されたことをレガシーとする取り組みの一環として、慶應義塾大学にご協力いただき、小学校でのタグラグビー授業へサポート講師を派遣し、港北区でのラグビーの取組の定着を図りました。

- ・ 小学校のタグラグビー授業へのサポート講師派遣（6月～11月、全7校延べ19クラス）
- ・ 港北タグラグビー体験交流会（新型コロナウイルスの影響で中止）
- ・ 小学生ラグビー体験会（新型コロナウイルスの影響で中止）



【タグラグビーサポート講師派遣】

3 新横浜暑さ対策（ミスト） 【予算：200,000円、決算：119,959円】

新横浜北口ペデストリアンデッキ上に設置した「ミスト式冷却機器」にて、暑さ対策を行いました。（噴霧期間：7月20日から9月30日まで）



【ミスト噴霧の様子】

4 小机おもてなし事業 【予算：10,082,000円、決算：945,722円】

- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックでサッカーの競技会場となった横浜国際総合競技場周辺や小机駅で、来場者のおもてなしや、港北区の魅力をPRするための取組・イベント等を実施（大会の無観客実施に伴い中止）
- ・ オリジナルデザインマスクケースの作製及び配布（縮小）



【マスクケース（上：表面、下：裏面）】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3 - (2) 地域スポーツ推進事業	1,450,000円	367,038円	1,082,960円
地域振興課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で港北駅伝大会を中止したことによる減 など	

【事業の概要】

区内における地域スポーツの推進・活性化を図るため、区内のスポーツ活動団体が行う地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業を対象とした補助金交付を行いました。

港北駅伝大会は中止となりましたが、コロナ禍でも大会を開催できたスポーツ活動団体へ補助金を交付したことにより、地域スポーツの推進・活性化に繋げることができました。

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【予算：450,000円、決算：264,500円】

区内のスポーツの振興を図るために、スポーツ活動を行う団体の事業に補助金を交付しました。(12団体)

【港北区スポーツ振興事業補助金の概要】

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体の事業を補助することにより、区内のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）

2 港北駅伝大会開催支援 【予算：1,000,000円、決算：102,538円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付し、大会の開催に向けて支援しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止しました。



【元年度駅伝大会の様】

【申込チーム数(人数)】

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
245チーム (1,401人)	232チーム (1,296人)	235チーム (1,380人)	中止	中止

※2・3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

《参考》統合事業費

スポーツ推進委員支援事業【予算：2,869,000円、決算：2,491,765円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- ・事務費

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3 - (3) 港北区商店街活性化事業	1,600,000円	1,636,250円	▲36,250円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

消費者の関心・認知度の向上を図り商店街を活性化させることを目的とし、区内商店街及び商店街加盟店舗の盛り上げや利用につながるイベント「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を開催し、商店街を利用するきっかけを創出しました。

加えて、コロナ禍においても商店街が柔軟に活動できるよう、商店街が実施する感染症対策やICT化に対し支援を行いました。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【予算：1,000,000円、決算：1,636,250円】

商店街を利用するきっかけづくりを目的として、デジタルスタンプラリーイベント「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を開催しました。(12月1日～12月26日)



【こうほくの商店街 ちょいより散歩】

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」への参加人数】

こうほくの商店街 ちょいつまみウォーク					
年度	開催日	参加商店街数	参加店舗数	当日参加者数 (申込者数)	参加費 (保険料等)
29	11月25日(土)	11	66	554人(655人)	300円/1人
30	11月24日(土)	11	60	727人(823人)	300円/1人
元	11月23日(土)	11	56	- ※1(1,009人)	300円/1人
こうほくの商店街 ちょいより散歩					
年度	開催期間	参加商店街数	参加店舗数	参加者数	参加費
2	11月21日(土) ～12月6日(日)	13	1,000 ※2	559人	無料
3	12月1日(水) ～12月26日(日)	13	92 ※3	552人	無料

※1 元年度については荒天のため中止。

※2 2年度については、原則商店会に加盟する全店舗に参加を依頼したため、参加店舗申込は行っていません。

※3 3年度については、参加店舗募集を実施しました。

2 商店街情報発信支援事業 【予算：200,000円、決算：0円】

港北区商店街連合会に対し、ホームページやSNSでより効果的かつ効率的な発信を行うための広報戦略について支援を行う予定でしたが、経済局区配予算「地域経済活性化事業」を活用したため決算が0円になりました。

3 衛生対策支援事業 【予算：400,000円、決算：0円】

港北区商店街連合会で購入する衛生対策品に対する支援を行う予定でしたが、経済局区配予算「地域経済活性化事業」を活用したため決算が0円になりました。

[経済局区配予算]**・地域経済活性化事業 【予算：2,000,000円、決算：1,732,160円】**

コロナ禍における区内商店街の活性化及び消費促進の持続化・効率化を目的とし、以下の事業を実施

- ・ノベルティの作製（イベント等の来場者へ配布）
- ・港北区商店街消費促進事業補助金の交付
 - ・港北区商店街連合会ホームページの作製費用
 - ・衛生対策物品やオンライン会議に必要な機器購入にかかる経費

・港北区商店街活性化イベント事業補助金【予算：750,000円、決算：750,000円】

商店街が主催して行うイベント開催経費に対して補助金を交付
(3年度実績)

- ・つなしまサマーフェスティバル実行委員会 「つなしまサマーフェスティバル」
- ・日吉普通部通り会 「アートコンクール」

3-(4) ウォーキングから始まる健康づくり事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(4) ウォーキングから始まる健康づくり事業	1,199,000円	579,199円	619,801円
福祉保健課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で事業を中止したことによる減 など	

【事業の概要】

健康づくりの推進のため、区民にウォーキングの楽しさや魅力をPRすることで、ウォーキングをきっかけにした健康づくりへの意識醸成に結びました。

【主な内容】

1 ウォーキング継続推進 【予算：269,000円、決算：39,899円】

(1) 健康測定会の開催

港北区のイベントや地域会場で、保健活動推進員とともに「健康測定会」を11回開催しました。

【健康測定会の実績】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度※ ¹	3年度※ ²
参加者数	840人	1,644人	1,353人	0人	195人
実施回数	20回	25回	24回	0回	11回
実施内容	区民まつり、地区センターや地域ケアプラザまつり等で、体組成、血圧、足指力、立ち上がりテスト等を実施				

※1 2年度は29回の測定会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で実施を見合わせました。

※2 3年度は19回の測定会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で8回の実施を見合わせました。



【健康測定会】

(2) 保健活動推進員向けの研修会の開催

各地区の健康測定会が充実するよう、区保健師が講師となり、保健活動推進員に向けた研修を6か所で行いました。

※3年度実績：6か所開催、106人参加

13か所での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で7か所での実施を見合わせました。

(3) ウォーキングサポーター（保健活動推進員）への活動支援

保健活動推進員からウォーキングサポーターを各地区で選出し、歩数計を持って楽しく歩く、各地区におけるウォーキングイベントの企画及び実施について支援しました。

2 ウォーキング普及啓発 【予算：930,000円、決算：539,300円】

(1) 健康づくりのムーブメントの醸成

- ・ウォーキングサポーター（保健活動推進員）企画の健康ウォーキングの開催（12月）
- ・「港北区ウォーキング手帳」等の既存の媒体を活用し、個人や少人数でもできる運動を啓発



【歩こう港北！健康ウォーキング】

- ・よこはまウォーキングポイント歩数計アプリ登録者を増やすため、アプリ機能（独自でミッションを定めることができる）を利用したイベントを実施（10～11月）
- ミッション参加者：166人



【よこはまウォーキングポイント 歩数計アプリ画面】

局事業

【健康福祉局事業】

- ・よこはまウォーキングポイント事業
スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始。従来からの歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能

《参考》

【よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数（4年3月末時点）】

横浜市		港北区	
83,289人	7,933人	市の9.5% 区別順位 1位	

(2) ウォーキングの習慣化

- ・「港北区ウォーキング手帳」の更新・増刷（9月 3,000部）
- ・健康づくりに取り組む働き世代や区内事業所を取り上げ、地域情報誌等で紹介
- ・外部講師によるウォーキングミニ講座の実施（3回）



【港北区ウォーキング手帳】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(5) 育もう「ふるさと港北」事業	9,715,000円	5,433,007円	4,281,993円
地域振興課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で事業手法を変更したことによる減 など	

【事業の概要】

区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、ふるさと港北ふれあいまつりや大倉山観梅会等の世代間・地域間交流の場を提供するとともに、小机城址や港北区を拠点とするプロスポーツチーム等の地域資源を活用し、港北区の魅力を内外にアピールしたことで「ふるさと意識の醸成」を進めました。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業【予算：4,860,000円、決算：3,512,237円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が一堂に会する場である「ふるさと港北ふれあいまつり」をオンラインにより開催しました。多くの区民の皆さまにお楽しみいただけるようなコンテンツを取り入れ、実施したことにより「港北区への愛着心」を深めました。

2021ふるさと港北ふれあいまつり on-line (11月6日～11月21日)

※コアデイ11月13日(横浜アリーナからライブ配信)

総ビュー数：29,285 参加団体数：76 団体



【コアデイの様子】

[文化観光局区配予算]

- ・Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021事業【予算：500,000円 決算：500,000円】
ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会への補助金

2 大倉山観梅会事業【予算：1,150,000円、決算：0円】

大倉山観梅会(新型コロナウイルスの影響で開催中止)

[環境創造局区配予算]

- ・ガーデンシティ事業【予算：500,000円、決算：0円】
観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業【予算：1,650,000円、決算：587,944円】

港北区の魅力を発信するため、小机城址が「続日本100名城」に選定されていることを契機とし、「ふるさと港北」の意識を育む歴史的なシンボルとして小机城址の魅力プロモーションに取り組みました。

(1) 小机城址まつり

(新型コロナウイルスの影響で開催中止)

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

- ・小机城址試掘調査動画（調査期間11月1日～12月28日）
- ・小机城址ガイドマップ（13,000部）
- ・お城EXPO啓発（12月18日、19日）

(3) 北条五代観光推進協議会参画

- ・北条五代観光推進協議会総会（書面開催）
- ・「北条五代探訪」パンフレット（20,000部）



【「北条五代探訪」パンフレット】

4 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業【予算：655,000円、決算：589,501円】

- ・「港北区×横浜F・マリノス×横浜GRITS」連携ロゴを活用し出生届提出者を対象とした記念品（フォトフレーム）の作製・配付（約3,000枚）
- ・小学一年生対象の交通安全ランドセルカバー3,350枚の作製・配付（4月）



【ランドセルカバー】

5 わがまち港北映像ライブラリ事業【予算：600,000円、決算：650,000円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の作製や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成しました。

(1) 新規映像や既存映像を活用した配信用映像作品の作製

- ・港北公会堂リニューアル動画（1作品）
- ・港北地域学講座（4作品）
- ・港北ふるさと人物伝（2作品）
- ・港北の昔ばなし紙芝居（4作品）



【港北公会堂
リニューアル動画】

(2) ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営

港北区の歴史や魅力、文化等に関連する映像作品を配信するウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営を行いました。（通年）

6 青少年活動支援事業 【予算：500,000円、決算：93,325円】

ペットボトルロケット大会において飛距離部門を新型コロナウイルスの影響で中止し、デザイン部門のみを開催しました。

ペットボトルロケットの作製を通じて友達や家族のふれあいを深める場を提供するとともに、工を通してこども達の豊かな情操と優れた創造力を育みました。

- ・ペットボトルロケット大会（デザイン部門）の作品を区ホームページにて紹介（4年3月末時点の閲覧者数960人）



【3年度ペットボトルロケット大会デザイン部門】
（左：ホームページの様子、右：表彰式の様子）

【ペットボトルロケット大会参加者数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
延べ人数	700人	雨天中止	600人	中止	52人 (デザイン部門のみ)

7 港北公会堂リニューアルイベント事業 【予算：300,000円、決算：0円】

港北公会堂がリニューアルオープンすることを記念して、公会堂がより多くの区民や団体に親しみをもって利用していただけるために、区民向けイベントを4月3日に開催する予定でした。しかし、4月から公会堂が新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場に決まったため、区民向けイベントを中止しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(6) 地域のチカラ応援事業	3,281,000円	1,687,258円	1,593,742円
地域振興課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で申請団体数が減少したことによる減 など	

【事業の概要】

地域課題の解決に向けた地域住民による主体的な取組を支援するため、公益的な活動を行う団体に対して、補助金交付や広報による活動の周知などを行い、自立した活動に結びました。

また、交流の場の提供などによる団体間の連携促進の取組を行いました。

新型コロナウイルスの影響により交付団体の減少等がありましたが、オンラインを活用した新たな繋がりに結び付けました。また、新型コロナウイルス感染防止対策シートの提出を求めるなど感染防止を徹底したことにより安全に執行することができました。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業活動補助金の交付等

(1) チャレンジコース 【予算：2,793,000円、決算：1,516,978円】

区内で一定の活動実績がある団体のさらなる公益的事業を対象に、1団体最長5年間上限30万円の補助金を交付しました。

【交付団体数・交付金額】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
団体数	19団体	19団体	18団体	6団体	7団体
金額	2,558,300円	2,464,700円	2,767,500円	1,094,800円	1,516,978円

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報等の活動支援を行いました。

【承諾団体数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
団体数	8団体	8団体	7団体	3団体	8団体

[市民局区配予算]

元気な地域づくり推進事業

- ・スタートアップコース【予算：250,000円、決算：200,000円】

新たに始める事業対象

1団体最長2年間 上限5万円（年間を通じて申請を受け付けます）

- ・地域元気づくりコース【予算：750,000円、決算：643,368円】

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業

1団体最長5年間 上限25万円

【交付団体数・交付金額】

	年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
スタートアップコース	団体数	7団体	9団体	10団体	4団体	4団体
	金額	250,000円	354,000円	418,000円	175,000円	200,000円
地域元気づくりコース	団体数	5団体	6団体	4団体	4団体	3団体
	金額	1,200,000円	123,700円	624,000円	534,000円	643,368円

2 団体間の連携促進の取組 【予算：488,000円、決算：170,280円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による公開提案会を開催しました。有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会*委員）からの助言や団体同士の交流会による団体間の連携を促進しました。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換についても促進を図りました。

- ・公開提案会（4月17日） 提案発表：5団体 参加者：27人
- ・市民活動交流会（新型コロナウイルスの影響で中止）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。（5人）
補助金申請団体の活動に関して助言を行いました。



【地域のチカラ応援事業・公開提案会（4月17日）】

[市民局区配予算]

- ・元気な地域づくり推進事業【予算：495,000円、決算：0円】

「港北つなぎ塾」（「協働」の地域づくり大学校）の実施

市民活動団体の方や地域で活動されている方々と、区役所職員が、共に「協働による地域づくり」を推進できるよう、港北区の特性を踏まえた協働の取組事例を学びつつ、グループワークなどを通して地域課題の解決手法や魅力づくりを学びあう場です。

※新型コロナウイルスの影響で開催中止となりました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(7) 港北魅力発見事業	3,385,000円	2,846,554円	538,446円
区政推進課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で事業手法を変更したことによる減 など	

【事業の概要】

港北区の魅力を発信し、区民の地域への愛着を深めるためのイベントを実施しました。
 オープンガーデンを開催することで、地域の方々の交流が生まれ、緑化に対する区民の理解を深めることができました。また、オープンファクトリーをオンライン形式で区内の小学校4校に通う児童を対象に開催することで、製造業への理解とものづくりの魅力発見に繋がりました。

【主な内容】

1 オープンガーデン 【予算：2,400,000円、決算：2,385,124円】

第9回港北オープンガーデン（4月、5月 計42日間）及び第10回イベントに向けた企画



【現地公開】



【動画配信】



【若年層の参加を促すチャレンジ企画】

《参考》【オープンガーデンへの参加状況】

年度(回数)	開催日数	公開箇所	延べ来場者数
29年度(第5回)	6日	84	約8,300人
30年度(第6回)	6日	87	約8,300人
元年度(第7回)	4日	100	約8,400人
2年度(第8回)※1	中止	107※2	—
3年度(第9回)	42日	114※3	※4

※1 新型コロナウイルスの影響で中止

※2 参加予定数

※3 現地公開(動画配信あり)91、現地公開(動画配信なし)20、動画配信のみ3

※4 参考数値：延べ約900人(25か所でカウント 2日間)

動画再生回数：43,834回(3年6月21日時点 全94動画合計)

【環境創造局区配予算】

・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり

【予算：1,500,000円、決算：1,482,880円】

第10回オープンガーデンのパンフレット作製及び電車広告等版下作製

【市民局区配予算】(再掲)

・ホストタウン事業【予算：300,000円、決算：170,500円】

英国と横浜をつなぐ親善大使「ひつじのショー」とのコラボレーション動画の配信(英国事前キャンプの機運醸成)

2 オープンファクトリー 【予算：985,000円、決算：461,430円】

区内の小学校4校に通う児童を対象に、オンライン形式で第10回港北オープンファクトリーを開催しました。



【小学校での様子】



【中継先の様子】

【第10回オープンファクトリーの実績】

日付	参加企業	対象校	参加実人数
1月17日(月)	(有)鈴木機械彫刻所、東洋測器(株)、(株)第一鉸製作所	下田小学校	3年生 109人
2月14日(月)	(株)宮川製作所	港北小学校	5年生 139人
2月15日(火)	(株)田島精研、(株)キョーワハーツ、(株)オースズ	高田小学校	5年生 87人
2月21日(月)	(株)バネックス	日吉南小学校	5年生 133人
合計	8社	4校	468人

【オープンファクトリーの開催実績】

年度(回数)	開催日数	公開箇所	延べ参加者数	備考
29年度(第6回)	1日	14	283人	
30年度(第7回)	2日	11	267人	
元年度(第8回)	中止	13 (予定)	—	新型コロナウイルスの影響で中止
2年度(第9回)	—	11	5,573回 (視聴数)	一般向けにウェブサイト上で動画を公開する形で開催(「おうち港北オープンファクトリー」)
3年度(第10回)	—	8	468人	区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催

【経済局区配予算】

- ものづくり経営基盤強化事業 【予算：500,000円、決算：500,000円】
「第10回港北オープンファクトリー」の運営委託

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(8) 芸術文化振興事業	2,000,000円	1,303,279円	696,721円
地域振興課	差引理由	新型コロナウイルスの影響で事業を中止したことによる減 など	

【事業の概要】

区内の芸術文化振興を図るため、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業と、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業を実施したことで、区民が身近な場所で文化芸術に親しむ機会を創出しました。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【予算：2,000,000円、決算：1,303,279円】

(1) 鑑賞型事業

狂言（11月28日 障害スポーツ文化センター 横浜ラポール ラポールシアター）
来場者数：125人



【鑑賞型事業 狂言】

※なお、もう1事業予定していました鑑賞型事業（ジャズコンサート）については、実施を見送りました。

(2) 参加型事業

- ・港北三曲会演奏会（11月20日 港北公会堂）来場者数：178人
- ・筆文字で遊ぼう（書道体験教室）（12月4日 港北区役所）参加者数：5人
- ・港北美術展（3月14日～27日 港北区ホームページ上）閲覧者数：1,486人

※新型コロナウイルスの影響で中止した事業

- ・さわってみよう！箏（7月31日、8月28日 港北区役所）
- ・夏休み親子コンサート（8月29日 港北公会堂）
- ・港北区中学校生徒音楽会（10月17日 英理女子学院高等学校）
- ・港北芸能大会（11月3日 港北公会堂）
- ・港北区小学校児童音楽会（11月10～12日 港北公会堂）
- ・オーケストラ体験教室（3月5日 港北公会堂）

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
来場者数 (閲覧者数含む)	11,681人	9,168人	5,553人	2,741人	1,794人
実施事業数	11事業	10事業	9事業	4事業	4事業

※29年度は港北芸術祭25周年記念事業実施による増

※元年度（1月以降）・2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響で、イベント開催を中止したことによる減

※2・3年度の港北美術展は新型コロナウイルスの影響で、ホームページ上でオンライン開催（2年度は2回開催）

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順・4年3月末時点）】

鵜澤 聡明	港北区長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
川島 武俊	港北区連合町内会会長
五大 路子	女優
塩坂 靖子	押し花作家
芳賀 美穂	声楽家
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行いました。

- ・大倉山秋の芸術祭（10月27日～11月1日 大倉山記念館）
- ・芹沢けい介緞帳プロジェクト（12月12日 港北公会堂）
- ・港北シンフォニーコンサート（1月10日 神奈川県立音楽堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（2月13日 港北公会堂）

【各種団体主催事業への来場者数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
来場者数	13,543人	12,457人	14,777人	2,117人	5,237人
実施事業数	8事業	9事業	11事業	2事業	4事業

※2・3年度は新型コロナウイルスの影響でイベント開催を中止したことによる減

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3 - (9) 区民活動支援事業	1,468,000円	1,405,274円	62,726円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区民の地域活動・生涯学習を支援するため、地域団体の育成の取組を実施しました。新型コロナウイルスの影響がある中でも、活動を止めることのないように、オンラインを活用した新たな繋がりや、屋外での活動等による感染防止を徹底したことにより安全に活動することができました。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【予算：303,000円、決算：321,131円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材貸出等を行いました。



【区民活動支援センター】



【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【予算：955,000円、決算：955,000円】

区民活動の喚起のため、団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を発行しました。より幅広い層に知っていただくために区内の区民利用施設等のほか、地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等にも配架しました。

- ・ A4版6ページ、年6回発行（3,200部/回）

3 まちの先生・市民グループ・団体支援事業 【予算：210,000円、決算：129,143円】

- ・ グループ・団体同士の繋がりを促すための「つながるカフェ」を開催しました。（6・7月）（全2回）
- ・ 港北区の歴史等を学ぶ講座を通し、新たな人材発掘に繋げる「港北地域学」を開催しました。（11月～3月）（全4回）
- ・ グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザ等による「施設間連携会議」を開催しました。（12月）
- ・ 様々な知識や経験を持ちボランティア活動に意欲のある方（希望者）にまちの先生として登録いただき大倉山記念館オープンデイ等でPRしました。（2月）
- ・ まちの先生登録者数 137人（4年3月末時点）

[市民局区配予算]

- ・市民活動支援センター機能強化事業【予算：188,000円、決算：187,000円】
 - ・居場所訪問の実施（6～9月 18か所訪問）
 - ・コーディネータ力強化研修の実施（11月21日、12月9日、12月20日、3月18日
延べ44名参加）
 - ・居場所交流会の実施（3月14日 22名参加）

※ 居場所とは：人が、世間、社会の中で落ちつくべき場所。安心していただける場所。
区内には、こども、子育て、高齢者、親子の居場所等様々な居場所が存在している。（大倉山ミエル、フリースペースほっぷ、COCOしのはら、高田ゆずの樹、カフェおから、福茶きらり等）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(10) 地域振興活動事業	2,120,000円	1,152,148円	967,852円
地域振興課	差引理由	回覧物の中止による通信運搬費の減など	

【事業の概要】

行政情報を効率良く地域に提供し、広く区民の方に区政や地域活動に参加していただくことを目的として、区連会（港北区連合町内会定例会）等の資料を各自治会町内会に送付を行いました。

また、普段から地域活動に従事している自治会町内会長の功績を讃え、永年在職者の表彰を実施しました。

これらの事業により地域と行政とのつながりを強化し、市政及び区政を円滑に進めることができました。

【主な内容】

- 1 **通知・回覧物の送付** 【予算：1,320,000円、決算：965,884円】
区連会資料や通知等を自治会町内会へ送付（年10回（8月・12月を除く月1回））
- 2 **自治会町内会長感謝会の開催** 【予算：300,000円、決算：81,714円】
新型コロナウイルスの影響で感謝会の開催は行わず、表彰状及び記念品の贈呈のみ実施
（表彰者：15年表彰2名、10年表彰4名、5年表彰11名）
- 3 **IT・ICT支援事業** 【予算：500,000円、決算：104,550円】
地区連合町内会単位でICT講座の開催（新型コロナウイルスの影響で、一部の地区連合町内会でのみ開催）

[市民局区配予算]

- ・地域活動推進費【予算：99,607,000円、決算：97,518,480円】
区連合町内会・地区連合町内会・自治会町内会への補助、自治会町内会加入促進活動等
- ・防犯灯維持管理費補助金【予算：897,600円、決算：858,000円】
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助

《参考》

地域活動推進事業

- ・ 区連会ホームページの更新
- ・ 自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発ごみ袋の作製と配布
- ・ 自治会町内会区域図の提供
- ・ 区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・ 建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・ 広報よこはま、タウン誌への記事掲載
- ・ 「自治会町内会活動のしおり」配布（加入促進に関するQ Aの掲載）
- ・ まつりイベントへの広告掲載
- ・ デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の作製



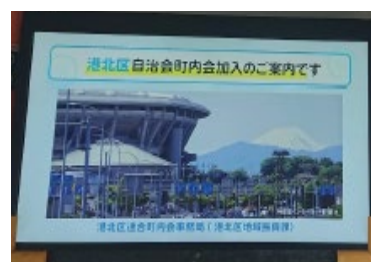
【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発ごみ袋】



【加入促進動画】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(11) 読書活動推進事業	800,000円	673,874円	126,126円
地域振興課	差引理由	読書フェスティバルイベントカレンダー印刷見直しによる減 など	

【事業の概要】

区の地域性に応じた読書活動を推進するため、「第二次港北区読書活動推進目標」に沿った取組や、新たに設置された日吉図書取次所「日吉の本だな」を活用した情報発信等を実施したことで、区民が読書に親しむ機会を創出しました。

【主な内容】

1 みんなで遊ぼう本とであおう事業 【予算：150,000円、決算：107,601円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進しました。

(1) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」(中央図書館発行)を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場で配布

(2) 紙芝居作製イベント

小学生対象に手づくりの紙芝居を作製するイベント(新型コロナウイルスの影響で中止)

(3) みんなで遊ぼう本とであおうイベント

「ヨコアrikunまつりオンライン」(11月 横浜アリーナウェブサイト)にて、読書活動推進関連コンテンツを配信(港北図書館司書ブックトーク動画3本の配信等)



【ブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」】



【ブックトーク動画
(小学1・2年生向けおすすめ本紹介動画)】

2 読書情報発信事業 【予算：330,000円、決算：520,244円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化しました。

(1) 各施設からの情報発信の強化

- ・図書館や日吉の本だな等の関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介（通年）
- ・区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介した「港北区本との出会いマップ」を改訂・発行（3月発行 15,000部）



【港北区本との出会いマップ
ー図書貸出施設・閲覧施設ー】

(2) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやツイッター等、ICTを活用して発信

3 読書団体連携事業 【予算：320,000円、決算：46,029円】

区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携した取組や情報交換を実施しました。

(1) 読書フェスティバル

読書活動推進月間に区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載（11月）

(2) 港北区読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等（小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区）で構成する連絡会（6月 港北区役所）
出席人数 13機関16人

(3) 港北区読み聞かせ交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会（新型コロナウイルスの影響で中止）

【教育委員会事務局区配予算】

- ・横浜市民の読書活動推進事業 【予算：100,000円、決算：100,000円】

区づくり推進費と合算して、区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介した「港北区本との出会いマップ」を改訂・発行（3月発行 15,000部）

《参考》

【第二次港北区読書活動推進目標】

- 〔目標1〕子どもたちの成長に応じた読書活動の推進
- 〔目標2〕だれもが読書に親しみ、楽しむきっかけづくりの推進
- 〔目標3〕図書館・関連施設・地域が協働した読書活動の推進
- 〔目標4〕ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(12) こうほく3R推進事業	1,592,000円	1,320,122円	271,878円
地域振興課	差引理由	消耗品の在庫活用による減 など	

【事業の概要】

ヨコハマ3R夢プランに基づき、3Rの推進や清潔で美しい街づくりのため、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働し、ごみの減量・街の美化に繋がりました。

【主な内容】

1 街の美化の推進 【予算：355,000円、決算：341,082円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発
啓発キャンペーン(日吉駅)(5月(新型コロナウイルスの影響で中止)、10月、11月)
駅周辺啓発指導(日吉駅・新横浜駅)(7月)
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援(通年)
不法投棄地域清掃支援(新羽大熊農業専用地区(11月))
新横浜駅前周辺清掃(月1回)、横浜アリーナ周辺清掃(月1回)、日吉駅周辺清掃(10月)

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置、不法投棄監視システムの維持管理(随時)

2 3R夢行動の推進 【予算：1,237,000円、決算：979,040円】

(1) 3R夢行動・清潔で美しい街づくり推進者表彰

「ヨコハマ3R夢プラン」行動の推進及び清潔で美しい街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等の表彰

※新型コロナウイルスの影響で式典は実施せず、賞状は配送

(2) 3R夢推進事業

- ・3R夢普及啓発
地域イベント、大型スーパー店頭、分別啓発地域説明会(通年 約50回)
- ・生ごみ減量化の取組
土壌混合法説明会(4~10月 月1回) ※7~9月は悪天候のため実施せず

(3) 3R夢学習事業

区民向け啓発講座、保育園・小中学校などへの出前教室、収集事務所等での環境学習(通年 10回)



【保育園での出前講座】

(4) こうほく3R夢活動助成金

- ・区内の連合町内会に対し、3R夢プラン行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金を支給（年額3万円）
 - ・環境事業推進委員への支援（施設見学会）
- ※新型コロナウイルスの影響で中止

〔資源循環局区配予算〕

- ・ヨコハマ3R夢広報啓発事業 【予算：100,000円、決算：100,000円】
啓発物品の購入費

《参考》

【横浜市の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	3年度	2年度	増減
燃やすごみ	547,079 【48,362】	566,595 【50,001】	▲19,515 (▲3.4%) 【▲1,639 (▲3.3%)】
その他	290,015 【24,253】	298,282 【24,985】	▲8,267 (▲2.8%) 【▲733 (▲2.9%)】

※【】内は港北区の数量

※その他は「燃やすごみ」以外のごみ量（不法投棄等）と資源化量の合計値です

《参考》

統合事業費

クリーンタウン横浜事業【予算：1,619,000円、決算：1,434,595円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。

また、30年10月に新たに日吉駅周辺を美化推進重点地区に指定しました。

街の美化の推進

(1) 新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）

港北区美化推進員活動（通年 週3回）

(2) 日吉駅周辺（美化推進重点地区）

港北区美化推進員活動（通年 週2回）

委託による清掃活動（通年 月1回）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(13) 港北エコアクション推進事業	3,176,000円	2,941,120円	234,880円
区政推進課	差引理由	区庁舎屋上庭園再整備に伴う屋上庭園運営事業負担金の残 など	

【事業の概要】

港北区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策行動に取り組めるよう、区役所・区民・事業者が協働して「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ3R夢プラン」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進め、区民の自然環境を守る行動や意識向上に繋がりました。

【主な内容】

1 港北水と緑の学校事業 【予算：2,700,000円、決算：2,545,000円】

環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しました。

- ・区内小学校向け講座（10～1月）
- ・一般向け講座（環境防災学習動画を作製し区ホームページで公開）
- ・小学生の学習成果の展示会（3月 Web開催）



【区内小学校向け講座】



【一般向け講座（動画）】



【展示会（Web開催）】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加人数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実施回数	20回	20回	20回	18回	18回
小：小学校向け講座	(小18回、	(小18回、	(小18回、	(小18回)	(小18回)
一般：一般向け講座	一般2回)	一般2回)	一般2回)	※	※
延べ参加者数	1,983人	1,763人	1,904人	1,242人	1,702人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

【環境創造局区配予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【予算：150,000円、決算：150,000円】
区内の森や林の存在、森の魅力や緑の防災力を伝える環境防災学習動画を作製し、区ホームページで公開

2 屋上庭園等運営事業 【予算：300,000円、決算：150,000円】

屋上緑化の維持管理を区民と連携して実施しました。

- ・太尾小学校（通年）
- ・区庁舎（屋上庭園再整備に伴い休止）

3 港北エコアクション推進事業 【予算：176,000円、決算：246,120円】

広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発を行いました。

[環境創造局区配予算]

- ・身近に農を感じる地産地消の推進事業 【予算：600,000円、決算：600,000円】
港北区直売所マップの更新・増刷等を実施

《参考》

港北区直売所マップ発行（3年度）

- ・区内の野菜・果物・花苗等の直売所、よこはま地産地消サポート店等を紹介
（1月発行 11,000部）
- ・区役所等公共施設、区内直売所等で区民に対して配布。区ホームページにも掲載



【港北区直売所マップ】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(14) データ活用による まちづくり推進事業	1,230,000円	1,222,200円	7,800円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

データ活用を推進し地域課題解決に向けた地域の活性化を図るため、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下、慶應SDM）と連携し、スポーツを通じたデータ活用事業を実施し、地域活性化に繋げることができました。

【主な内容】

1 データ活用によるまちづくり 【予算：1,000,000円、決算：1,000,000円】

慶應SDMと連携し、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、身近なスポーツ等をテーマとして、データ活用への興味に繋げる取組を実施しました。

・スポーツプロジェクト

（6月3日：2年生測定、6月9日：5年生測定、7月16日：2年生・5年生フィードバック）

横浜市立日吉台小学校の児童を対象に、GPS受信機及び光電管を活用した50m走測定を実施しました。

ストップウォッチ及び光電管ではタイムを、GPS受信機では最高速度及び最高加速度をそれぞれ測定し、50m走を可視化し検証しました。また、早く走るための運動体験も行いました。



【光電管】



【早く走るための運動体験】

・港北オンラインラジオ体操（8月2～6日、9日～13日の10日間 各日約600人）

夏休み期間、Zoom及びYouTubeを活用し、オンライン上でラジオ体操を実施しました。地域の方をゲストに招き、ICTを活用した地域交流・活性化につなげるとともに、子どもたちをはじめとした区民の皆様にも運動機会を提供しました。



【チラシ及びラジオ体操会カード】



【ラジオ体操の様子】

2 GISの活用推進 【予算：230,000円、決算：222,200円】

- ・職員のGIS研修への参加（9月）
- ・GISのライセンス更新



【GIS活用による
野菜等の直売所マップ】

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引 (A-B)
3 - (15) まちづくり調整費	2,490,000円	2,339,729円	150,271円
区政推進課	差引理由	データ整理検討業務委託の契約残 など	

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決を目的とした調査や関係機関との調整を行い、区の統計情報のオープンデータ化を進めるための基礎調査や区内の主な公共機関との関係構築に繋がりました。

【主な内容】

まちづくり調整事務費・まちづくり調査費 【予算：2,490,000円、決算：2,339,729円】

- ・区民文化センター（6年3月開館予定）の縦帳デザイン検討・決定（通年）
- ・オープンデータの公表及びエビデンスに基づく事業実施を目的とした、データ利活用に関する港北区版ロードマップの作製（12月～3月）

【これまでに実施したまちづくり調査等】

	実施内容
29年度	港北国際交流ラウンジの活性化検討調査
30年度	篠原城址緑地の魅力発信のための整備図作製
元年度	大倉山駅周辺の案内表示対応
2年度	S I B本格実施に向けたモデル事業として、オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(1) 港北区PR情報発信事業	2,110,000円	1,908,376円	201,624円
区政推進課	差引理由	イベント等の中止に伴うPR経費の見直しによる減 など	

【事業の概要】

的確な行政情報を提供するため、ウェブサイトやツイッター等による迅速な情報発信するとともに、港北区キャラクター「港北区ミズキー」を積極的に活用し区への親しみや愛着を持ってもらえる広報に取り組んだ結果、ツイッターのフォロワーは1万人を超えました。

また、主に区内への転入者向けに「港北区ガイドマップ」を12,000部作製し、区域の生活に必要な情報提供を行いました。

【主な内容】

1 情報発信事業 【予算：1,310,000円、決算：1,108,456円】

ウェブサイトやツイッター等を利用し、災害時の緊急情報やイベント情報、区の魅力等、様々な情報を発信します。また、港北区制70周年（21年度）を機に作製した区キャラクター「港北区ミズキー」のイラストや着ぐるみの活用を図り、区のPRに結びました。

【港北区ツイッターフォロワー数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
人数	約4,800人	約5,700人	約7,700人	約8,800人	約10,200人

【ウェブサイトアクセス件数・着ぐるみ利用件数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
港北区ウェブサイトアクセス件数	約271万件	約298万件	約309万件	約350万件	約300万件
港北区ミズキー着ぐるみ利用件数	25件	24件	42件	10件	7件

2 港北区ガイドマップ作製・配布事業 【予算：800,000円、決算：799,920円】

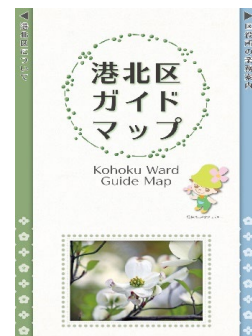
地図面と情報面で構成し、地図面は区の主要施設が掲載された全域地図を、情報面は区内の見どころやバス路線図、困ったときの相談窓口等、生活に役立つ情報を掲載し配布しました。



【港北区ミズキー】



【フォロワー1万人達成】



【港北区ガイドマップ】

4-(2) 戸籍課案内サービス向上事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(2) 戸籍課案内サービス向上事業	4,531,000円	4,671,864円	▲140,864円
戸籍課	差引理由	転入者キット作製事業の単価による増など	

【事業の概要】

来庁するお客様の待ち時間の短縮に向け、職員を窓口業務に充てるため、電話対応の一部に専門スキルを持ったオペレーターを活用しました。また、窓口で転入者等にお渡ししている転入者キット（暮らしのガイドに市政・区政情報を差し込んだもの）について、区内障害者施設に作製を依頼し、作業の効率化を実施しました。

【主な内容】

- 1 オペレーターによる電話案内事業 【予算：4,131,000円、決算：4,216,213円】
 - ・オペレーターにより、電話案内を行いました。（通年）
 - ・繁忙期の3年4・5月、4年3月は2人、その他期間は1人配置

【電話案内業務実績】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
電話受付件数	3,281件	4,101件	5,486件	11,286件	16,029件
オペレーター配置日数	36日	40日	59日	127日	252日
延べ配置人数	53人	65人	115人	280人	309人

※元年度までは繁忙期のみの実施でしたが、2年度から実施期間を拡大しているため、数値が大幅に増加しています。

- 2 転入者キット作製事業 【予算：400,000円、決算：455,651円】

障害者施設に作業を依頼し、作業の効率化等を図りました。（通年）

【転入者キット作製数（3年度）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
400部	600部	600部	600部	400部	800部
10月	11月	12月	1月	2月	3月
600部	400部	400部	600部	800部	800部

（合計7,000部）

《参考》

【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】

年	30年3月末	31年3月末	2年3月末	3年3月末	4年3月末
人口(A)	344,336人	347,081人	349,652人	351,554人	359,752人
世帯数(B)	168,466世帯	170,863世帯	173,235世帯	175,307世帯	177,746世帯
平均世帯人員(A/B)	2.04人	2.03人	2.02人	2.0人	2.02人

4 区民サービス向上に向けた取組

【市外からの転入者数（住民基本台帳人口）】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
市外からの転入者数	13,977人	14,622人	15,070人	14,451人	14,254人

※転入世帯数（3年度）

14,254人（市外からの転入者数）／2.02人（平均世帯人員）＝7,056世帯（推計）

4-(3)「仕事力向上」職員育成事業

事業人・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(3) 「仕事力向上」職員育成事業	820,000円	530,500円	289,500円
総務課	差引理由	職員向け人権啓発研修の一部縮小による減 など	

【事業の概要】

運営方針に掲げる5つの仕事力（「聴く力」、「考える力」、「学ぶ力」、「行動する力」、「伝える力」）を向上させるため、自主企画研修及び人権啓発研修等を実施し、CS（顧客満足度）・ES（職員満足度）向上の意識づけを行いました。

【主な内容】

1 CS・ES向上研修 【予算：620,000円 決算：478,500円】

- (1) 新採用・転入職員向けCS向上研修（4月27、28日 参加者実数：35人）
新採用・転入職員に窓口・電話対応研修を実施しました。
- (2) ワークスタイル改革研修（7月27、29日 参加者実数：48人）
責任職及び職員にワークスタイル改革の考え方や具体的手法について研修を実施しました。
- (3) 事務処理ミス防止研修（12月9、10日 参加者実数：61人）
責任職及び職員に事務処理ミス防止研修を実施しました。
- (4) 中堅職員向けCS・ES向上研修（1月19日 参加者実数：15人）
中堅職員にマネジメント・リーダーシップ研修を実施しました。
- (5) 会計年度任用職員向けCS・ES向上研修（2月 対象者数：280人）
会計年度任用職員に窓口・電話対応研修（自習形式）を実施しました。

2 人権啓発講演会等 【予算：200,000円 決算：52,000円】

職員向けの人権啓発研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部の講義の縮小等を行いながら実施しました。（参加者実数：561人 全10回）

市民・職員向けの人権啓発講演会及び男女共同参画講演会は、新型コロナウイルスの影響で中止しました。代わりに、横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区HPに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿しました。

【実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者 (実数)
29年度	港北の未来をひらく ～学校と連携した地域防災拠点運営に向けて～	鷲山 龍太郎（横浜市立長津田小学校長）	約400人
30年度	避難所で本当に命と健康守れますか!? 高齢者・障害のある方・女性・子どもなどの視点から	浅野 幸子（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表）	約400人
元年度	災害時のトイレ問題について一緒に考えませんか?～災害時のトイレ問題を「自分事」として捉えよう～	加藤 篤（NPO法人日本トイレ研究所代表理事）	約400人
2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 (新型コロナウイルス等の感染症にかかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付)		
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区HPに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		

4 区民サービス向上に向けた取組

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	9,932,000円	18,664,465円	▲8,732,465円
総務課・地域振興課	差引理由	区庁舎のレイアウト改修及び個人情報保護対策用物品の購入による増 など	

【事業の概要】

区庁舎をはじめとした区内の区民利用施設等について、利用者が快適に過ごせる環境づくりのため、施設の機能強化や新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施し、施設環境を向上しました。

【主な内容】

- 1 区庁舎等の環境改善・機能強化 【予算：6,415,000円、決算：12,637,022円】
区民がより快適に利用できるよう、区庁舎等の環境改善・機能強化を図りました。
 - ・防犯カメラ、AED等のリースの実施
 - ・2階フロアのWi-Fi通信費の執行
 - ・感染症対策のための物品（アルコール等）の購入
 - ・感染症対策のための飛沫防止パーテーションの設置
 - ・フロアレイアウト改修の実施
 - ・個人情報保護対策用物品の購入

- 2 区民利用施設の環境改善・機能強化 【予算：3,517,000円、決算：6,027,443円】
 - ・区民利用施設の環境改善・機能強化のための委託やリース
 - ・菊名コミュニティハウス2階部分のサッシ一部更新（新型コロナウイルス感染症対策）
 - ・小机スポーツ会館照明のLED化
 - ・菊名寿楽荘敷地法面への簡易土留め設置（斜面地対策）
 - ・子供の遊び場等の樹木伐採・剪定

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	11,582,000円	11,356,862円	225,138円
区政推進課	差引理由	印刷単価の減による減 など	

【事業の概要】

区の事業や区役所・区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま市版と併せて発行し、主に自治会町内会を通じて各世帯に配布しました。区の施策や周知事項をより効果的に伝えるため、紙面構成の見直しや写真・イラスト等の活用、地域の情報や人物等の掲載を行いました。

また、3年度からは次の取組により、より多くの人に情報を届けました。

- ・配架場所の拡大(区内郵便局28か所)
- ・発行後のSNS発信の充実(特集・トピックス全記事発信、ツイート時間の工夫、画像等を多用し視覚的に伝達)
- ・特集記事における他局との連携拡充

【主な内容】

広報よこはま区版作製 【予算：11,582,000円、決算：11,356,862円】

(1) 発行

毎月1日、年12回
1,718,000部（平均約143,000部/月）

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ

(3) 紙面構成

- ・特集・トピックス記事

区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面

12月号特集 「特殊詐欺にご用心！」

2月号特集 「令和4年度市民税・県民税の申告が始まります」

- ・お知らせ記事

区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

(4) その他

港北福祉保健センターからのお知らせ

発行：年1回（4年4月号に挟み込み）

仕様：4色刷り、4ページ

内容：検診日程等



【広報よこはま区版】



【港北福祉保健センターからのお知らせ】

【広報よこはま区版発行部数】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
年間部数	162万部	164万部	166万部	166万部	172万部
月平均部数	13.5万部	13.7万部	13.8万部	13.8万部	14.3万部

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,092,000円	2,024,711円	67,289円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区民向けに専門家による無料相談事業を行い、区民が日常生活で直面する問題解決の一助となる機会を提供しました。また、「市民からの提案」などの広聴制度により、手紙や投稿フォームで寄せられた提案・意見などの受付、回答、内容の公表をすることで、区民のニーズ把握や行政サービスの向上に寄与しました。

【主な内容】

1 特別相談事業 【予算：2,092,000円、決算：2,024,711円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行いました。

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など 法律問題全般について	弁護士	水曜日、 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士相談	債務整理（140万円以下）、不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1・3火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

2 特別相談・広聴・窓口案内件数（単位：件）

		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
特別 相談	法律相談	454	471	482	435	420
	司法書士相談	1	131	135	40	57
	公証相談	29	31	24	10	8
	交通事故相談	18	19	13	2	6
	行政相談	24	23	8	0	0
広聴事業		650	535	709	1083	1049
窓口案内		99,317	80,041	77,003	62,343	61,006

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 消費生活推進事業	187,000円	113,424円	73,576円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

悪質商法等の消費者被害の防止のため、消費生活推進員の活動を支援するとともに、区民向けの講座を通して、地域の消費生活環境の安定・向上につなげました。

【主な内容】

1 学習・啓発 【予算：144,000円、決算：73,424円】

(1) 区民向けの啓発

- ・「こうほく消費者のつどい～不当・架空請求トラブルにあわないために～」
(10月20日 大倉山記念館ホール) 来場者：約40人



【こうほく消費者のつどい】

- ・2021ふるさと港北ふれあいまつり on-line (11月6日～11月21日)
港北区消費生活推進員の活動を動画作製し、オンライン上で啓発活動
- ・港北図書館での啓発活動 (2月1日～2月7日)
消費生活に関する書籍及び悪質商法対策等の啓発パネルを配置した特設コーナー

(2) 広報紙「あゆみ」の発行

消費者被害未然防止等の啓発や推進員の活動の周知を目的とした広報紙「あゆみ」を作製しました。(3月)

2 地域活動支援 【予算：43,000円、決算：40,000円】

区内全域を対象として広く啓発を行っていくため、関係団体と連携した啓発活動を進めるなど、消費生活推進員が行う消費者被害未然防止・拡大防止に関する啓発講座の開催を支援しました。

【港北区消費生活推進員数】

年度	29～30年度	元～2年度(公募)	3～4年度(公募)
消費生活 推進員数	136人	12人	20人

※任期2年(3年4月～5年3月)

※元年度から募集方法を公募にしたため、人数が減少しています。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	2,428,000円	1,954,010円	473,990円
地域振興課・こども家庭支援課	差引理由	コロナ禍での活動縮小に伴うイベント中止による減 など	

【事業の概要】

青少年の健全育成を図るため、地域でのパトロール活動の実施やイベントを開催したことで、青少年指導員協議会の健全育成を図る取組を周知するとともに、社会環境の健全化を推進しました。

【主な内容】

- 1 青少年指導員事業 【予算：2,348,000円、決算：1,897,750円】
- ・青少年新横浜ウォーキング（9月）※新型コロナウイルスの影響で中止
 - ・広報誌の発行（9月、3月）
 - ・各地区独自の活動（ウォーキングイベント、凧揚げ大会、スタンプラリー等）

【自然体験教室への参加人数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
実人数	167人	135人	96人	—	—
実施場所	宮ヶ瀬湖	ソレイユの丘	湘南国際めぐりの森	中止	中止
実施内容	ダム放流見学	クラフト体(万華鏡づくり)など	森に関する講義	中止	中止

※例年開催されていた自然体験教室を青少年新横浜ウォーキングとして開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。



【青少年新横浜ウォーキング問題用紙】



【スタンプラリー（大曽根地区）】

- 2 社会環境健全化事業 【予算：80,000円、決算：56,260円】

- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月）

《参考》

統合事業費

学校・家庭・地域連携事業【予算：900,000円、決算：800,000円】

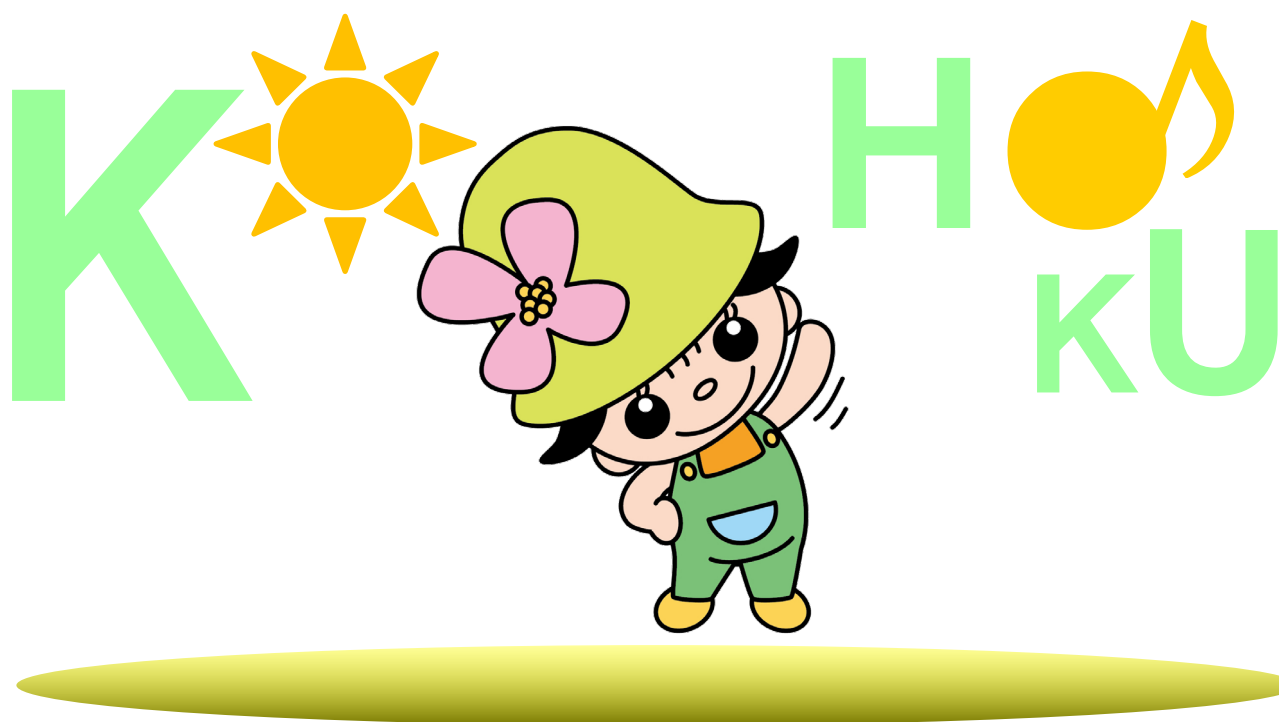
学校・家庭・地域連携事業実行委員会（8団体）へ補助金を交付

※1団体は当初計画されていた地域行事が、新型コロナウイルスの影響で中止



資料2

令和4年度 個性ある区づくり推進費
執行状況について



港 北 区

令和4年度個性ある区づくり推進費 予算総括説明書

1 総括表

(単位:千円)

	予算額	執行額	執行率 ※7月末時点
(1) 自主企画事業費	109,251	53,224	48.7%
(2) 統合事務事業費	53,686	40,333	75.1%
統合事務費	30,114	18,940	62.9%
統合事業費	23,572	21,393	90.8%
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	564,910	539,386	95.5%
合 計	727,847	632,943	87.0%

2 内訳

(1) 自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位:千円)

区 分	予 算 額	執行額	執行率	主 な 事 業 名
1 安心して安全に暮らせるまちづくり	33,855	14,426	42.6%	・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	19,910	12,196	61.3%	・地域子育てサポート事業 ・高齢者・障害者支え合い推進事業
3 活気にあふれるまちづくり	37,609	20,884	55.5%	・育もう「ふるさと港北」事業 ・港北魅力発見事業
4 区民サービス向上に向けた取組	17,877	5,718	32.0%	・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業
合 計	109,251	53,224	48.7%	

注) 各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	予算額	主な事業内容
統合事務費	30,114	・区役所業務の事務経費
統合事業費	23,572	・広報よこはま区版発行事業 ・青少年活動支援事業
合 計	53,686	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	予 算 額	施設、事業内容
区庁舎等管理費	81,107	・港北区総合庁舎 ・港北土木事務所 ・行政サービスコーナー(2か所)
区版市民活動支援センター管理費	215	・港北区区民活動支援センター
地区センター等管理費	233,573	・地区センター(6か所) ・小机スポーツ会館
青少年施設管理費	9,315	・綱島公園こどもログハウス
公会堂管理費	20,802	・港北公会堂
老人福祉センター等管理費	42,585	・老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス管理費	84,346	・コミュニティハウス(3か所) ・学校施設活用型コミュニティハウス(3か所)
区スポーツセンター管理費	23,376	・港北スポーツセンター
広場・遊び場等管理費	17,087	・港北国際交流ラウンジ ・広場・遊び場等(13か所)
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,654	・小破修繕等
区庁舎等光熱水費	48,850	・港北区総合庁舎 ・公会堂 ・土木事務所、 ・行政サービスコーナー(2か所)
合 計	564,910	

注)各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

事業名	掲載頁
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり	
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	4
(2) 災害時医療整備事業	9
(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	11
(4) 交通安全 無事故でカエル事業	13
(5) 放置自転車対策事業	16
(6) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	18
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	
(1) 「ひっとプラン港北」推進事業	20
(2) 地域子育てサポート事業	21
(3) 区内保育所PR事業	26
(4) 港北区放課後児童健全育成強化事業	28
(5) 離乳食教室	29
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	31
(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	35
3 活気にあふれるまちづくり	
(1) 地域スポーツ推進事業	36
(2) 港北区商店街活性化事業	38
(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	40
(4) 育もう「ふるさと港北」事業	43
(5) 地域のチカラ応援事業	45
(6) 港北魅力発見事業	47
(7) 芸術文化振興事業	49
(8) 区民活動支援事業	51
(9) 地域振興活動事業	52
(10) 読書活動推進事業	54
(11) こうほく3R推進事業	56
(12) 港北エコアクション推進事業	58
(13) データ活用によるまちづくり推進事業	60
(14) まちづくり調整費	62
4 区民サービス向上に向けた取組	
(1) 港北区PR情報発信事業	64
(2) 戸籍課案内サービス向上事業	65
(3) 「仕事力向上」職員育成事業	67
(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	68
《参考》統合事業費	
広報よこはま区版発行事業	69
広聴相談事業	70
消費生活推進員事業	71
青少年活動支援事業	72
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	6
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	37
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく3R推進事業の頁に掲載	57
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	72

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(1) 災害に強いまちづくり推進事業	22,809千円	7,378千円	32.3%
総務課			

【事業の概要】

避難所等の環境改善や感染症対策の強化をするため、パーテーション等の資機材を整備します。
 また、区民の自助・共助の意識を醸成し、風水害時の被害を防止するため、啓発冊子を改訂し区民に配布するほか、防災キャラバンのメニューを拡充します。
 さらに、区本部の体制強化を図るため、各種訓練等を実施します。

【主な内容】

1 避難所等資機材等の充実強化 【(4)8,154千円、(3)7,904千円】

(1) 感染症対策等資機材の整備

昨年度に引き続き、避難所等における避難者同士のソーシャルディスタンスを確保し、プライバシーの保護や新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、洪水浸水想定区域外に位置する7か所の地域防災拠点に各33基のパーテーションを整備します。

また、災害時には民間企業との協定に基づき、区本部が要請することで、供給される段ボール製間仕切り等の資機材も活用し、避難所等の環境改善や感染症対策の強化を図ります。



【パーテーション】

(2) 地域防災拠点運営委員会向け補助金《新規》

風水害時の避難場所運営を強化するため、地域防災拠点のうち、台風などの風水害時に避難場所として開設する可能性がある17拠点の運営委員会に対して、活動経費や資機材の購入費用として補助金を交付します。補助金の申請受付を7月から開始しました。

(3) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機、エンジンカッター等の資機材について、修繕・更新を行います。

(4) 地域防災拠点訓練参加者向け保険

区内29拠点で実施される地域防災拠点訓練参加者が、訓練時に負傷した場合に備え、傷害保険に加入しました。

2 災害時の情報発信の強化及び自助・共助の啓発 【(4)7,410千円、(3)6,940千円】

(1) 風水害時の啓発冊子の作製《新規》

風水害時の避難行動について更に理解を深めてもらうため、鶴見川の防災の専門家と協働で啓発冊子を改訂し、区民に配布します。

(2) 帰宅困難者対策の実施

ア 帰宅困難者対策用の啓発冊子の作製

災害時の帰宅困難者数を抑制するため、従業員を事業所に留め置くことや食料を備蓄することなどについての啓発冊子を作製し、帰宅困難者対策訓練で配付するとともに、新横浜駅等で配架します。

イ 新横浜駅周辺混乱防止対策訓練の実施

新横浜駅周辺の鉄道やホテル等の事業者、地域住民等と連携し、震災時の帰宅困難者対策を円滑に行うための訓練を実施します。(5年3月)



【新横浜駅周辺混乱防止対策区連の様子】

ウ 帰宅困難者一時滞在施設の拡充

区内の民間企業などの協力をいただきながら、新横浜駅周辺などにおいて帰宅困難者一時滞在施設の拡充を図ります。

(3) まるごとまちごとハザードマップの実施《新規》

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、“まちなか”の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を設置します。

洪水浸水想定区域がある地区連合のうち、人口や洪水浸水想定区域の範囲等を考慮して決定した2地区においてモデル的に実施し、次年度以降の事業の進め方を検証します。



【電柱への掲出のイメージ】

(4) 港北区防災情報アプリの運用

スマートフォン等で災害情報等を確認できる「港北区防災情報アプリ」を継続して運用します。

【ダウンロード数(4年7月末現在)】

24,658件 (iOS, Android)

※4年3月末時点 22,330件

(5) 防災講演会の実施

区民を対象に外部講師を招き、災害をテーマとした防災講演会を開催します。(12月)

(6) 防災マップ、各種ハザードマップ等の増刷

日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認いただくために防災マップ・各種ハザードマップ等を増刷します。

(7) 防災キャラバン等の実施《拡充》

区民の防災意識の醸成のため、自治会町内会向けの出前講座(防災キャラバン等)を行います。4年度から講座のメニューを拡充しました。

【防災キャラバン等の実施状況、参加者数】

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
地 区	6団体	8団体	10団体	8団体	2団体
実人数	268人	299人	369人	357人	50人



【防災キャラバンの様子】

【防災キャラバンのテーマ一覧】(※が拡充したテーマ)

テーマ	概要
崖防災	崖地防災の基礎知識についての講義
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等についての講義・助言
マンション防災(※)	マンション特有の防災対策についての講義
防災食(※)	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法についての講義等
発災時のトイレ問題(※)	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義等

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【(4)1,008千円、(3)1,008千円】

避難指示等の緊急情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用します。

【対象区域内の配信希望者等(2,910件)】(4年7月末現在)

- ・洪水浸水想定区域内災害時要援護者 2,593件
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域となる
新羽地区・小机町の一部の住民 193件
- ・自治会及び町内会の会長(区内全域) 121件
- ・土砂災害警戒情報発表に伴う
即時避難指示対象の区域の住民 3件

3 区災害対策本部の充実 【(4)6,875千円、(3)5,500千円】

(1) IP無線機やタブレットを活用した円滑な情報受伝達の強化

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、IP無線機を継続して運用します。

あわせて、タブレットを購入し、情報受伝達手段の拡充を進めます。

IP無線機の特徴

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能



【IP無線機】

(2) 災害時における避難場所等運営

災害時において地区センターや濃厚接触者等の専用避難場所を開設した場合に施設使用料を負担します。

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施します。

【訓練】

- ・区職員向け動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（12月）
- ・区職員向け安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・初動対応輪番者研修（4月7、8日 転入責任職28人）
- ・地域防災拠点参与係長研修（5月16、18、20日 32人）
- ・風水害時避難場所運営責任者研修（7月19日、22日、29日 34人）
- ・拠点動員者研修（11月）



【風水害時避難場所運営責任者研修の様子】

(4) 港北区災害対策本部の備蓄品更新等

区本部の備蓄品の更新等及び災害時の連絡体制確立のための各種通信機器を維持・管理します。

4 各種団体への補助等 【(4)370千円、(3)260千円】**(1) 災害ボランティア連絡会への補助**

災害時にボランティア活動が円滑に実施できるように、コーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として港北区災害ボランティア連絡会に補助金を交付します。

(2) アマチュア無線非常通信協力会が使用する無線機の購入費

地域防災拠点に整備しているアマチュア無線機器について、新規格に対応した機器を5拠点分購入します。全29拠点に配備するため、次年度以降も計画的に購入する予定です。

[総務局区配予算]**地域防災力向上事業**

- ・地域防災活動奨励助成金【(4)3,480千円、(3)3,480千円】
区内29か所の地域防災拠点へ助成(1拠点あたり12万円交付)
- ・町の防災組織活動費補助金【(4)18,363千円、(3)18,407千円】
町の防災組織へ補助(1世帯あたり160円交付)

※東京2020オリンピック・パラリンピック危機管理体制の強化 【(4)0千円、(3)1,000千円】

大会が終了したことにより、3年度で終了しました。

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1 - (2) 災害時医療整備事業	397千円	145千円	36.4%
福祉保健課			

【事業の概要】

区防災計画（震災対策編）における災害時医療等の対策を講じるため、関係機関との各種会議の開催や医療救護隊等の訓練を実施するとともに、体制充実に向け、必要物品の整備や災害支援ナース（Yナース）の登録を促進します。

【主な内容】

1 医療救護に関する関係機関との連絡会議の開催 【(4)20千円、(3)65千円】

- ・災害医療連絡会議の開催（6月22日、10月、2月）
※参加機関…三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）、災害拠点病院、災害協力病院、訪問看護ステーション、警察、消防、行政関係機関



【災害医療連絡会議】

2 医療救護隊訓練の実施 【(4)50千円、(3)50千円】

- ・災害時医療機関報告書持込み訓練（10～11月）
- ・医療救護隊実地訓練（12月）
参集訓練（区医師会館・日吉台中学校コミュニティスクール）
- ・のぼり旗、フラッグ掲出訓練（9月、1月）
- ・通信訓練（局⇄区：年6回、区⇄医療機関：年4回）



【医療救護隊実地訓練】



【のぼり旗、フラッグ掲出訓練】

3 医療救護隊用装備品の整備 【(4)164千円、(3)119千円】

- ・医療救護隊及び保健活動グループの事務用品、装備品の購入
- ・新型コロナウイルス感染防止対策のための装備品の購入

4 災害支援ナースの登録促進及び管理 【(4)43千円、(3)43千円】

登録者：62人（4年7月末現在）

- ・Yナース募集リーフレットの配布
- ・広報よこはま等への募集記事掲載（9月、1月）
- ・研修、訓練の参加勧奨
県看護協会や医療局主催の研修会及び医療救護隊訓練への参加勧奨（10月、12月、2月）

5 港北区医師会等との連携推進 【(4)120千円】《新規》

港北区医師会に加入し、各種会議及び研修への参加を通じて、一層の連携促進、災害医療体制の構築を図ります。

1-(3) 快適な暮らしの衛生応援事業

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(3) 快適な暮らしの衛生 応援事業	555千円	138千円	24.9%
生活衛生課			

【事業の概要】

区民の快適な暮らしのため、食の安全や各種施設の衛生確保、動物の適正飼育や災害時のペット対策の啓発を行います。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策 【(4)365千円、(3)381千円】

(1) 食中毒・感染症予防のための監視事業

- ・食品関係営業施設の監視指導
- ・区ホームページ、SNSを活用した啓発（通年）

【食品関係施設監視件数】

30年度	元年度	2年度	3年度	4年度（7月末現在）
1,868件	2,366件	1,663件	800件	279件

(2) 衛生講習会の実施

- ・事業者の衛生管理向上のため講習会

【講習会実施回数】

30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 （7月末現在）
38回	26回	9回	7回	2回

《参考》

【食中毒等発生状況】（暦年）

年		30年	元年	2年	3年	4年 （7月末現在）
食中毒	件数	7件	4件	3件	2件	0件
	患者数	62人	48人	24人	7人	0人
感染症※	件数	22件	26件	22件	35件	24件
	患者数	181人	310人	41人	274人	379人（暫定）

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌、レジオネラ症等

2 ペットのマナー啓発と災害時のペット対策 【(4)190千円、(3)190千円】

- ・動物の適正飼育に関する啓発、指導（通年）
- ・資料を用いた飼い犬の散歩マナー向上啓発（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- ・地域防災拠点運営委員会等での啓発（5月26日、12月）



【マナー・防災に関する啓発資料】

【ペットのマナー・防災対策教室】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(4) 交通安全 無事故でカエル事業	5,066千円	2,744千円	54.2%
地域振興課			

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力して啓発活動を行います。主に子どもと高齢者を対象として事業を実施します。

【主な内容】

1 児童交通安全対策事業 【(4)4,641千円、(3)4,635千円】

- ・「はまっ子交通あんぜん教室」の実施
区内小学校17校で実施しました。(区内26校中9校は雨天等の影響で中止しました。)低学年には歩行者教室、高学年には自転車教室を実施しました。
- ・高校生を対象に交通ルール・マナーなどを学ぶ交通安全教室(スガード・ストリート)の実施(10月)
- ・交通安全ポスターコンクールの開催(7~8月募集)と表彰(12月)
各小学校児童からの応募作品の中から入賞12作品を選定し、翌年の交通安全カレンダーに使用します。
- ・区内スクールゾーン対策協議会への助成金交付
- ・スクールゾーン路面標示及びスクールゾーン電柱巻看板の更新、設置



【はまっ子交通あんぜん教室】 【2022年港北区交通安全カレンダー】 【スクールゾーン路面標示】

2 交通安全運動事業 【(4)166千円、(3)185千円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

交通安全について啓発するため、区内の駅前で啓発グッズを配布しました。

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン(4月6日、菊名駅、300個)
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン(7月11日、日吉駅、300個)
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン
- ・その他、自転車・二輪車に関するキャンペーン等の実施

(2) 「安全・安心のつどい」の開催

防犯活動功労者伝達式等と併せて、交通安全功労者表彰、ポスターコンクール入賞者表彰、交通安全講話等を実施します。(12月)

3 高齢者等交通安全事業 【(4)200千円、(3)300千円】

(1) 高齢者免許返納の促進

商店街と連携し、免許を返納した高齢者に対し、運転経歴証明書の提示により、店舗にて特典を付与する「運転卒業者おトク事業」を継続して実施しています。

協力店舗数 26店舗(4年7月末現在)



【運転卒業者おトク事業
実施店ステッカー】

(2) 高齢者交通安全教室の開催（ドライビングスクールでの体験型交通安全教室）

高齢者交通安全教室を菊名ドライビングスクール及び日吉自動車学校の2か所で実施します。(10月)

- ・高齢ドライバーの運転実技講習
- ・サポートカー試乗による安全運転講習

【参加者数の推移】

年度	29年度	30年度※	元年度※	2年度	3年度
実人数	8人	19人	37人	中止	中止

※ 30年度より、サポートカー試乗による安全運転講習を実施。



【サポートカー体験実習】

(3) シルバーウォークラリーの開催

- ・道路の歩き方等を指導し、指導内容に基づき目的地までウォーキング
- ・身体機能テストを含む交通安全講話

【参加者数の推移（実人数）】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
春開催	22人	33人	中止	中止	11人※
秋開催	32人	36人			(10月)

※春開催（4月15日）は雨天のため内容を交通安全教室に変更しました。



【シルバーウォークラリー】

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【(4)59千円、(3)104千円】

子育て関連施設の存在を知らせ、子どもの飛び出しに注意を促す「電柱巻看板」を新規開園等の施設付近の電柱に設置し、乳用児の事故防止のため注意を喚起しています。



【電柱巻看板】

《参考》

【港北区の交通事故件数等（暦年）】

年	30年	元年	2年	3年	4年 (6月末現在)
交通事故件数	686件	593件	526件	518件	225件
死亡者数	2人	3人	5人	1人	1人
負傷者数	783人	685人	572人	588人	242人

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1 - (5) 放置自転車対策事業	4,376千円	3,809千円	87.0%
地域振興課			

【事業の概要】

駅前の歩行者の安全確保するため、自転車等の放置が著しい駅周辺への自転車等放置防止監視員の配置や撤去活動を行います。

また、自転車等放置防止推進協議会のキャンペーン活動を支援し、自転車等の放置防止を促します。

【主な内容】

1 監視員事業 【(4)3,728千円、(3)3,728千円】

放置防止のため放置自転車の防止やマナーアップ等を図る監視員を配置します。乗降者数の多い日吉駅、綱島駅及び新横浜駅については、集中的に配置しています。

・年間配置数：1,752回

【駅ごとの延べ配置数（1回あたり1人3時間）】

駅	4年度配置数 実績 (6月末現在)	4年度配置数 計画
日吉	108回	432回
綱島	252回	1,008回
新横浜	48回	192回
大倉山	18回	72回
新羽	12回	48回
合計	438回	1,752回

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
放置台数	583	444	422	365	214
駐輪場台数	19,329	19,619	19,896	19,981	20,039

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋

(11月の平日の晴天時、午前9時から午後3時までに放置されていた台数)

【道路局区配予算】

- ・自転車マナーアップ事業 【(4)7,338千円、(3)8,153千円】
自転車放置防止監視員の配置

2 放置自転車等撤去事業 【(4)90千円、(3)230千円】

日吉駅、綱島駅及び新横浜駅以外の駅については、各駅の放置の状況を鑑み必要に応じて、休日の撤去を実施します。

【道路局と区役所が実施する各駅の撤去回数（回）】

年度	4年度			
	平日		休日	
実施者	道路局		道路局・港北区	
	実績（7月末現在）	計画（年間）	実績（7月末現在）	計画（年間）
日吉	15回	50回	2回	必要に応じて局で実施
綱島	21回	140回	5回	
新横浜	8回	50回	3回	
大倉山	12回	24回	0回	必要に応じて区で実施
菊名	8回	12回	0回	
妙蓮寺	4回	12回	0回	
新羽	4回	12回	0回	
小机	8回	12回	0回	
高田	4回	6回	0回	
岸根公園	4回	6回	0回	
日吉本町	4回	6回	0回	

局事業

【道路局事業】

来街者も多く放置自転車の多い日吉駅、綱島駅及び新横浜駅については、集中的な対策を維持する必要があるため、3年度に引き続き、4年度についても休日を含め撤去を実施します。

3 地域活動事業 【(4)558千円、(3)573千円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成（10協議会）するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、各駅の状況に応じた協議会の活動を支援しています。（通年）

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各駅協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」を開催します。

1-(6) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦事業

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
1-(6) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	652千円	212千円	32.6%
地域振興課			

【事業の概要】

区民が主体となり防犯活動に関わることができるよう、犯罪状況等の情報提供や防犯啓発物品の配付など多角的に防犯活動の支援を行います。

また、犯罪発生件数の減少に向けて、区内で頻発している特殊詐欺への対策についても警察と連携し、区民へ情報発信等を行います。

【主な内容】

1 「防犯情報メール」の配信 【(4)132千円、(3)132千円】

防犯情報メールの登録者を対象に、警察から共有のあった犯罪発生状況等を、メールやFAXで「防犯情報メール」として配信しています。また、特殊詐欺の前兆電話があったという情報が、警察や区民から区役所に複数寄せられた際に、「特殊詐欺警報」として即時に注意喚起の情報を配信しています。

【防犯情報メール登録者数】

年度	30年度末	元年度末	2年度末	3年度末	4年度 (7月末現在)
延べ登録者数	8,750人	9,711人	10,622人	11,250人	11,425人

2 防犯啓発活動 【(4)300千円、(3)300千円】

(1) 防犯パトロール関連物品の作製配付

自治会町内会向けに、「のぼり旗」や「ベスト」など、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配付し、地域の防犯活動を支援しています。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で回り、防犯パトロール及び放送による防犯啓発を行っています。

4年度も、引き続き警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々状況に合わせた注意を呼び掛けています。

(3) 港北AAA (安全で安心な明日を) 作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や防犯関係団体、地域、学校、事業者、行政の各関係者による「港北AAA作戦会議」を開催しました。(6月書面開催)

3 「子ども110番の家」ネットワーク会議 【(4)0千円、(3)120千円】

各小学校の「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども110番の家ネットワーク会議」の役員会を開催しました。(7月11日)

各小学校のPTAの代表者を対象に「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども110番の家ネットワーク会議」を開催します。(9月)

4 特殊詐欺対策機器設置事業 【(4)220千円、(3)100千円】《拡充》

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、主に地域の高齢者を対象に、特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機能付き電話機について、各家庭での設置を促すとともに、警察等関係各所と連携して特殊詐欺防止の啓発を実施しています。

[市民局区配予算]

- ・地域防犯啓発事業 【(4)90千円、(3)100千円】

港北区内の小学校に対して配付する子ども110番の家プレート作製

《参考》

【港北区内犯罪発生状況 (暦年)】

年	30年	元年	2年	3年	4年 (6月末現在)
犯罪発生件数	1,735件	1,453件	1,109件	1,215件	648件
特殊詐欺	58件	74件	35件	58件	39件
同被害額	2億4,800万円	1億8,400万円	5,500万円	1億4,345万円	約8,535万円

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(1) 「ひっとプラン港北」 推進事業	1,245千円	276千円	22.2%
福祉保健課			

【事業の概要】

単身世帯の増加や高齢化による社会的な孤立など、多様な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画（ひっとプラン港北）」の区計画を推進するとともに、13地区ごとに策定した地区計画の推進を支援し、助け合い支え合いのある、安心して暮らせるまちを目指します。

【主な内容】

1 区計画推進・地区計画推進支援 【(4)595千円、(3)909千円】

(1) 区計画推進

- ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議の開催（9月）
- ・地域活動への参加を促す広報（10月）

第4期区計画の重点目標である「幅広い住民の地域活動への参加促進」に向け、特に30～40代の若い世代の参加のきっかけになるよう地域活動の魅力を伝える広報を行います。

《参考》

- ・区民フォーラム
新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

(2) 地区計画推進支援

・地区計画サポートスタッフ（区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの各職員）による各地区の状況に応じた地区計画推進の支援を実施（通年）

2 計画周知・啓発 【(4)650千円、(3)830千円】

- ・第4期区計画冊子及び概要版、地区計画リーフレットの印刷（12月）
- ・「ひっとプラン港北 地区計画ニュース」の発行（3月）



【第4期計画冊子】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(2) 地域子育てサポート事業	9,667千円	6,230千円	64.4%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

全ての妊婦・保護者が、孤立感を持つことなく安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援施設の利用支援、妊婦・保護者同士の仲間づくりの支援、児童虐待防止等の取組を実施します。

【主な内容】

1 「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業 【(4)600千円、(3)900千円】

妊婦とそのパートナーを対象に、地域の子育て支援施設の周知及び仲間づくりの場の提供のため、親と子のつどいの広場（6か所）で、マタニティプログラム*を実施しています。

（各施設年4回 全24回）

※マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験 等

【実施回数・延べ参加人数】

年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
実施回数	27回	31回	18回
延べ参加人数	88人	126人	73人

局事業

【こども青少年局事業】

・親と子のつどいの広場事業（補助事業）

妊婦と保護者を対象に、利用者同士の交流、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しています。

2 土曜両親教室事業 【(4)1,000千円】《新規》

妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくりのため、パートナーも参加しやすい平日夜と土曜日にオンライン両親教室を実施しています。(年24回)

【実施回数・参加人数】

年度	4年度 (7月末現在)
実施回数	8回
延べ人数	119人

【こども青少年局区配予算（局モデル事業）】

・土曜両親教室事業 【(4)783千円】

妊婦とそのパートナーを対象に、土曜日に、地域子育て支援拠点及び地域ケアプラザで、対面での両親教室を実施しています。(年36回)
(4年度は区局連携事業から局モデル事業に移管しています。)

【こども青少年局区配予算】

・両親教室 【(4)360千円、(3)360千円】

初めて母親になる方とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を開催しています。(3回連続講座×年12コース)

3 「にんしん・あんしん・つながり」推進事業 【(4)545千円、(3)484千円】

初産婦や転入してきた妊婦を対象に、地域の子育て支援施設の周知及び利用のきっかけづくりを目的に、親と子のつどいの広場の共通利用券をこども家庭支援課の窓口で配布しています。

【「にんしん・あんしん・つながり」推進事業利用者数】

年度	元年度※ ¹	2年度※ ¹	3年度	4年度※ ² (7月末現在)
チケット配布枚数	500枚	1,718枚	1,565枚	1,615枚
プレゼント交換数	56個	187個	409個	90個

※1 元年度は7月から、2年度は9月から実施

※2 4年度からプレゼントの内容を物品から広場の共通利用券に変更
妊娠後期に手紙を送付する際にも共通利用券を同封。

局事業

【こども青少年局事業】

・母子保健コーディネーターによる相談支援

主に妊娠届出時から産後4か月までの妊婦、保護者を対象に、一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、継続した支援を実施しています。(年妊娠届出数：約3,500件)

4 地域育児教室（赤ちゃん会）【(4)1,785千円、(3)1,694千円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館やケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しています。(全23会場 年230回)

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
開催回数	237回	211回	140回	226回	92回
実人数	3,355人	2,788人	1,762人	2,209人	1,098人
延べ人数	9,554人	7,732人	3,171人	5,579人	2,362人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場ごとに定員の上限を設定

5 児童虐待防止対策事業 【(4)965千円、(3)793千円】

- ・「子どものかかわり方」講座（対象：保護者、子育て等の支援者）
小学校低学年保護者向け（7月5日 47人）
小学校高学年保護者向け（11月）
- ・区全体会（対象：港北区要保護児童対策地域協議会関係機関を対象、7月14日）
- ・児童虐待防止啓発グッズの作製（11月）
- ・ふれあいまつりでの啓発ブース設置（11月）
- ・民生委員・児童委員協議会地区（全22地区）からなる全12エリアのエリア別連絡会
一昨年度未実施エリア等、4エリアで実施を調整中（新羽エリア、城郷エリア、他2エリア）
- ・病院、学校等の関係機関と機関別連絡会の開催
小中学校：6月20日 34人
横浜市総合リハビリテーションセンター：12月
横浜労災病院：12月

6 歯つらつ1歳歯みがき教室 【(4)517千円、(3)518千円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や、歯みがきの実習を行っています。(年36回 7～9か月の方向け12回、12～14か月の方向け24回)

【歯みがき教室参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
実人数	916人	778人	143人	365人	116人

※2年度は新型コロナウイルスの影響で8月から再開

[こども青少年局区配予算]

- ・乳幼児歯科相談
0歳～未就学児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や、個別歯みがき指導を行っています。(年24回)

7 母乳育児相談 【(4)219千円、(3)222千円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しています。(年24回)

【母乳育児相談参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
実人数	190人	116人	102人	80人	27人

局事業

【こども青少年局事業】

- 横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしています。

利用料：1回につき9,000円（自己負担4,000円）

対象：生後4か月未満

利用回数：3回まで（1回につき60～90分程度）

【母子ケア事業利用者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (6月末現在)
港北区	88人 (174回)	141人 (207回)	215人 (600回)	250人 (475回)	58人 (96回)
横浜市	663人 (1,295回)	843人 (1,592回)	391人 (3,856回)	1,272人 (2,408回)	286人 (478回)

※30年1月31日より事業開始 訪問実人数（訪問延べ回数）

8 「窓口対応満足度」向上事業 【(4)3,616千円、(3)3,979千円】

来庁した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口案内員を配置しています。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、お子さんを預かる保育協力者を配置しています。

【窓口案内員配置日数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
案内員配置日数	164日	169日	142日	157日	57日

9 「保育園等による子育て支援」事業 【(4)420千円、(3)520千円】

(1) わくわく子育て広場

子育て家庭を対象に、地域における子育て支援を目的に、親子が一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同の育児講座（食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等）を実施しています。

【令和4年度実施日程】

- ・日吉本町ケアプラザ 7月5日
- ・樽町ケアプラザ 10月28日
- ・菊名保育園 園庭 11月10日
- ・宮前公会堂 11月16日

【わくわく子育て広場参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度 ^{※1}	3年度 ^{※2}	4年度 (7月末現在)
実人数	1,512人	1,680人	中止	259人	73人

※1 2年度は新型コロナウイルスの影響で中止

※2 3年度、4年度は新型コロナウイルスの影響で、地域別に縮小開催。

(2) ベビーステーション

乳児を子育て中の保護者に対し、外出しやすい環境を整えるため、オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取組を行っています。

より多くの方に利用していただくために、ベビーステーションステッカーを作製し、参加施設に掲出を依頼し、取組を周知しています。

【ベビーステーション参加施設数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
参加施設数	89施設	92施設	94施設	94施設	94施設

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2 - (3) 区内保育所PR事業	1,800千円	805千円	44.7%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

区内保育所等を支援するため、保育士の確保や保育の質向上に向けた取組を行います。また、保育・教育制度について情報発信するため、区内保育所等の情報を掲載した区独自の利用案内等を行います。

【主な内容】

1 保育士確保事業 【(4)550千円、(3)550千円】

保育士の採用や定着に苦慮している保育所等に対して区独自で専門のコンサルタントを派遣し、保育所等の保育士確保を支援します。

- ・対象：区内保育所等

局事業

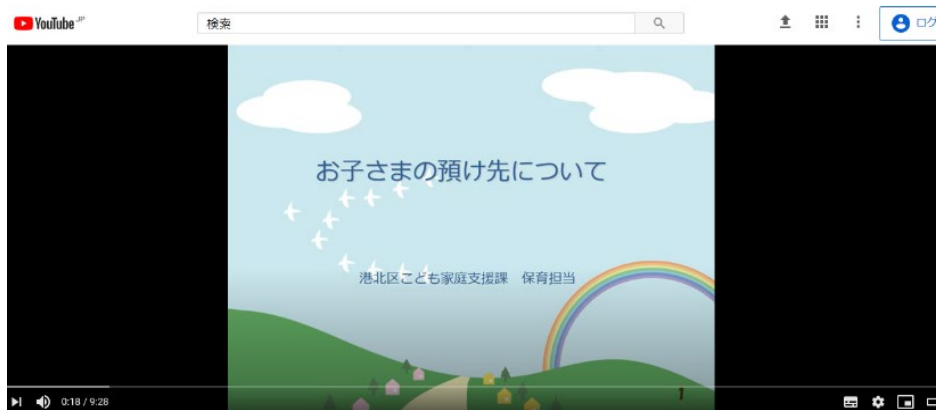
[こども青少年局事業]

- ・保育士確保コンサルタント派遣事業

市内の認可保育所及び横浜保育室を対象にコンサルタント派遣を実施しています。

2 保育・教育情報提供事業 【(4)90千円、(3)90千円】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、接触頻度を減らす必要がある中、複雑な保育・教育制度を理解いただくため、制度をはじめ保護者からよくいただく質問について解説する現在公開中の動画をより分かりやすい内容にリニューアルし、配信します。



(動画URL：https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/kurashi/kosodate_kyoiku/hoiku/hoikujo/kohoku_concierge.html)

【現在公開している動画】

3 保育所等利用案内の作製 【(4)910千円、(3)1,060千円】

市の利用案内ではカバーしきれない地区別の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービス等について分かりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作製しています。

- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、
港北区地域子育て支援拠点「どろっふ・どろっふサテライト」
- ・発行部数：13,500部



【保育所等利用案内】

4 民間園向け研修 【(4)250千円、(3)300千円】

区内の新規保育所等の増加に伴い、経験の浅い保育士が増えており、区内保育所全体の保育の質の確保・向上を目指すため、保育現場から要望の多いものなどをテーマに、外部講師を招き講義を行います。

- ・対象：区内保育所等の園長、保育士

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2 - (4) 港北区放課後児童健全育成強化事業	250千円	96千円	38.5%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブの施設従事者の能力向上のため、様々なテーマの研修を実施します。研修受講機会を増やすことで、人材育成が促進されるとともに、日頃顔を合わせる機会の少ない施設従事者がグループワーク等を通して、施設従事者間の情報共有を図ります。

【主な内容】

支援員対象研修 【(4)250千円、(3)300千円】

研修テーマ	内容	参加人数	実施時期
保護者対応	保護者とのコミュニケーションの取り方	29人	6月20日
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	29人	7月14日
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する児童等への対応	—	9月～2月 (適宜)
児童虐待	児童虐待の基礎知識、対応	—	
人材育成 ・マネジメント	現場職員の人材育成、環境づくりや職場のコミュニケーション	—	
防犯	不審者侵入時の対応、不審電話への対応等	—	



【研修の様子 (左：保護者対応 右：防災)】

(研修対象)

放課後児童健全育成事業クラブ (4年7月末現在)

放課後キッズクラブ26か所、放課後児童クラブ32か所

届出のみ放課後児童健全育成事業所2か所

《参考》

【研修参加人数】

年度	3年度	4年度
延べ人数	112	58*

※4年7月末現在

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(5) 離乳食教室	1,158千円	910千円	78.6%
福祉保健課			

【事業の概要】

離乳食開始後に出てくる離乳食に対する具体的な疑問や悩みを解消するため、支援が最も必要な7～8か月児を対象とした離乳食教室を実施します。

また、離乳食の不安や悩みは個々の違いもあるため、個別栄養相談を充実させます。

さらに、離乳食の基礎知識を持ち円滑に進められるようにするため、離乳食手帳を作製し4か月児健診で配布します。

【主な内容】

1 離乳食教室の開催 【(4)844千円、(3)844千円】

- ・回数：年間36回、月3回実施
- ・会場：区役所
- ・内容：講話・試食・個別相談

※試食については新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施していません。

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	30年度	元年度 ^{※1}	2年度 ^{※2}	3年度	4年度 (7月末現在)
実施回数	36回	33回	18回	36回	12回
参加者数 (実人数)	863人	712人	119人	379人	119人

※1 新型コロナウイルスの影響により2月の参加者数減、3月(3回)は教室を中止

※2 新型コロナウイルスの影響により実施回数減及び参加者数減

2 子どもの個別栄養相談 【(4)72千円、(3)72千円】

- ・対象者：生後5か月以降の子どもの保護者
- ・回数：年間36回、月3回半日
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談(1人当たり約1時間)

【子どもの個別栄養相談の相談者数】(健康福祉局区配と合算)

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
実人数	73人	93人	101人	103人	32人

※子どもの個別栄養相談は、区配予算と合算して月3回半日の定例日を設定した上で、別日も必要に応じて対応。

【健康福祉局区配予算】

- ・乳幼児食生活健康相談 【(4)161 円、(3)161 千円】
0～18歳の子の保護者に対して食生活健康相談を実施

3 港北区離乳食手帳の配布 【(4)242千円、(3)242千円】

離乳食手帳を作製し、4か月児健診を受診する全ての保護者に配布しています。

- ・作製部数：4,000部（4月発行）



【離乳食手帳】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,990千円	2,080千円	52.1%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

高齢者・障害者支援についての理解を促進するため、区民向けの広報・啓発事業を実施するとともに、支援者間の連携強化やスキルアップを目的に研修等を開催します。
あわせて、地域における災害時要援護者支援の取組や安否確認に向けた取組の促進を図ります。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【(4)870千円、(3)1,295千円】

(1) 介護予防

地域で介護予防に取り組んでいる自主グループの代表者や元気づくりステーション支援者を対象に、介護予防活動支援者向け研修会を開催します。(11月29日)

(2) 認知症支援

- ・認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用します。また、パンフレットを増刷し、普及啓発を進めます。
- ・「認知症キャラバン・メイト（認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師）」の情報共有及びモチベーション向上のためにつどいの場を開催します。(2月3日)
- ・高齢者虐待防止ハンドブックを増刷し、普及啓発を進めます。



【かえるネットパンフレット】



【高齢者虐待防止ハンドブック】

(3) 地域ケア会議

- ・地域包括ケアシステム構築に有効なツールである地域ケア会議※を効果的に開催できるよう、研修会等を実施します。また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする区レベル地域ケア会議を開催します。
- ・生活支援団体等のサービス、地域の居場所等を紹介する地域活動情報リーフレットを作製し、普及啓発を進めます。

※ 地域ケア会議：多職種協働による個別事例の検討等を通じて、地域のネットワーク構築や課題共有・解決等を図る会議

<地域包括ケアシステムイメージ図>



[健康福祉局区配予算]

- ・介護予防関連事業 【(4)1,036千円、(3)1,081千円】
地域の活動に歯科衛生士、栄養士、健康運動指導士などの専門職の派遣や、元気づくりステーションの支援、10分ラジオ体操リーダー養成講座など
- ・認知症関連事業 【(4)277千円、(3)277千円】
認知症家族のための介護者セミナーや、一般の区民向けの認知症講演会の開催など
- ・虐待予防関連事業 【(4)56千円、(3)41千円】
介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会や、虐待防止のためのネットワークミーティングの開催など

《参考》

【港北区における高齢者の状況】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
65歳以上人口	67,646人	68,416人	69,251人	69,880人	70,289人 (市内3位)
高齢化率	19.7%	19.7%	19.8%	19.9%	20.0%
認知症高齢者数※	6,497人	6,714人	6,964人	6,764人	6,263人
要介護認定者数(1号)	11,917人	12,309人	12,566人	12,840人	13,189人

※要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数。2年度以降は新型コロナウイルスの影響で訪問調査が省略され、自立度が不明なケースが除外されている。実質的には2年度以降も増加傾向。

2 障害者支援事業 【(4)720千円、(3)738千円】

(1) 研修・啓発講演会の実施

区自立支援協議会[※]や作業所等において、支援機関の連携強化や職員の支援技術の向上のために、研修会を開催します。また、関係機関と連携をしながら、区民向けの啓発講演会を開催します。

テーマ：港北区の相談支援機関を知ろう

日 時：7月22日

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います（障害者総合支援法89条の3）。

【過去の啓発講演会テーマ】

	テーマ	参加者数
30年度	死にたい気持ちの受け止め方	20人
元年度	ペットロスについて考える	83人
2年度	中止	—
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	調整中	—

※2年度は新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 健康講座の開催

自身の健康についての知識等を得るために作業所の利用者向けに健康講座等を開催します。

【健康講座実施状況】

30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
5回	4回	1回	1回	調整中
58人	54人	13人	11人	—

(3) 区内事業所紹介パンフレット更新

障害者の地域活動について広く周知を図る目的で、障害当事者及び支援者等が活用する区内事業所を紹介するパンフレットの時点更新を行います。

内 容：区内にある事業所の活動内容や製品情報
PRしたいこと等

配布場所：区役所、基幹相談支援センター、
精神障害者生活支援センター、
区社会福祉協議会、区内事業所 等



【区内事業所紹介パンフレット まるっと港北】

[健康福祉局区配予算]

・精神障害者の生活教室事業 【(4)128千円、(3)128千円】

精神障害者の対人関係等の改善や社会生活への適応促進を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。

・難病相談事業 【(4)224千円、(3)220千円】

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送るために、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》

【港北区における障害者の状況】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
身体障害者 手帳所持者数	7,284人	7,320人	7,436人	7,391人	7,379人
精神保健福祉 手帳所持者数	2,396人	2,595人	2,755人	2,909人	3,151人
「愛の手帳」 所持者数	2,120人	2,222人	2,308人	2,400人	2,494人
合計	11,800人	12,137人	12,499人	12,700人	13,024人

3 災害時要援護者支援事業 【(4)550千円、(3)410千円】

長期停電時における要電源医療機器使用者の電源確保に向け災害時貸出用の非常用電源を購入するとともに、災害時に非常用電源を貸し出す仕組みづくりを検討します。

[健康福祉局区配予算]

・災害時要援護者支援事業 【(4)2,024千円、(3)1,716千円】

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者・障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿提供を行います。

4 来庁者窓口サポート事業 【(4)1,850千円、(3)1,850千円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続き支援や案内を行っています。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

30年度	元年度※1	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
3,669件	2,873件	1,621件	1,413件	570件

※1 元年度から指定難病の集中受付日を廃止し待機席案内件数が減少

《参考》

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況】

30年度	元年度	2年度※2	3年度	4年度 (7月末現在)
18,584件	19,697件	14,925件	16,897件	6,029件

※2 新型コロナウイルス感染症対策による各種手続簡略化等により減少

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
2-(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業《新規》	1,800千円	1,799千円	100.0%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

学齢期の児童が、その子らしさを発揮しながら健やかに生活ができるよう、登校支援や自宅での生活支援等の取組を実施します。

【主な内容】

1 港北区版寄り添い型生活支援専門員の派遣事業 【(4)1,800千円】《新規》

不登校児や養育支援を要する学齢児を対象に、安心した登校や生活能力の獲得を目的に、個別訪問による登校支援及び生活習慣の実践的な支援を実施します。

(1) 登校支援

不登校となっている児童に対し、個別に自宅に訪問し、登校支援等を行います。

(2) 自宅での生活能力の獲得に向けた生活習慣の実践的な支援

自宅を訪問し、児童に対し自宅で生活支援を行います。

(3) 児童が安心して過ごせる居場所利用に繋げる支援

児童が安心して過ごせる居場所（寄り添い型生活支援事業、ハートフルスペース等）について、一緒に考え、見学に同行するなど、居場所利用に向けた支援を行います。

○専門員派遣の開始に向けた準備、取組状況

区と事業者との連絡会（4月～毎月開催）

- ・専門員の事業理解、派遣に向けて実践的な研修（4月～6月）
- ・対象者の選定（6月～8月）

○派遣開始（9月～）

[こども青少年局区配予算]

- ・寄り添い型生活支援事業 【(4)16,142千円、(3)12,410千円】

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しています。

局事業

[教育委員会事務局事業]

- ・ハートフルスペース（市内4か所：鶴見区・港南区・保土ヶ谷区・都筑区）

不登校状態にある児童生徒に対して、自己肯定感と相互の信頼関係を育み、社会的自立に向けた相談・支援を行います。また、児童生徒の保護者同士の情報交換会を行っています。

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(1) 地域スポーツ推進事業	2,275千円	413千円	18.2%
地域振興課			

【事業の概要】

区内における地域スポーツの推進・活性化を図るため、区内のスポーツ活動団体が行う地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業を対象とした補助金交付、港北駅伝大会実行委員会への事業補助金交付及び大学との連携を通じたスポーツ推進事業を行います。

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【(4)495千円、(3)450千円】

<港北区スポーツ振興事業補助金の概要>

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体の事業を補助することにより、区内のスポーツ振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
交付団体	7団体（7月時点）

2 港北駅伝大会開催支援 【(4)1,000千円、(3)1,000千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付します。



【元年度駅伝大会の様子】

【申込チーム数】

29年度	30年度	元年度	2年度※	3年度※
245チーム (1,401人)	232チーム (1,296人)	235チーム (1,380人)	中止	中止

※2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

3 大学とのスポーツ連携事業 【(4)780千円】

(大規模スポーツ大会を契機とした地域まちづくり事業より一部移管 3年度予算:1,403千円)
 慶應義塾大学等と連携し、ラグビーワールドカップで遺したレガシーを活かし、ラグビーをはじめとするスポーツを通じて区内のスポーツ活動の推進を図ります。

(1) 小学校タグラグビー授業サポート派遣

- ・派遣希望校 7校

【実施スケジュール】

実施月	5月	6月	10月	11月
実施校数	1校	3校	1校	2校

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

- ・開催日 6月18日
- ・開催場所 しんよこフットボールパーク
- ・参加人数 52人



【小学校タグラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

《参考》

統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【(4)2,356千円、(3)2,869千円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- ・小学生スポーツフェスティバル運営費

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(2) 港北区商店街活性化事業	1,600千円	95千円	5.9%
地域振興課			

【事業の概要】

消費者の関心・認知度の向上を図り商店街を活性化させることを目的とし、区内商店街及び商店街加盟店舗の盛り上げや利用につながるイベント等の開催、港北区商店街連合会が行う情報発信に対する支援を行います。

加えて、コロナ禍においても商店街が柔軟に活動、情報発信ができるよう、商店街が実施する感染症対策に対し支援を行います。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【(4)1,000千円、(3)1,000千円】

27年度から元年度までは商店街及び店舗の魅力に触れながら、区内の商店街を巡るイベント「こうほくの商店街 ちょいつまみウォーク」、2年度、3年度は、新型コロナウイルスの影響で、システムを活用したデジタルスタンプラリーイベント「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を実施しました。

4年度は、港北区商店街連合会と調整の上、事業形態を変更し、どの年代の方にも気軽に商店街をお楽しみいただけるようスタンプ台紙を使ってのスタンプラリーを実施します。(11月14日～12月4日)

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」への参加人数】

こうほくの商店街 ちょいつまみウォーク					
年度	開催日	参加商店街数	参加店舗数	当日参加者数 (申込者数)	参加費 (保険料等)
29	11月25日(土)	11	66	554人(655人)	300円/1人
30	11月24日(土)	11	60	727人(823人)	300円/1人
元	11月23日(土)	11	56	—*1(1,009人)	300円/1人
こうほくの商店街 ちょいより散歩					
年度	開催期間	参加商店街数	参加店舗数	参加者数	参加費
2	11月21日(土) ～12月6日(日)	13	1,000*2	559人	無料
3	12月1日(水) ～12月26日(日)	13	92*3	552人	無料

※1 元年度については荒天のため中止。

※2 2年度については、原則商店会に加盟する全店舗に参加を依頼したため、参加店舗募集は行っていません。

※3 3年度については、参加店舗募集を実施しました。

2 商店街情報発信支援事業 【(4)200千円、(3)200千円】

港北区商店街連合会に対し、ホームページやSNSでのより効率的かつ効果的な発信のために、立ち上げ・運用・アプローチ手法を含めた広報戦略について支援を行います。コロナ禍において、商店街が身近な存在であるとともに、「安心して買い物ができる場」であるということを発信することで、商店街の認知度を高め、活性化を図ります。

3 商店街衛生対策支援事業 【(4)400千円、(3)400千円】

コロナ禍においても、区民の皆さまにとって商店街がより「安心して買い物ができる場」となるために、港北区商店街連合会で購入する衛生対策品に係る経費等について補助金を交付しました。

[経済局区配予算]

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金 【(4)2,000千円、(3)1,000千円】

商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助
(4年度申請団体)

- ・つなしまサマーフェスティバル実行委員会「つなしまサマーフェスティバル」
- ・妙蓮寺ニコニコ会「ジャズコンサートin妙蓮寺」
- ・小机商店街協同組合「今年も恒例Wチャンス&盆踊り」
- ・日吉アートコンテスト実行委員会「日吉アートコンテスト」
- ・大倉山商店街振興組合「2022 大倉山ハロウィン」
- ・大倉山エルム通り商店会「大倉山エルム通り商店会 イルミネーション」

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	971千円	446千円	45.9%
福祉保健課			

【事業の概要】

ウォーキングをきっかけとして健康づくりを推進するため、区民にウォーキングの楽しさや魅力をPRするとともに継続できるよう支援します。

【主な内容】

1 ウォーキング継続推進 【(4)139千円、(3)269千円】

(1) 健康測定会の開催

港北区のイベントや地域会場で、保健活動推進員とともに「健康測定会」を開催しています。(年間20回)

【健康測定会の実績】

	30年度	元年度	2年度*	3年度*	4年度 (7月末現在)
参加実人数	1,644人	1,353人	0人	195人	33人
実施回数	25回	24回	0回	11回	2回
実施内容	区民まつり、地区センターや地域ケアプラザまつり等で、体組成、血圧、足指力、立ち上がりテスト等を実施				



【健康測定会】

※2年度は29回の測定会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で実施を見合わせました。

※3年度は19回の測定会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で8回の実施を見合わせました。

(2) 保健活動推進員向けの研修会の開催

各地区の健康測定会が充実するよう、区保健師が講師となり、保健活動推進員に向けた研修を13か所で行っています。

※3年度実績：6か所開催、106人参加。

13か所での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で7か所での実施を見合わせました。

(3) ウォーキングサポーター（保健活動推進員）への活動支援

保健活動推進員からウォーキングサポーターを各地区で選出し、歩数計を持って楽しく歩く、各地区におけるウォーキングイベントの企画及び実施について支援しています。

2 ウォーキング普及啓発 【(4)832千円、(3)930千円】

(1) 健康づくりのムーブメントの醸成

- ・「港北区ウォーキング手帳」等の既存の媒体を活用し、個人や少人数でもできる運動を啓発
- ・ウォーキングサポーター（保健活動推進員）企画の健康ウォーキングの開催（12月）
- ・トレッサ横浜と協働し作製したマップを増刷



【歩こう港北！健康ウォーキング】



【雨の日でも歩こう港北！
ショッピングモールで健康ウォーキング】

- ・よこはまウォーキングポイント歩数計アプリ登録者を増やすため、アプリ機能（独自でミッションを定めることができる）を利用したイベントを実施（7月、10月）



【よこはまウォーキングポイント 歩数計アプリ画面】

局事業

【健康福祉局事業】

- ・よこはまウォーキングポイント事業
スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始。従来からの歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能

《参考》

【よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数】（4年3月末時点）

横浜市	港北区	
83,289人	7,933人	市の9.5% 区別順位1位

(2) ウォーキングの習慣化

- ・「港北区ウォーキング手帳」の更新・増刷（3,000部）
- ・健康づくりに取り組む働き世代や区内事業所を取り上げ、地域情報誌等で紹介
- ・外部講師によるウォーキングミニ講座の実施（9～11月、3回）



【(案) 港北区ウォーキング手帳】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(4) 育もう「ふるさと港北」事業	8,715千円	5,879千円	67.5%
地域振興課			

【事業の概要】

区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、ふるさと港北ふれあいまつりや大倉山観梅会等の世代間・地域間交流の場を提供するとともに、小机城址や港北区を拠点とするプロスポーツチーム等の地域資源を活用します。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【(4)4,560千円、(3)4,860千円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が一堂に会する場である「ふるさと港北ふれあいまつり」を開催します。

日 付：4年11月23日

場 所：横浜アリーナ

実施内容：メイン会場行事・・・ステージイベント、各種ブース出店、抽選会
 分会場行事・・・地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等（7月～）
 健康づくり月間事業・講演会、健康相談等

2 大倉山観梅会事業 【(4)1,150千円、(3)1,150千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」を開催します。

実施時期：5年2月25日、26日

実施内容：舞踊、三曲演奏、地元の園児・団体のステージ、梅酒の販売、野点

[環境創造局区配予算]

- ・地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業 【(4)500千円、(3)500千円】
 観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【(4)1,450千円、(3)1,650千円】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるとともに、地域資源・歴史的遺産である小机城址を活用し、港北区の魅力を外内にアピールします。

(1) 小机城址まつり

小机城址まつりを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でまつりが中止となったため、補助金は交付しませんでした。

〈小机城址まつり概要〉

・日程：4月下旬

・内容：武者行列、小机城址太鼓・お囃子等のパフォーマンス、各自治会町内会模擬店

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を配布するとともに、区内小・中学校等での啓発を行います。

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、小田原市が中心となり北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、北条氏を切り口に共同でPRを実施している「北条五代観光推進協議会」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力をPRしています。

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【(4)550千円、(3)600千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成します。

- ・新規映像や既存映像を活用した配信用映像作品の作製（通年）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）

5 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【(4)505千円、(3)655千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」並びに、2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」とも連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区のプロモーションに取り組みます。

- ・新たな連携ロゴの作製と、連携ロゴを使用した出生届提出者対象のフォトフレーム作製・配付
- ・港北交通安全協会と連携して、区内の小学一年生向けにランドセルカバーを作製・配付
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信
- ・選手の「一日区長」イベントなどの開催

6 青少年活動支援事業 【(4)500千円、(3)500千円】

区民の親睦や連帯意識の高揚、家族のふれあいを深めるため、ペットボトルロケット大会を開催します（11月 鶴見川樽町公園）。

- ・ペットボトルロケットの飛距離を競う飛距離部門。
- ・ペットボトルロケットのデザインを競うデザイン部門。



【過去大会の様子（元年度）】

【ペットボトルロケット大会参加者数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
延べ人数	雨天中止	600人	中止	52人※	500人 (見込み)

※3年度はデザイン部門のみ開催

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(5) 地域のチカラ応援事業	3,100千円	2,922千円	94.2%
地域振興課			

【事業の概要】

地域課題の解決に向けた地域住民による主体的な取組を支援するため、公益的な活動を行う団体に対して、補助金交付や広報、有識者から活動に対する助言を行うことによる支援を行います。また、交流の場の提供など団体間の連携促進の取組を行います。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業活動補助金の交付等 【(4)2,738千円、(3)2,793千円】

(1) チャレンジコース

区内で一定の活動実績がある団体の更なる公益的事業を対象に、1団体最長5年間上限30万円の補助金を交付しました。

【交付団体数・交付金額】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
団体数	19団体	18団体	6団体	7団体	15団体
金額	2,465千円	2,768千円	1,095千円	1,517千円	2,738千円

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承認及び広報などの活動支援を行います。

【承諾団体数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
団体数	8団体	7団体	3団体	8団体	2団体

【市民局区配予算】

- ・元気な地域づくり推進事業（新規申請募集停止）
 - ・スタートアップコース：継続2事業 【(4)150千円、(3)250千円】
1団体最長2年間上限5万円
 - ・地域元気づくりコース：継続2事業 【(4)750千円、(3)750千円】
自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業
1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数・交付金額】

	年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
スタートアップコース	団体数	9団体	10団体	4団体	4団体	2団体
	金額	354千円	418千円	175千円	200千円	100千円
地域元気づくりコース	団体数	6団体	4団体	5団体	3団体	2団体
	金額	1,237千円	624千円	854千円	643千円	500千円

2 団体間の連携促進の取組 【(4)362千円、(3)488千円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による公開提案会、報告会・市民活動交流会を開催します。有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言や団体同士の交流会による団体間の連携により、同一ジャンルの団体が新たな事業の方向性を見出すことができました。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換についても促進を図ります。

- ・公開提案会（4月16日、提案発表：6団体、参加者：24人）
- ・報告会、市民活動交流会（3月予定）
- ・専門家による助言（随時）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。（5人）

補助金申請団体の活動に関して助言を行います。



【地域のチカラ応援事業・公開提案会（4月16日）】

[市民局区配予算]

- ・元気な地域づくり推進事業

港北つなぎ塾（「協働」の地域づくり大学校） 【(4)458千円、(3)495千円】

今年度補助金の交付や後援を受けることになった団体、まちの先生、区民活動支援センターの登録団体、区民利用施設が同じ目線で交流を深め、課題やお悩みを共有しながら、分からないことを聞いたり、気をつかわずに話せる場として、令和4年度の「港北つなぎ塾」の開催を予定。

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(6) 港北魅力発見事業	3,385千円	2,240千円	66.2%
区政推進課			

【事業の概要】

区民の地域への愛着を深めるために区の魅力を発信することで、区民が区の魅力を発見していただけるイベントを実施します。

【主な内容】

1 オープンガーデン 【(4)2,400千円、(3)2,400千円】

第10回港北オープンガーデン（4月・5月 計6日間）及び第11回イベントに向けた企画



【オープンガーデン】

【子育て世代の参加を促す
スタンプラリー企画】

【若者の参加を促すフォトスポット企画】

【オープンガーデンへの参加状況】

年度（回数）	開催日数	公開箇所	延べ来場者数
30年度（第6回）	6日	87	約8,300人
元年度（第7回）	4日	100	約8,400人
2年度（第8回）※1	中止	107※2	—
3年度（第9回）	42日	114※3	※4
4年度（第10回）	6日	122	約9,000人

※1 新型コロナウイルスの影響で中止

※2 参加予定数

※3 現地公開（動画配信あり）91、現地公開（動画配信なし）20、動画配信のみ3

※4 参考数値：延べ約900人（25か所でカウント・2日間）

動画再生回数：43,834回（3年6月21日時点・全94動画合計）

【環境創造局区配予算】

・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり 【(4)1,500千円、(3)1,500千円】

第11回オープンガーデンのパンフレット作製及び参加会場交流会の実施

2 オープンファクトリー 【(4)985千円、(3)985千円】

市内18区の中で最も製造業の事業所が多い港北区において、普段見ることのできない区内企業の工場を見学することで、ものづくりの魅力を発見していただくことを目的としたイベントを開催します。

【オープンファクトリーの開催実績】

年度(回数)	開催日数	公開箇所	延べ参加者数	備考
29年度(第6回)	1日	14	283人	
30年度(第7回)	2日	11	267人	
元年度(第8回)	中止	13 (予定)	—	・新型コロナウイルスの影響で中止
2年度(第9回)	—	11	5,573回 (視聴数)	・一般向けにウェブサイト上で同課を公開する形で開催(「おうち港北オープンファクトリー」)
3年度(第10回)	—	8	468人	・区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催

【経済局区配予算】

- ・ものづくり経営基盤強化事業 【(4)400千円、(3)500千円】
オープンファクトリー委託費の一部

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(7) 芸術文化振興事業	2,000千円	2,000千円	100%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の芸術文化振興を図るため、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業と、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業を実施します。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業【(4)2,000千円、(3)2,000千円】

(1) 鑑賞型事業

- ・ Gentle Forest Jazz Band (10月15日 港北公会堂)
ビッグバンドの演奏と歌と踊りを交えた構成によるスイングジャズコンサート。
- ・ 港北寄席(12月10日 港北公会堂)
落語(3席)と色物(寿獅子、茶番、マジック)で構成する寄席。

《参考》

【3年度 港北芸術祭実行委員会主催事業 鑑賞型】

- ・ 狂言(11月28日 障害スポーツ文化センター、横浜ラポール、ラポールシアター)
来場者数: 125人



【鑑賞型事業 狂言】

(2) 参加型事業

- ・ さわってみよう! 箏(7月30日8人、8月27日 港北公会堂)
- ・ 夏休み親子コンサート(8月28日 港北公会堂)
- ・ 港北芸能大会(11月3日 港北公会堂)
- ・ 港北三曲会演奏会(11月19日 港北公会堂)
- ・ 筆文字で遊ぼう(書道体験教室)(12月3日 港北公会堂)
- ・ 港北美術展(3月1~5日 大倉山記念館)
- ・ オーケストラ体験教室(3月11日 港北公会堂)

※新型コロナウイルスの影響で中止した事業

- ・ 港北区中学校生徒音楽会(10月23日 港北公会堂)
- ・ 港北区小学校児童音楽会(11月16~18日 港北公会堂)

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
来場者数 (閲覧者数含む)	11,681人	9,168人	5,553人	2,741人	1,794人
実施事業数	11事業	10事業	9事業	4事業	4事業

※29年度は港北芸術祭25周年記念事業実施による増

※元年度（1月以降）、2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響で、イベント開催を中止したことによる減

※2年度・3年度の港北美術展は新型コロナウイルスの影響で、ホームページ上でオンライン開催。2年度は2回開催。

第17回港北美術展（3年度）（3月14日～27日 閲覧者数：1,486人）

【文化観光局区配予算】

- ・横浜芸術アクション事業（音楽） 【(4)500千円、(3)0千円】
鑑賞型事業「Gentle Forest Jazz Band」

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順・4年7月末現在）】

漆原 順一	港北区長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
川島 武俊	港北区連合町内会会長
五大 路子	女優
塩坂 靖子	押し花作家
芳賀 美穂	声楽家
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》

各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行います。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月19日 港北公会堂）
- ・大倉山秋の芸術祭（11月2～6日 大倉山記念館）
- ・港北区合唱の集い（11月13日 港北公会堂）
- ・港北ダンスフェスティバル（12月4日 港北公会堂）
- ・こうほく第九演奏会（12月11日 港北公会堂）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月11日 港北公会堂）
- ・港北シンフォニーコンサート（1月29日 みなとみらいホール）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
来場者数	13,543人	12,457人	14,777人	2,117人	5,237人
実施事業数	8事業	9事業	11事業	2事業	4事業

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(8) 区民活動支援事業	1,678千円	805千円	48.0%
地域振興課			

【事業の概要】

区民活動支援センターでは地域活動団体、区民利用施設、居場所運営団体、まちの先生をつなげ新たな活動が創出されるよう、居場所交流会、つながるカフェ、港北地域学、施設間連携会議、情報誌「楽遊学」の発行など活動支援を行います。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【(4)343千円、(3)303千円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材貸出しなどを行っています。



【区民活動支援センター】



【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【(4)955千円、(3)955千円】

区民活動の喚起のため、団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を発行します。より多くの方々に知っていただくために区内の区民利用施設等の他、地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等にも配架しています。

- ・装丁 A4版 6ページ、年6回発行 (3,500部/回)
- ・299号発行 (6月発行済)

3 市民グループ・団体支援事業 【(4)320千円、(3)210千円】

- ・ICT講座の開催 (8月26日、9月9日)
- ・新たな担い手、新たな活動の創出につなげる「港北地域学」の開催 (9月～3月)
- ・ファシリテーターを交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す「つながるカフェ」の開催 (10月～11月)
- ・グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなどによる「施設間連携会議」の開催 (12月)

4 区民活動支援センターICT化事業 【(4)60千円】《新規》

「グループ・団体ガイド」を紙媒体からWebでの発信に切り替えます。窓口相談の際にもタブレットPCの画面を提示しながらWebデータをご案内し、区民活動支援センターのICT化を図ります。

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(9) 地域振興活動事業	2,840千円	452千円	15.9%
地域振興課			

【事業の概要】

住民が協力し合って活動している自治会町内会を支援するとともに、行政情報の提供や自治会町内会永年在職者の表彰などを通じて、住みよい地域づくりの推進を図ります。

【主な内容】

1 自治会町内会との連携 【(4)1,340千円、(3)1,320千円】

「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付しています。

- ・送付回数：年10回（区連会（港北区連合町内会）定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 152団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200部、回覧物13,000部等

2 自治会町内会長感謝会の実施 【(4)1,000千円、(3)300千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表するため、自治会町内会長感謝会を実施し、会長在職5年（区長表彰）、10年以上5年ごと（市長表彰）、地区連合町内会長在職10年（市長表彰）の自治会町内会長永年在職者を表彰します。（3月）

3 自治会町内会のICT化 【(4)500千円、(3)500千円】

自治会町内会において、ICT等を活用した活動を円滑に推進できるよう、引き続き講座の実施などにより支援します。

- ・連合町内会向けICT講座（10月）

【市民局区配予算】

- ・地域活動推進費 【(4)98,919千円、(3)99,607千円】
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助、自治会町内会加入促進活動等
- ・防犯灯維持管理費補助金 【(4)869千円、(3)898千円】
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助
- ・自治会・町内会館整備費補助金 【(4)2,000千円、(3)0千円】
自治会町内会館の新築、改修、修繕等整備費の補助

《参考》

地域活動推進事業

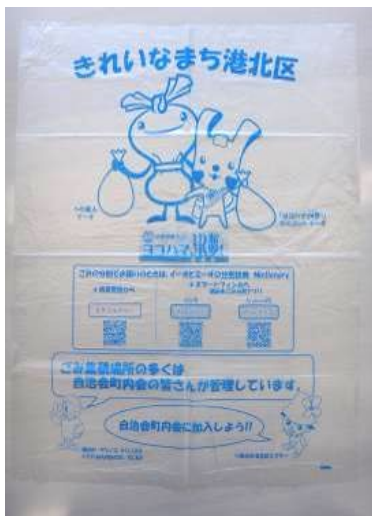
- ・ 区連会ホームページの更新
- ・ 自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発ごみ袋の作製と配布
- ・ 自治会町内会区域図の提供
- ・ 区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・ 建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・ 広報よこはま、タウン誌への記事掲載
- ・ 「自治会町内会活動のしおり」配布（加入促進に関するQ Aの掲載）
- ・ まつりイベントへの広告掲載
- ・ デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発ごみ袋】



【加入促進動画】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(10) 読書活動推進事業	800千円	55千円	6.9%
地域振興課			

【事業の概要】

区の地域性に応じた読書活動を推進するため、「第二次港北区読書活動推進目標」に沿った取組や、日吉図書取次所「日吉の本だな」を活用した情報発信等を実施することで、区民が読書に親しむ機会を創出します。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【(4)150千円、(3)150千円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進しています。

(1) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」(中央図書館発行)を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場に配布

(2) 紙芝居制作イベント

- ・こども「紙芝居づくり」教室

物語を作る楽しさを体験する、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座
(7月27日、8月3日 港北図書館 参加者数延べ14人)

(3) 本とであおうイベント

- ・ヨコアリくんまつり(ふるさと港北ふれあいまつり同時開催)(11月23日 横浜アリーナ)
横浜アリーナ主催イベントにおいて、区民の読書活動を推進するための取組(各種展示等)



【ブックガイド
「おひぎにだっこで楽しむ絵本」】



【こども「紙芝居づくり」教室】

2 読書情報発信事業 【(4)430千円、(3)330千円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化しています。

(1) 各施設からの情報発信の強化

- ・図書館や日吉の本だな等の関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介
- ・区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」(3年度改訂発行)を配布



【港北区本との出会いマップ】

(2) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやツイッター等、ICTを活用して発信

(3) 図書取次サービス拠点における情報発信等

- ・日吉の本だなにおいて、図書の取次機能に加え、図書企画展示や読書関連情報の発信などを行うとともに、区内活動団体と連携した企画等の実施を検討
- ・図書館カード出張登録会や、区民活動支援センター出張相談会を開催するなど、地域交流・多世代交流の場としても活用

3 読書団体連携事業 【(4)220千円、(3)320千円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施しています。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等（小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区）で構成する連絡会
（6月22日 港北図書館 出席者数13機関17人）

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会
（6月20日 港北図書館 参加者数15団体24人）



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバル

読書活動推進月間に区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載（11月）

[教育委員会事務局支配]

- ・横浜市民の読書活動推進事業 【(4)100千円、(3)100千円】
区づくり推進費と合算して、読書活動推進関連イベント等を実施

《参考》

【第二次港北区読書活動推進目標】

- 〔目標1〕子どもたちの成長に応じた読書活動の推進
- 〔目標2〕だれもが読書に親しみ、楽しむきっかけづくりの推進
- 〔目標3〕図書館・関連施設・地域が協働した読書活動の推進
- 〔目標4〕ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(11) こうほく3R推進事業	1,249千円	407千円	32.6%
地域振興課			

【事業の概要】

ヨコハマ3R夢プランに基づく3Rの推進のため、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して3Rの推進に取り組みます。

世界的に問題となっている食品ロスやプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発等を行います。

また、ポイ捨てや不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進します。

【主な内容】

1 街の美化の推進 【(4)255千円、(3)355千円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発
啓発キャンペーン(日吉駅など)(10月、2月)
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援(通年)
不法投棄地域清掃支援(新羽大熊農業専用地区(年2回))
新横浜駅前周辺清掃(月1回)、横浜アリーナ周辺清掃(月1回)
日吉駅周辺清掃(年4回) ほか

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置、不法投棄監視システムの維持管理

2 3R夢行動の推進 【(4)994千円、(3)1,237千円】

(1) 3R夢行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

「ヨコハマ3R夢プラン」行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等の表彰(2月)

(2) 3R夢推進事業

- ・3R夢普及啓発
地域イベント、大型スーパー店頭、分別啓発地域説明会(随時)
ヨコアリくんのミニ七夕まつり!(7月2日)
- ・生ごみ減量化の取組
土壌混合法説明会(6~10月、月1回)(6月22日15人、7月28日10人)
- ・フードドライブの受付及び啓発(随時)



【ヨコアリくんのミニ七夕まつり!】

(3) 3R夢学習事業

区民向け啓発講座、保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所等での環境学習を実施しています。(随時)



【保育園での出前講座】

(4) こうほく3R夢活動助成金

- ・区内の連合町内会に対し、3R夢プラン行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金の交付(年額3万円)
- ・環境事業推進委員への支援(施設見学会)

【資源循環局区配予算】

- ・ヨコハマ3R夢広報啓発事業 【(4)100千円、(3)100千円】
啓発物品の購入費

《参考》

【横浜市の家庭ごみ収集量(単位:トン)】

年度	3年度	2年度	増減
燃やすごみ	547,079 【48,362】	566,595 【50,001】	▲19,515 (▲3.4%) 【▲1,639 (▲3.3%)】
その他	290,015 【24,253】	298,282 【24,985】	▲8,267 (▲2.8%) 【▲733 (▲2.9%)】

※【】内は港北区の数量

※その他は「燃やすごみ」以外のごみ量(不法投棄等)と資源化量の合計値です。

《参考》

統合事業費

クリーンタウン横浜事業 【(4)1,619千円、(3)1,619千円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。

また、30年10月に日吉駅周辺を美化推進重点地区に指定しました。

- ・新横浜駅周辺(美化推進重点地区及び喫煙禁止地区)

港北区美化推進員活動(週3回、通年)

- ・日吉駅周辺(美化推進重点地区)

港北区美化推進員活動(週2回、通年)

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(12) 港北エコアクション推進事業	3,076千円	2,845千円	92.5%
区政推進課			

【事業の概要】

港北区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策行動に取り組めるよう、区役所・区民・事業者が協働して「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ3R夢プラン」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進めます。

【主な内容】

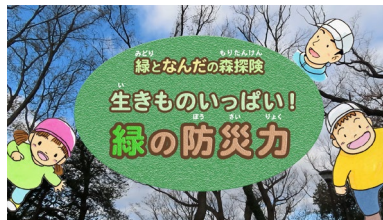
1 港北水と緑の学校事業 【(4)2,600千円、(3)2,700千円】

環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しています。

- ・区内小学校向け講座（6～11月）
- ・一般向け講座（10～12月）
- ・小学生の学習成果の展示会（2～3月）



【区内小学校向け講座】



【一般向け講座（3年度動画）】



【展示会（3年度 Web 開催）】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加人数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
実施回数	20回	20回	18回	18回	5回
小：小学校向け講座	(小18回、	(小18回、	(小18回)	(小18回)	(小5回、
一般：一般向け講座	一般2回)	一般2回)	※	※	一般0回)
延べ参加者数	1,763人	1,904人	1,242人	1,702人	433人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

【環境創造局区配予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【(4)150千円、(3)150千円】
一般向け講座にて、参加者が森に親しむ体験活動を実施

2 屋上庭園等運営事業 【(4)300千円、(3)300千円】

屋上緑化の維持管理を区民と連携して実施しています。

- ・区庁舎及び太尾小学校（通年）

3 港北エコアクション推進事業 【(4)176千円、(3)176千円】

広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発をしています。

[環境創造局区配予算]

- ・身近に農を感じる地産地消の推進事業 【(4)600千円、(3)600千円】
港北区直売所マップの更新・増刷等を実施

《参考》

【港北区直売所マップ発行（3年度）】

- ・区内の野菜・果物・花苗等の直売所、よこはま地産地消サポート店等を紹介
（1月発行 11,000部）
- ・区役所等公共施設、区内直売所等で区民に対して配布。区ホームページにも掲載



【港北区直売所マップ】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(13) データ活用による まちづくり推進事業	3,230千円	1,990千円	61.6%
区政推進課			

【事業の概要】

区が直面する課題を官民協働で分析・解決し地域の活性化を図っていくことを目的に、区の統計情報を適切に管理し、オープンデータ化を進める体制を整備します。また、データ活用の推進に向けた事業を展開します。

【主な内容】

1 データ活用普及推進事業 【(4)1,000千円、(3)1,000千円】

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）と連携し、データ活用への興味につなげる取組を**実施**しています。

年度	実施内容
30年度	・スポーツデータサイエンス体験教室 ・横浜港北スポーツみらいサミット2019
元年度	・スポーツデータサイエンス体験教室 ・スポーツデータ×タグラグビー授業
2年度	・オンライン運動プログラム ・港北オンラインラジオ体操
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操

【4年度の取組内容】

- ・「システム×デザイン思考」の実践を通じて地域課題の解決を学ぶワークショップ

慶應SDMが提唱する問題解決手法である「システム×デザイン思考」の実践と、データ活用により、地域課題の解決を学ぶワークショップを実施

今年度は、高田中学校の3年生（35名前後×3クラス）を対象に、社会科の授業の一環（計3コマ）として実施予定



《参考》

【慶應SDMとの連携】

港北区と慶應SDMは、双方が連携協力して、システム思考やデザイン思考、マネジメントに関する教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施やデータの活用検討等を通じて相互の更なる発展に寄与することを目的とした連携協定を29年6月1日に締結しました。

2 GISの活用推進事業 【(4)230千円、(3)230千円】

- ・統合型GIS勉強会

3 地域情報データベース 【(4)2,000千円】《新規》

- ・行政が保有する情報のオープンデータ化の推進(通年)
- ・職員向けデータ活用ツール研修

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
3-(14) まちづくり調整費	2,690千円	336千円	12.5%
区政推進課			

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決に向けた、調査や関係機関との調整を行います。

【主な内容】

- 1 まちづくり調査費・まちづくり調整事務費【(4)2,490千円、(3)2,490千円】
区の課題に合わせたまちづくり調整を実施します。

【これまでに実施したまちづくり調査等】

年度	実施内容
30年度	篠原城址緑地の魅力発信のための整備図作成
元年度	大倉山駅周辺の案内表示対応
2年度	S I B本格実施に向けたモデル事業として、オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討
4年度	検討中

2 区民文化センター愛称募集【(4)200千円】《新規》

6年3月に開館する予定の区民文化センターが、より区民から愛着を持たれる施設となるために、区民から募集した愛称の中から区民投票を実施し、愛称を決定しました。

港北区民文化センター愛称 「ミズキーホール」

愛称募集 3年12月22日～4年1月31日
 区民投票 4年5月20日～6月30日
 記者発表 4年8月19日
 開館 6年3月

《参考》

港北区民文化センターの基本理念
 「ハートでつながる 私たちのまち」



【区民文化センター ホールイメージ】



【基本理念イメージ図】

区局連携促進事業（都市整備局）

- ・日吉駅（西口）周辺のまちづくりの推進事業 【(4)10,000千円、(3)5,000千円】

歩行者の安全の確保等が課題となっている日吉駅西口周辺について、歩行空間の確保等に向けたまちづくり手法を検討します。4年度は、アンケート調査等の結果を基に、社会実験計画の作成・実施及び効果検証を行います。

区局連携促進事業（教育委員会事務局）

- ・図書取次サービス拠点における地域交流モデル事業 【(4)1,000千円、(3)500千円】

日吉図書取次所（日吉の本だな）が地域における交流拠点のひとつとなるよう、区や大学、地域団体等との交流モデル事業を行います。（区や関係団体等との定期的な情報交換や、各種交流イベントの企画、各種情報の発信、区民の活動の場の提供やコーディネート、区民活動支援の一次対応など）

[デジタル統括本部区配予算]

- ・DX推進モデル事業（デジタルプラス事業）

（産前産後オンライン母子保健相談） 【(4)4,500千円】《新規》

<オンライン健康医療相談サービスを活用した検証>

子育て世帯の多い港北区において、妊産婦及び0歳児を育てる家庭を対象に夜間等にオンラインで専門の医師等に相談ができる「オンライン母子保健相談事業」を実施し、産後うつ等のリスク軽減を図ります。

[道路局区配予算]

- ・港北区バリアフリー基本構想の策定 【(4)119千円、(3)59千円】

バリアフリー法に基づき、新横浜駅、小机駅、大倉山駅の各駅周辺地区を対象に、高齢者・障害者・子育て中の人等、誰もが円滑に移動し、駅や施設を快適に利用できるよう、バリアフリー化を進めるための基本構想の検討を行います。4年度は、まち歩き点検等を行い、地区の課題とその対応策について検討を進めます。

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(1) 港北区PR情報発信事業	2,110千円	841千円	39.9%
区政推進課			

【事業の概要】

的確に行政情報を提供するため、ウェブサイトやツイッター等による迅速な情報発信をします。区のPRのため、港北区キャラクター「港北区ミズキー」を活用します。区域の生活に必要な情報を提供するため、「港北区ガイドマップ」を作製し、主に区内への転入者に配布します。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(4)1,210千円、(3)1,310千円】

ウェブサイトやツイッター等を利用し、災害等の緊急情報やイベント情報、区の魅力等様々な情報を、ツイート時間等を工夫しながら発信しています。

また、区キャラクター「港北区ミズキー※」について、相鉄・東急直通線の開業や市営地下鉄グリーンラインの6両化等の機会を捉え、露出機会を増加させることで、区をPRしています。

※港北区制70周年(21年度)を機に作製



【港北区ミズキー】

【港北区ツイッターフォロワー数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
人数	約5,700人	約7,700人	約8,800人	約10,200人	約10,300人



【フォロワー1万人達成】

【ウェブサイトアクセス件数・着ぐるみ利用件数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
港北区ウェブサイト アクセス件数	約298万件	約309万件	約350万件	約300万件	約76万件
港北区ミズキー 着ぐるみ利用件数	24件	42件	10件	7件	9件

2 港北区ガイドマップ作製・配布事業 【(4)900千円、(3)800千円】

地図面と情報面で構成し、地図面は区の主要施設が掲載された全域地図を、情報面は区内の見どころやバス路線図、困ったときの相談窓口等、生活に役立つ情報を掲載し、配布しています。



【港北区ガイドマップ】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(2) 戸籍課案内サービス 向上事業	5,200千円	3,930千円	75.6%
戸籍課			

【事業の概要】

来庁するお客様の待ち時間の短縮に向けて、職員を窓口業務に充てるため、電話対応の一部に専門スキルを持ったオペレーターを活用しています。また、窓口で転入者等にお渡ししている転入者キット（暮らしのガイドに市政・区政情報を差し込んだもの）について、区内障害者施設に作製を依頼して、作業の効率化等を図っています。更に、新規事業として、繁忙期の窓口混雑の緩和のために、窓口の分散利用を促す広報を行います。

【主な内容】

1 オペレーターによる電話案内事業【(4)4,540千円、(3)4,131千円】

- ・電話オペレーター配置予定日数：計251日間
- ・繁忙期の5年3月は2人、その他期間は1人配置

【電話案内業務】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
電話受付件数	4,101件	5,486件	11,286件	16,029件	4,997件
オペレーター配置日数	40日	59日	127日	252日	85日
延べ配置人数	65人	115人	280人	309人	109人

※元年度までは繁忙期のみの実施でしたが、2年度から実施期間を拡大しているため、数値が大幅に増加しています。

2 転入者キット作製事業【(4)460千円、(3)400千円】

- ・作製数：7,000部
- ・作業単価増

【転入者キット作製数(4年度)】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
400部	600部	600部	600部	400部	800部
10月	11月	12月	1月	2月	3月
600部	400部	400部	600部	800部	800部

3 窓口の分散利用広報事業 【(4)200千円】《新規》

- ・地域紙を活用した広報 1回(2月)
- ・地区センター等の市民利用施設にチラシの配架(2月・40か所)

《参考》**【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員(住民基本台帳人口)】**

	30年3月末	31年3月末	2年3月末	3年3月末	4年3月末
人口(A)	344,336人	347,081人	349,652人	351,554人	359,752人
世帯数(B)	168,466世帯	170,863世帯	173,235世帯	175,307世帯	177,746世帯
平均世帯人員(A/B)	2.04人	2.03人	2.02人	2.01人	2.02人

【市外からの転入者数(住民基本台帳人口)】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
市外からの転入者数	14,622人	15,070人	14,451人	14,254人	5,148人

※転入世帯数(3年度)

14,254人(市外からの転入者数) / 2.02人(平均世帯人員) = 7,056世帯(推計)

[市民局区配予算] 【(4)25,804千円、(3)25,684千円】

- ・戸籍課窓口に加え、「港北区役所マイナンバーカード新横浜臨時窓口」におけるマイナンバーカードの申請及び交付の実施(3年1月25日開設)

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(3) 「仕事力向上」職員育成事業	700千円	198千円	28.3%
総務課			

【事業の概要】

運営方針に掲げる5つの仕事力（「聴く力」、「考える力」、「学ぶ力」、「行動する力」、「伝える力」）を向上させるため、自主企画研修及び人権啓発研修等を実施し、CS（顧客満足度）・ES（職員満足度）の向上を図ります。

【主な内容】

1 CS・ES向上研修 【(4)500千円、(3)620千円】

- (1) 新採用・転入職員向けCS向上研修
新採用・転入職員に窓口・電話対応研修を実施しました。(4月22、28日 45人)
- (2) 会計年度任用職員向けCS・ES向上研修
会計年度任用職員向けに研修を実施しました。(6月29、30日 18人)
- (3) 事務処理ミス防止研修
責任職、職員、会計年度任用職員に事務処理ミス防止研修を実施します。(10月)
- (4) 中堅職員向けCS・ES向上研修
中堅職員に研修を実施します。(11月)
※状況に応じて資料配付や動画配信など、密を回避して実施します。

2 人権啓発講演会等 【(4)200千円、(3)200千円】

市民・職員向けの人権啓発を目的とした人権啓発講演会や、職員向けの人権啓発研修を実施します。

【実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者 (実数)
29年度	港北の未来をひらく ～学校と連携した地域防災拠点運営に向けて～	鷺山 龍太郎（横浜市立長津田小学校長）	約400人
30年度	避難所で本当に命と健康守れますか!? 高齢者・障害のある方・女性・子どもなどの視点から	浅野 幸子（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表）	約400人
元年度	災害時のトイレ問題について 一緒に考えませんか?～災害時のトイレ問題を「自分事」として捉えよう～	加藤 篤（NPO法人日本トイレ研究所代表理事）	約400人
2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止※ (新型コロナウイルス等の感染症にかかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付)		
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区HPに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		



【市民向け
人権啓発資料
(3年1月)】



【人権啓発研修における
マリノスとの連携
(4年2月)】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
4-(4) 区民サービス向上・ 環境改善促進事業	9,867千円	749千円	7.6%
総務課・地域振興課			

【事業の概要】

区庁舎をはじめとした区内の区民利用施設等について、利用者が快適に過ごせる環境づくりのため、施設の機能強化や新型コロナウイルス感染防止対策を実施します。

【主な内容】

- 1 区庁舎等の環境改善・機能強化 【(4)6,850千円、(3)6,415千円】
 - ・区庁舎の環境改善に伴う消耗品、備品、委託料、リース料等（感染症対策を含む）
 - ・2階フロアのWi-Fi通信費



【防犯カメラリース】



【AEDレンタル】

- 2 区民利用施設の環境改善・機能強化 【(4)3,017千円、(3)3,517千円】
 - ・区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品、委託料、リース料等
 - ・子供の遊び場等の樹木保全、子供の遊び場遊具の安全性確保等

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	12,345千円	10,989千円	89.0%
区政推進課			

【事業の概要】

区の事業や区役所、区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま区版を発行します。

【主な内容】

広報よこはま区版作製 【(4)12,345千円、(3)11,582千円】

広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布しているほか、区のウェブサイトへの掲載やツイッター等で情報を発信しています。

(1) 発行

毎月1日、年12回
173万部(14.4万部/月)発行

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ

(3) 紙面構成

・特集、トピックス記事

区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面

【3年度】12月号特集 「特殊詐欺にご用心！」

2月号特集 「令和4年度市民税・県民税の申告が始まります」

【4年度】4月号特集 『つなぎ』の達人 民生委員・児童委員のひと月

7月号特集 「港北区を災害から守る地域力 守れ!我がまち港北」

・お知らせ記事

区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

デザインを変更し、より読みやすい・伝わりやすい紙面にします。

(4) その他

港北福祉保健センターからのお知らせ

発行：年1回(4年4月号に挟み込み)

仕様：4色刷り、4ページ

内容：検診日程等



【広報よこはま区版】

【広報よこはま区版発行部数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
年間部数	164万部	166万部	166万部	172万部	57万部
月平均部数	13.7万部	13.8万部	13.8万部	14.3万部	14.3万部



【福祉保健センターからのお知らせ】

《参考》統合事業費

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,092千円	1,951千円	93.3%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行います。また、「市民からの提案」などの広聴制度により、手紙や投稿フォームで寄せられた区民の提案・意見などを受け付けて、回答するとともに内容を公表します。

【主な内容】

1 特別相談事業 【(4)2,092千円、(3)2,092千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行っています。

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など法律問題全般について	弁護士	水曜日、 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士相談	債務整理（140万円以下）、不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1・3火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約などの公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

2 特別相談・広聴・窓口案内件数（単位：件）

年度		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (7月末現在)
特別 相談	法律相談	471	482	435	420	151
	司法書士相談	131	135	40	57	24
	公証相談	31	24	10	8	5
	交通事故相談	19	13	2	6	1
	行政相談	23	8	0	0	0
広聴事業		535	709	1,083	1,049	258
窓口案内		80,041	77,003	62,343	61,006	18,313

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 消費生活推進事業	184千円	0千円	0%
地域振興課			

【事業の概要】

消費者被害の防止のため、消費生活推進員の活動を支援するとともに、地域の消費生活環境の安定・向上を推進します。

【主な内容】

1 学習・啓発 【(4)144千円、(3)144千円】

(1) 講演会の開催

「こうぼく消費者のつどい～高齢者専用ホームの基礎知識～」(10月25日 港北公会堂)
区民及び消費生活推進員を対象とした悪質商法未然防止に役立つ講演会を横浜市消費生活総合センターとの共催で開催します。

(2) 広報紙「あゆみ」の発行

消費者被害未然防止等の啓発や推進員の活動の周知を目的とした広報紙「あゆみ」を作製します。(3月)

2 地域活動支援 【(4)40千円、(3)43千円】

区内全域を対象として広く啓発を行っていくため、関係団体と連携した啓発活動を進めるなど、消費生活推進員が行う消費者被害未然防止・拡大防止に関する啓発講座の開催を支援します。

【港北区消費生活推進員数】

年度	29～30 年度	元～2年度 (公募)	3～4年度 (公募)
消費生活 推進員数	136人	12人	20人

※任期2年(3年4月～5年3月)

※元年度から募集方法を公募にしたため、人数が減少しています。



【消費者のつどい】



【広報紙「あゆみ」】

事業名・所管課	4年度予算	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,068千円	3,020千円	98.4%
地域振興課・こども家庭支援課			

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援します。
また、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行います。

【主な内容】

- 1 青少年指導員事業 【(4)2,988千円、(3)2,348千円】
- ・第28期港北区青少年指導員協議会研修会（6月21日）
 - ・自然体験教室（9月）
 - ・広報誌の発行（11月、3月）

【自然体験教室への参加人数】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
実人数	135人	96人	—	—	65人※
実施場所	ソレイユの丘	湘南国際めぐりの森	中止	中止	ソレイユの丘
実施内容	・クラフト体験 （万華鏡づくり）など	・森に関する講義 ・植樹体験 ・植物観察	中止	中止	未定

※7月末現在での参加予定者数



【第28期港北区青少年指導員協議会研修会】



【自然体験教室（元年度）】

- 2 社会環境健全化事業 【(4)80千円、(3)80千円】
- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月23日）
 - ・社会環境実態調査（7月～9月）
 - ・全市統一行動キャンペーン活動（11月）

《参考》

統合事業費

学校・家庭・地域連携事業 【(4)900千円、(3)900千円】

学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ補助金を交付（8月）



資料3

令和5年度 港北区予算編成の考え方について

(市全体の予算編成方針が発出されていないため、今後変更となる場合があります)

区の基本目標

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」
～区民の皆様の安全・安心を守り、ともに歩む区政～

1 基本的な考え方

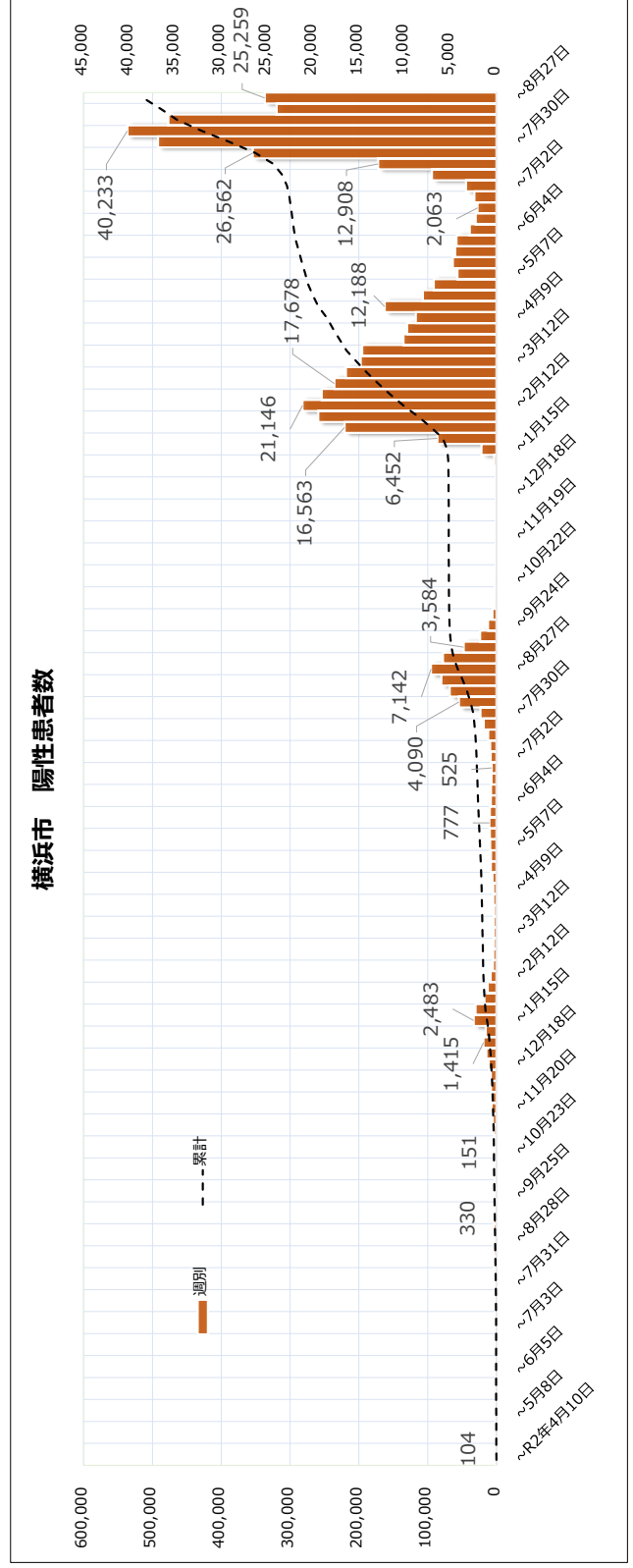
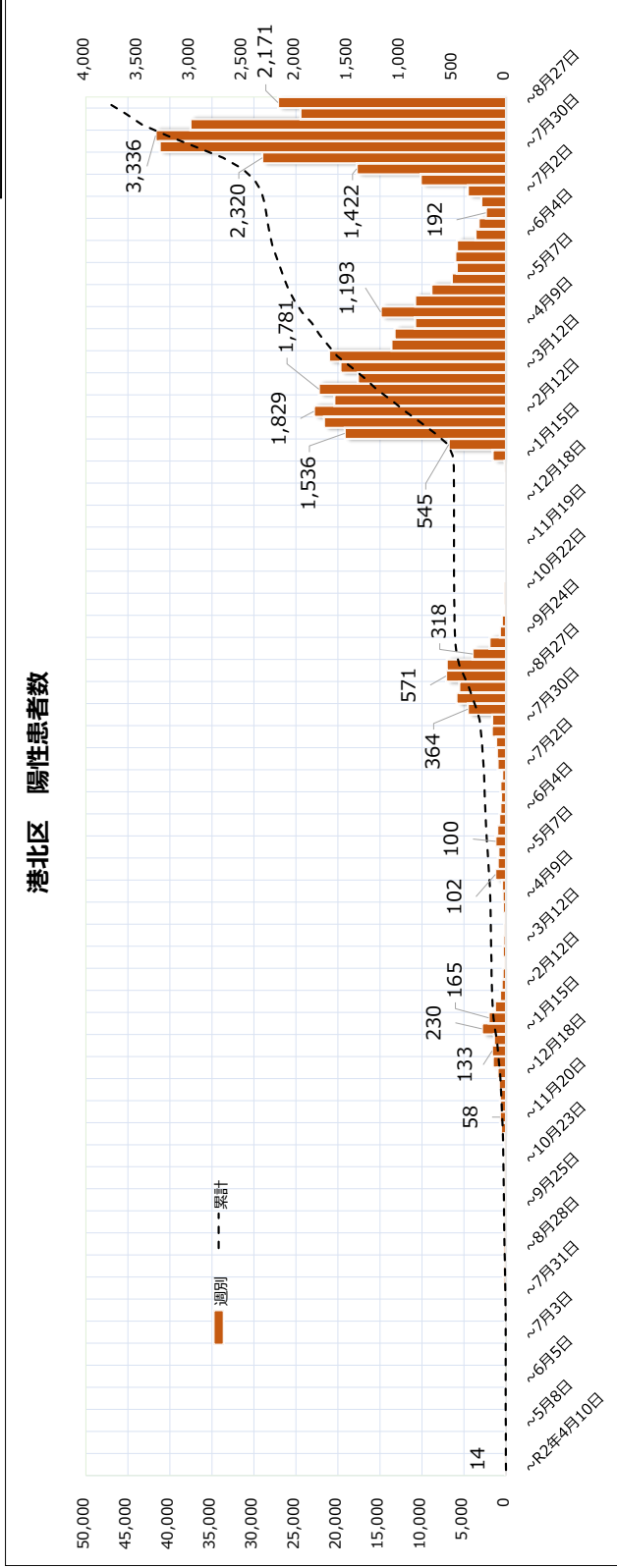
令和5年度についても、区の基本目標を念頭に、予算編成を進めます。

住民サービスの最前線にある区役所の特性を踏まえ、区民の皆様との共感、信頼の関係を土台に、自治会・町内会、商店会、企業、NPO等の皆様とのつながりを深め、住みたい、住み続けたいまちづくりを進めます。

2 予算編成にあたっての留意点

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を契機に、地域の交流や経済の活性化など、区民生活のさらなる発展につなげていくための予算を積極的に編成します。
- ・すべての事業について、事業目的、効果及び手法等の検証を行い、地域の課題やニーズに対応するよう、見直しを推進します。
- ・DX・データ活用、協働・共創及びSDGsの視点を意識するとともに、18区中最大の人口や地理的な状況など、区の特性を生かした取組を進めます。

■ 新型コロナウイルス感染症 港北区及び横浜市の陽性患者数推移表



令和4年第3回
区づくり推進横浜市議員会議資料
令和4年8月31日
港北區

港北区民文化センターの愛称決定及び指定管理者の公募について

1 愛称の決定について

区民の皆様から寄せられた港北区民文化センター(令和6年3月開館予定)の愛称案151作品の中から、審査により選ばれた最終候補4作品に対して、区民投票を行いました。

その結果、最も多く票を得た「ミズキーホール」を、港北区民文化センターの愛称に決定しました。

なお、「ミズキーホール」をご提案いただいた3名の方には、令和6年3月のオープニングセレモニーでの表彰を予定しています。



港北区民文化センターイメージ

得票数(投票総数371票)

- (1) **ミズキーホール(199票)**
(港北区のキャラクター「ミズキー」にちなんだ愛称)
- (2) **こうほっくる(75票)**
(港北区にたくさん人が来てくれるよう「港北に来る」⇒「こうほっくる」)
- (3) **コルクト(59票)**
(ラテン語で心「cor(コル)」と、英語で繋ぐ「connect(コネクト)」を組み合わせた言葉)
- (4) **こうほくハートシンフォ(38票)**
(区民の心が共感し、シンフォニー(交響曲)を奏でるという意味)



©横浜市港北区ミズキー

2 指定管理者の公募について

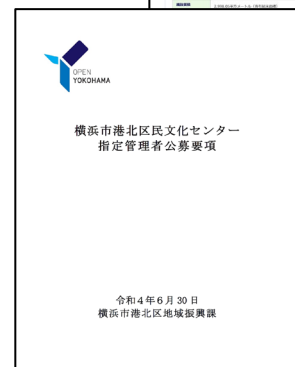
港北区民文化センターの管理運営を担う指定管理者の選定にあたり、6月30日に公募要項等を公開し、公募を開始しました。

今後、次のスケジュールのとおり、指定管理者の選定を行います。

○公募スケジュール

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| (1) 応募説明会の開催(21社) | 7月12日(火) |
| (2) 公募要項等に関する質問への回答(149問) | 8月26日(金) |
| (3) 応募書類の受付 | 9月15日(木)～16日(金) |
| (4) 予備審査の実施(※) | 10月25日(火)(予定) |
| (5) 本審査(面接審査) | 12月20日(火)(予定) |
| (6) 選定結果の通知・公表 | 令和5年1月中旬(予定) |
| (7) 指定管理者の指定 | 5月(予定) |
| (8) 指定管理者との協定締結 | 8月(予定) |

※ 予備審査は、応募状況により実施しない場合があります。



令和4年6月30日
横浜市港北区地域振興課

令和 4 年 8 月 2 日
港 北 区 地 域 振 興 課
ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会
株 式 会 社 横 浜 ア リ ー ナ

株式会社横浜アリーナ・ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会・港北区が

「ふるさと港北ふれあいまつり

実施に関する基本協定」を締結！

～「2022 ふるさと港北ふれあいまつり」を横浜アリーナで開催します～



©横浜市港北区ミズキー



ヨコアリくん

「ふるさと港北ふれあいまつり」は「株式会社横浜アリーナ」にご協力をいただき、令和2年度、3年度に「ふるさと港北ふれあいまつり on-line コアデイ」の会場として、横浜アリーナを使用させていただきました。

この度、株式会社横浜アリーナより地域貢献活動の一環として、今後も「ふるさと港北ふれあいまつり」の会場に毎年横浜アリーナをご提供いただくこと等を含む協定の締結についてご提案をいただいたことを受け、株式会社横浜アリーナ、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会及び港北区の3者で「ふるさと港北ふれあいまつり実施に関する基本協定」を締結しました。

<三者のコメント>

株式会社 横浜アリーナ
代表取締役社長 関 洋二

歴史ある行事「ふるさと港北ふれあいまつり」の会場として横浜アリーナを提供できることを大変光栄に思います。我々も、地域の皆さまとともに港北区を盛り上げていきたいと思えます。

ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会
会長 川島 武俊

区の代表的なイベント「ふるさと港北ふれあいまつり」が今後も横浜アリーナという素晴らしい会場で、天候に左右されず開催できるようになり、とても嬉しく思います。新たなパートナーを得て、一丸となって港北区を盛り上げていきます。

港北区長 漆原 順一

港北区のランドマークともいえる「横浜アリーナ」にご協力いただき、港北区ならではのイベントが開催できることに感謝します。区民の皆さま、是非「ふるさと港北ふれあいまつり」にお越しください。

協定締結式の様子



締結日：令和4年7月28日（木）
場 所：港北区役所4階
写真左から 関社長 川島会長 漆原区長

【裏面あり】



「2022 ふるさと港北ふれあいまつり」



を開催します!!

「ふるさと港北ふれあいまつり実施に関する基本協定」を受け、横浜アリーナを会場とし、「ふるさと港北ふれあいまつり」を開催します！

また、横浜アリーナのイベント「秋のヨコアリくんまつり」と同時開催をいたします！会場は屋内です！雨でも開催します！是非お越しいただきお楽しみください！

【概要】

開催日時:令和4年 11月 23日(水・祝) 10時から 15時まで

開催場所:横浜アリーナ(港北区新横浜3-10)

ステージ:音楽やダンス等の発表。会場の大型モニターでも放映します。

フーズ:各種活動団体等の展示や販売、体験など

ステージ出演者を募集します

今年もやります！

「あなたの夢を叶えよう！@横浜アリーナ」

有名アーティストもコンサートを行う夢の会場「横浜アリーナ」のステージで、やってみたいことを大募集します！

この機会にぜひ、あなたの夢を叶えてください。

応募条件、応募方法等の詳細は区役所 HP からご確認ください。



区役所 HP

※国内での新型コロナウイルス感染症拡大の状況や国、本市の対応方針を踏まえ、内容に変更が生じる場合があります。

お問合せ先

「協定・ふれあいまつり・募集企画に関すること」

港北区地域振興課長 岸本 弘之 Tel 045-540-2233

「ヨコアリくんまつりに関すること」

株式会社横浜アリーナ 総務課長 片桐 朋子 Tel 045-474-4016